

自治研 報 かながわ

特集 2009年政権交代の総選挙結果を分析する

(社)神奈川県地方自治研究センター理事長 上林得郎 著

2009

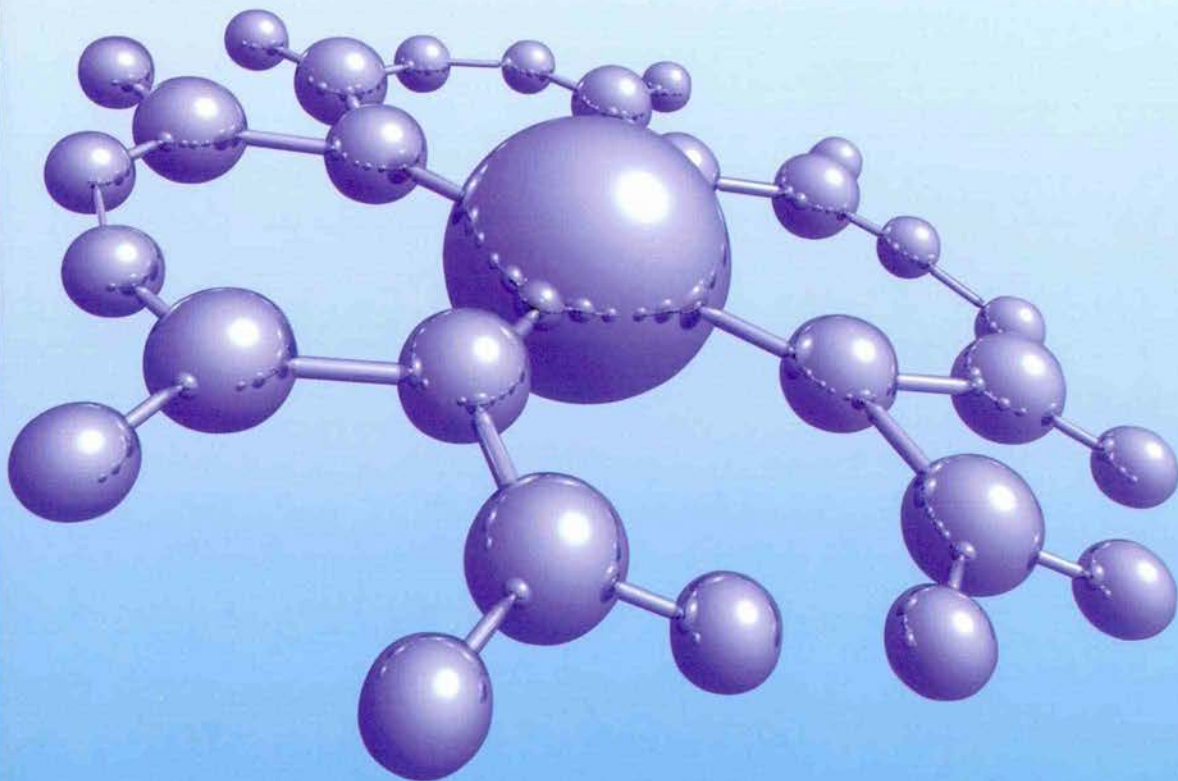
特別号

No.117

(通算181号)

◆ 第Ⅰ部
◆ 第Ⅱ部
◆ 資料編

全国の選挙結果と有権者の動向
神奈川県内の選挙結果とその特徴

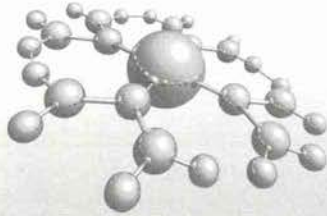


社団法人 神奈川県地方自治研究センター



自治研報 かながわ

特集 2009年政権交代の総選挙結果を分析する
（社）神奈川県地方自治研究センター理事長 上林得郎 著



（社）神奈川県地方自治研究センター

2009

特別号

No.117

（通算101号）

◆ 第Ⅰ部
◆ 第Ⅱ部
◆ 資料編

全国の選挙結果と有権者の動向
神奈川県内の選挙結果とその特徴

もくじ***CONTENTS

特集 2009年政権交代の総選挙結果を分析する

（社）神奈川県地方自治研究センター理事長 上林得郎 著

第Ⅰ部 全国の選挙結果と有権者の動向 ……………1

第Ⅱ部 神奈川県内の選挙結果とその特徴 ……………15

資料編 ……………33

Ⅰ 全国 ……………34

Ⅱ 神奈川県内 ……………40

Ⅲ 年表 ……………50

2009年政権交代の総選挙結果を分析する

社団法人神奈川県地方自治研究センター理事長 上林 得郎

【 I 全国の選挙結果と有権者の動向】

はじめに

4年ぶりに行われた第45回衆議院総選挙は、事前の各報道機関の世論調査による予想通り、民主党が308議席を獲得して圧勝し、麻生内閣から鳩山内閣への政権交代が行われることになった。自民党は、1993年の総選挙の後に、7党1会派による細川護熙連立内閣が成立して政権の座を降りたが、翌94年6月、自民・社会・さきがけの3党連立内閣ですぐ政権与党に復帰した。以来15年ぶりの政権交代である。細川内閣が「政党中心の選挙制度」を目指して行った政治改革により、現行の小選挙区比例代表並立制ができ、1996年にその最初の選挙が行われてきたが、その後、徐々に2大政党化が進んできた。

今回の選挙は、政権を争う与党と野党が首相候補を明らかにして、政権公約（マニフェスト）を掲げて政権選択を国民に委ねた選挙であった。また、3分の2以上の議席をもっていた政権与党である自民党と公明党が大敗して、野党の第1党の民主党が大勝したが、この選挙結果により本格的な政権交代が行われるというのも、我が国の憲政史上初めてのことである。

この選挙の投票率（小選挙区）は全国で69.28%であり、前回の67.51%を1.77ポイント上回っていた。現行制度になってから最高の投票率となり、1986年の衆参同日選挙の71.40%以来低迷を続けてきていた投票率の高さが復活した。同時に、2003年から始まった「期日前投票」も制度始まって以来最高の1,398万人が投票し、有権者の約2割（19.42%）に達していた。今回の選挙は有権者の約7割が投票し、国民の関心が高くなっていることを表しており、その結果として「政権交代」の意思を示したことになる。

1. 各党議席の消長と選挙結果の特徴

(1) 各党の選挙結果と議席の変動

各政党の議席獲得数は、図表I-1のとおりとなっている。また、2003年度の選挙から3回の選挙結果の議席数と得票数の比較は、図表I-2のとおりとなっている。これらの資料をもとにして、今回の選挙結果について、党派別にそれぞれの特徴を見ることにする。

図表 I - 1 2009年総選挙党派別の当選者数

2009年8月30日執行 第45回衆議院議員選挙

政党名	立候補者計	当選者数	当選者の内訳				小選挙区・300			比例区・180			公示前勢力	増減		
			前	元	新	うち女性	合計	前	元	新	合計	前			元	新
自民党	326	119	114	0	5	8	64	61	0	3	55	53	0	2	300	-181
民主党	330	308	113	52	143	40	221	107	43	71	87	6	9	72	115	193
公明党	51	21	19	1	1	3	0	0	0	0	21	19	1	1	31	-10
共産党	171	9	8	0	1	1	0	0	0	0	9	8	0	1	9	0
社民党	37	7	4	0	3	2	3	3	0	0	4	1	0	3	7	0
国民新党	18	3	2	1	0	0	3	2	1	0	0	0	0	0	4	-1
みんなの党	15	5	3	0	2	0	2	2	0	0	3	1	0	2	4	1
新党日本	8	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	-1
諸派	342	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無所属	66	6	2	2	2	0	6	2	2	2					6	0
合計	1,369	480	266	56	158	54	300	177	46	77	180	89	10	81	478	2

図表 I - 2 過去3回の衆院選の結果、議席・得票数の比較

投票率はいずれも小選挙区のもの

政党名	選挙区分	2003年11月9日(投票率59.86%)				2005年9月11日(投票率67.51%)				2009年8月30日(投票率69.28%)			
		議席数	議席占有率	得票数	得票率	議席数	議席占有率	得票数	得票率	議席数	議席占有率	得票数	得票率
自民党	小選挙区	168	56.0%	26,089,326	43.8%	219	73.0%	32,518,389	47.8%	64	21.3%	27,301,982	38.7%
	比例区	69	38.3%	20,660,185	35.0%	77	42.8%	25,887,798	38.2%	55	30.6%	18,810,217	26.7%
	合計	237	49.4%			296	61.7%			119	24.8%		
民主党	小選挙区	105	35.0%	21,814,153	36.7%	52	17.3%	24,804,786	36.4%	221	73.7%	33,475,334	47.4%
	比例区	72	40.0%	22,095,636	37.4%	61	33.9%	21,036,425	31.0%	87	48.3%	29,844,799	42.4%
	合計	177	36.9%			113	23.5%			308	64.2%		
公明党	小選挙区	9	3.0%	886,507	1.5%	8	2.7%	981,105	1.4%	0	0.0%	782,984	1.1%
	比例区	25	13.9%	8,733,444	14.8%	23	12.8%	8,987,620	13.3%	21	11.7%	8,054,007	11.4%
	合計	34	7.1%			31	6.5%			21	4.4%		
共産党	小選挙区	0	0.0%	4,837,951	8.1%	0	0.0%	4,937,375	7.3%	0	0.0%	2,978,354	4.2%
	比例区	9	5.0%	4,586,172	7.8%	9	5.0%	4,949,487	7.3%	9	5.0%	4,943,886	7.0%
	合計	9	1.9%			9	1.9%			9	1.9%		
社民党	小選挙区	1	0.3%	1,708,671	2.9%	1	0.3%	996,007	1.5%	3	1.0%	1,376,739	2.0%
	比例区	5	2.8%	3,027,390	5.1%	6	3.3%	3,719,522	5.5%	4	2.2%	3,006,160	4.3%
	合計	6	1.3%			7	1.5%			7	1.5%		
無所属 ※	小選挙区	17	5.7%	4,165,761	7.0%	20	6.7%	3,439,627	5.1%	12	4.0%	4,666,285	6.6%
	比例区	0	0.0%	0	0.0%	4	2.2%	3,260,517	4.8%	4	2.2%	5,711,186	8.1%
	合計	17	3.5%			24	5.0%			16	3.3%		
合計	小選挙区	300	100.0%	59,502,369	100.0%	300	100.0%	68,066,291	100.0%	300	100.0%	70,581,678	100.0%
	比例区	180	100.0%	59,102,827	100.0%	180	100.0%	67,811,069	100.0%	180	100.0%	70,370,255	100.0%
	合計	480	100.0%			480	100.0%			480	100.0%		
※無所属・その他 の内訳	国民新党	小選挙区	2	0.7%	432,679	0.6%	3	1.0%	730,570	1.0%			
		比例区	2	1.1%	1,183,073	1.7%	0	0.0%	1,219,767	1.7%			
	新党日本	小選挙区		0.0%	137,172	0.2%	1	0.3%	200,223	0.3%			
		比例区	1	0.6%	1,647,506	2.4%	0	0.0%	528,171	0.8%			
	みんなの党	小選挙区					2	0.7%	615,244	0.9%			
		比例区					3	1.7%	3,005,199	4.3%			
	その他	小選挙区		0.0%	18,243	0.0%	0	0.0%	1,114,193	1.6%			
		比例区	1	0.6%	433,938	0.6%	1	0.6%	958,049	1.4%			
	無所属	小選挙区	18	6.0%	3,240,521	4.8%	6	2.0%	1,986,055	2.8%			

2 全国の選挙結果と有権者の動向

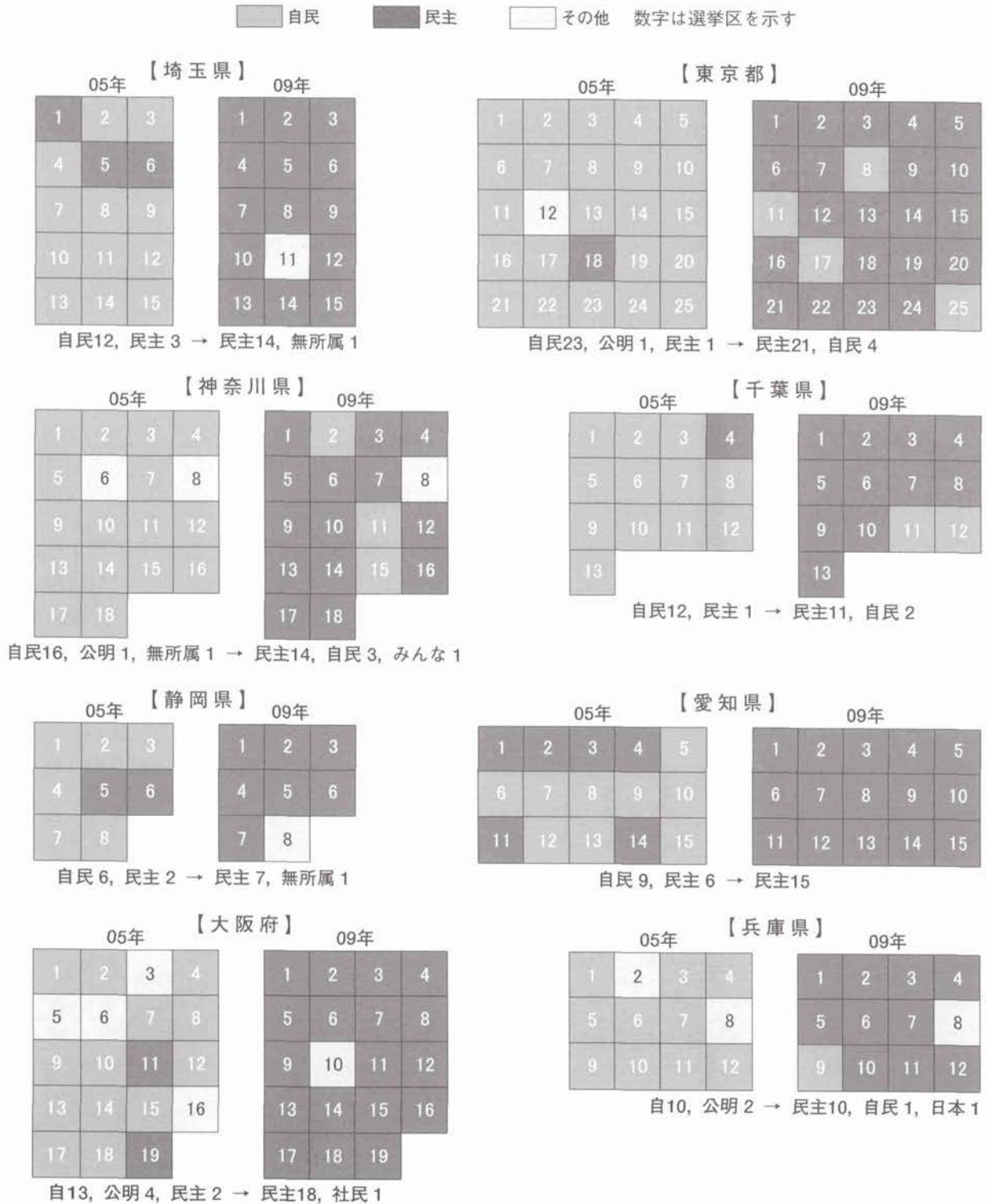
① 民主党

民主党の獲得した308という議席数は、一党の得た議席としては憲政史上最大のものとなり、前回の郵政選挙で小泉内閣の自民党が獲得した296議席をも、さらに中選挙区時代に中

曾根内閣が1986年の衆参ダブル選挙で獲得した300議席をも上回るものであった。

特に、今回、民主党が小選挙区で獲得した221議席は、300選挙区のうち73.7%の議席占有率となり、これまで最高の議席占有率であっ

図表 I-3 小選挙区 首都圏・中部圏・近畿圏の勝敗の変化



た2005年の自民党の219議席（73.0%）を上回っていた。民主党が前回52議席（17.3%）に落ち込んでいた小選挙区の議席を4倍以上に増やした結果となる。小選挙区で民主党が獲得した得票は、3,347万票であり、小選挙区ではこれまで最高といわれた前回の選挙で自民党が獲得した3,251万票を96万票上回っていた。

議席の獲得状況を地域的に見ると、前回自民党に大きく負け越していた首都圏、中部圏、近畿圏での小選挙区における民主党の勝利が大きく、これらの地域での議席が小選挙区で獲得した議席の約半数となっている。この変化は、まるでオセロゲームのようである（09.8.31朝日新聞夕刊）と評せられるほどであり、図表I-3のようになっていた。前回の小選挙区で府県別に1議席もとれなかった空白県は神奈川、兵庫など大規模県と北陸、中国、四国などの22県であったのが、今回はそのほとんど議席を回復し、空白県は5県にとどまっている。

一方、比例代表でも全国で2,984万票（42.4%）を獲得して、各ブロックごとにそれぞれ一位となり、87議席（48.3%）を獲得した。この比例代表で獲得した得票と議席は、現在の小選挙区比例代表並立制ができた1996年の選挙以来、それぞれ1党で得た最大の得票と議席となった。

ブロック別で見ると、東北（4）、北陸信越（7）、東海（12）、近畿（11）の各ブロックでそれぞれ1党として獲得した過去最大の議席となった。民主党は小選挙区の立候補者を全員1位で比例代表に重複立候補させており、小選挙区の立候補者271名のうち当選者が221名であり、比例代表に復活当選したのが43名で、落選したのは民主党議席ゼロの空白県となった鳥取・島根・高知など5県の7名だけであった。また、近畿ブロックでは小選挙区での当選者が多く、しかも重複立候補者が全員当選したことから、あらかじめ提出してい

た比例単独候補を合わせても獲得予定議席数に対して候補者名簿が2名不足してしまう結果となった。そして、自民党と公明党に1議席ずつ譲ることになってしまったのである。

② 自民党

自民党の119という議席は、前回選挙の296（公示前300）議席から177（公示前と比べて181）議席を減らしたことになり、1955年に結党して以来の「歴史的な敗退」とまでいわれ最低の議席数に落ち込んだことになる。議席占有率では24.8%と全体の4分の1議席となってしまった。

この結果をみると、特に小選挙区での敗退が大きく、前回の219議席から64議席（21.3%）に議席数が2割強となってしまったことが大きく響いている。この結果、小選挙区で閣僚や党役員を経験した大物議員が相次いで落選する事態となり、前職議員で立候補した279名のうち比例代表で復活当選した候補者を含めても当選者が114名（当選率40.9%）であり、165名（59.1%）が落選となってしまった。海部俊樹元首相、山崎拓元副総理、久間章生前防衛相、笹川堯総務会長、中川昭一前財務相などが涙を飲んだ。

地域的に見ると、前回、自民党が小選挙区で議席を独占していた20県で、次々と民主党に議席を奪われ、自民党が議席ゼロで民主党の独占を許したのが8県、その他の党に奪われたのを含めて自民党の議席が空白となった県が実に13県となってしまった。ただ、福井、鳥取、島根、高知の各県では議席の独占が続いている。

一方、比例代表で獲得したのは全国で1,881万票（26.7%）で、前回の2,588万票（38.2%）より700万票余り（11.5%）減らし、議席も77議席から55議席に22議席減らすことになってしまった。前回、得票率が4割を超えていた北関東、南関東、東京の各ブロックでは25～

26%減と大幅に落ち込み、議席数でも近畿ブロックを除いたすべてのブロックで過去最低の議席数となってしまったのである。

③ 公明党

自民党と連立政権を組んでいた公明党も、民主党躍進により大きな打撃を受け、前回獲得した31議席から21議席へと大きく減らす結果となった。特に、大阪4議席、兵庫2議席、東京・神奈川各1議席あった小選挙区の8議席をすべて失ってしまったのは、現行の選挙制度ができてから初めてのことである。太田昭宏代表、北側一雄幹事長がともに小選挙区で敗れ、比例代表に重複立候補していなかったため議席を失い、党役員も辞任することになった。自民党との連立政権10年を経て、大きな方向転換を余儀なくされた。

比例代表でも前回の898万票から805万票に93万票減らし、議席も近畿と中国ブロックで各1議席を減らし、前回の23から21になってしまい、これも現制度ができて以来、最低の議席数になってしまった。投票率が前回よりも上がったことと、連立のきずなの崩壊が象徴的に現れており、これまで全員当選を果たしていた公明党に組織力の低下がみられた。

④ 共産党・社民党

共産党は、これまで小選挙区にすべて候補者を立てていたが、今回は候補者を152人に絞り148選挙区では候補者を立てなかった。しかし、2000年以来続いてはいたが、小選挙区での当選者を今回も出すことができなかった。比例代表での得票は、前回とほとんど変わらない494万票であり、議席もまったく同じ9議席のままであった。

社民党は、民主党・国民新党の3党で選挙後に連立政権を組むことに合意したこともあり、両党の推薦を受けた大阪と大分で各1議席、そして沖縄でも1議席の3議席を獲得す

ることができた。しかし、比例代表では前回の371万票から今回は300万票に71万票減らしてしまったため、これまでとっていた北関東と東京ブロックで議席を失い6議席から4議席にとどまった。結果的には、前回と同数の7議席になって、現状維持となった。

⑤ その他の党

前回の郵政民営化に反対して結党した国民新党は、綿貫民輔代表を小選挙区から北陸信越ブロック比例代表に回したが、比例代表の得票が伸びずに落選となり、比例代表の議席はゼロになった。小選挙区では、民主党と社民党との野党共闘が成立し、亀井静香幹事長(現代表)などの3議席を獲得したが、結果的には1議席減少となった。

公務員改革問題で自民党を離党した渡辺喜美元行革担当相が、衆議院4名、参議院1名で総選挙直前に結党したみんなの党は、15人を擁立した。小選挙区で栃木3区の渡辺代表と神奈川8区の前職江田憲司の2議席を獲得。比例代表では、民主党参議院議員から離党し神奈川4区で小選挙区に立候補した浅尾慶一郎が復活当選したほか、北関東などから3議席を獲得した。しかし、小選挙区と比例代表に重複立候補した静岡1区と大阪9区の候補者が供託物没収点(有効投票数の1/10)に達しなかった。そのため、比例代表の東海ブロックで40万票、近畿ブロックで46万票を獲得したものの比例名簿に記載されなかったものとみなされ、東海では民主党に、近畿では自民党に議席を譲ることになってしまった。結果的には1議席の増にとどまった。

新党日本は、田中康夫代表が参議院から兵庫8区に転出し、公明党の冬柴鉄三元国土交通相と対決して勝利した。しかし、比例代表に擁立した他の候補者は得票が得られず落選となった。

北海道の地域政党である新党大地は、鈴木

図表 I-4 新人議員の当選者数

	1996年			2000年			2003年			2005年			2009年		
	議席	新人	割合	議席	新人	割合	議席	新人	割合	議席	新人	割合	議席	新人	割合
合計	500	115	23.0%	480	106	22.1%	480	100	20.8%	480	102	21.3%	480	158	32.9%
自民	239	49	20.5%	233	27	11.6%	237	27	11.4%	296	83	28.0%	119	5	4.2%
民主	52	17	32.7%	127	43	33.9%	177	58	32.8%	113	13	11.5%	308	143	46.4%
新進	156	36	23.1%												
その他	53	13	24.5%	120	36	30.0%	66	15	22.7%	71	6	8.5%	53	10	18.9%

宗男代表が比例代表で当選を果たした。諸派の幸福実現党は全国で候補者を擁立したが、議席の獲得はできなかった。

無所属では、小選挙区で6議席を獲得しているが、3議席は民主党が候補者を擁立しなかったために当選を果たしたものであり、残る3議席は自民党離党組でありそれぞれ民主候補を破って当選している。

(2) 選挙結果の特徴

① 議席の3分の1を占める新人議員、元職も最多

今回の選挙結果の特徴は、自民党の前職議員が落選の憂き目を見たのに対して、民主党の新人議員が大量に誕生したことである。新人議員の当選者数の動向は、図表 I-4 の通りとなっている。今回の選挙で当選した新人議員は156名で、総議席の32.9%で3分の1を占めている。前回は新人議員は102名と多かったが、自民党が83名と最も多く「小泉チルドレン」と呼ばれていた。今回はこれより57名も多く当選し、戦後、第3回選挙(1949年1月)で192人が当選して以来の2番目の多さといわれる(2009.9.1神奈川新聞)。新人全体で見ると、小選挙区で77名、比例代表で81名であり、比例代表の新人当選者数もこの制度ができて以来最大となった。

党派別に見ると、大勝した民主党では新人議員が143名で、民主の総議席308の46%と半数近くになった。民主党は前回の獲得議席から195議席増加したわけであるが、前職議員で立候補した113名が全員当選し、元職の復活と、残りを新人で埋めることになったのである。前回、新人議員を多く誕生させた自民党は、今回はわずかに5名にとどまった。社民党は3名、みんなの党・無所属が各2名、公明・共産・新党日本が各1名となっている。世代交代が着実に進んだこととも言えよう。

一方、元職議員は78名が立候補し、56名が当選(当選率71.8%)と元職の健闘も目立っていた。なかでも民主党では元職53名立候補し52名が議席を回復して、元職当選者の大半を占めた。前回の郵政選挙で小選挙区で落選した議員が、今回次々と返り咲いたことになる。

② 女性議員が衆院では初めて1割台

女性の当選者数が、今回の選挙で54名となり、過去最大だった前回の43名を上回り、この数回の総選挙で連続して増加傾向を示している。女性議員の割合は全議席に対して11.3%と2桁台に載せたわけだが、参議院ではすでに07年の選挙結果で42名17.4%と既に2桁台になっており、依然として男性優位の状態に変化はない。

6 全国の選挙結果と有権者の動向

党派別に見ると、民主党が40名と大半を占め、自民8名、公明3名、社民2名、共産1名となっている。特に、民主党が自民・公明両党の幹部や閣僚経験者に対して積極的に新人女性候補をぶつけるという「小沢戦略」もあって、結果として多くの女性議員を誕生させる要因となったのである。なお、今回の選挙の立候補者全体で見ると、女性は229名で候補者全体の16.7%であった。これは、中選挙区時代を含めて立候補者数・比率ともに最大であったことも付記しておきたい。

③ 自民敗北で世襲議員の大幅減少

親族に国会議員がいてその選挙区（地盤）を継承するいわゆる「世襲」候補が、今回の選挙を前にして民主党が世襲議員の公認をしないことを決めたことから、話題となっていた。前回の総選挙では、世襲議員が146名が当選し全議席の3割を占めており、欧米には見られない日本特有の政治風土といわれていた。今回の選挙の結果、世襲議員は92名に54名減少した。これは、世襲議員の新規公認を次回から認めないとしていた自民党が、前回の112名から55名に半減したことが大きく影響している。それでも自民党の世襲議員の割合は全議員の46%を占めており、議席数全体が3分の1近くに減少したことに伴い世襲議員の割合が増加したことになるが、世襲議員の地盤・看板・カバンはかなり強かったといえよう。

一方、民主党の世襲議員は前回の20名から今回32名に増加している。これは、新人議員の中には世襲議員はほとんどなく、多数が復帰した元職議員中に世襲議員が含まれていることによるものである。

④ 個人得票数の記録の塗り替えと1票の格差

投票率の上昇もあって、投票者数は過去最大の7,201万人を超えた（小選挙区）。投票者

図表 I-5
衆院小選挙区 歴代 高得票者ランキング

順位	得票数	候補者名	党派	選挙区	選挙年
1	201,461	鳩山由紀夫	民主 前	北海道9	09年
2	197,688	渡辺 周	民主 前	静岡 6	09年
3	197,073	小泉純一郎	自民 前	神奈川11	05年
4	186,993	大島 敦	民主 前	埼玉 6	09年
5	186,770	河野 太郎	自民 前	神奈川15	05年
6	186,081	荒井 聡	民主 元	北海道3	09年
7	184,328	細野 豪志	民主 前	静岡 5	09年
8	183,216	横路 孝弘	民主 前	北海道1	09年
9	182,952	小林千代美	民主 元	北海道5	09年
10	182,185	綿貫 民輔	自民 前	富山 3	96年
11	182,028	山尾志桜里	民主 新	愛知 7	09年
12	181,747	古本伸一郎	民主 新	愛知 11	03年
13	180,972	中根 康浩	民主 元	愛知 12	09年
14	180,609	岡本 充功	民主 前	愛知 9	09年
15	177,350	古本伸一郎	民主 前	愛知 11	09年
16	176,022	山井 和則	民主 前	京都 6	09年
17	176,017	石井登志郎	民主 新	兵庫 7	09年
18	175,879	佐々木隆博	民主 前	北海道5	09年
19	174,374	小泉純一郎	自民 前	神奈川11	03年
20	174,367	小宮山洋子	民主 前	東京 6	09年

の大幅増加があったことから、小選挙区における当選者の得票数も高くなり、得票数のランキングも大きく入れ替わることになった。図表 I-5 は、今回の選挙結果による小選挙区当選者の新しいランキングである。前回までトップだったのは小泉純一郎元首相の19万7千票だったが、今回は鳩山由紀夫新首相の20万1千票であり、新・元首相の得票数ランキングが入れ替わったのは象徴的なできごとである。この他に、北海道、埼玉、静岡、愛知などで高得票数で当選する人が続出し、トップ20位までに15名が今回の当選者であり、そのいずれも民主党議員で占めるという結果になった。

逆に、各小選挙区の1票の格差が拡大していることを示すものとして、小選挙区におけ

図表 I-6
小選挙区低得票者及び高得票落選者の上位

09年 小選挙区 低得票当選者

順位	得票数	候補者名	党派	選挙区
1	44,068	福井 照	自民	高知 1
2	66,868	坂口 岳洋	民主	山梨 2
3	73,085	山本 公一	自民	愛媛 4
4	73,379	大野 功統	自民	香川 3
5	74,489	山本 有二	自民	高知 3

09年 小選挙区 高得票落選者

順位	得票数	候補者名	党派	選挙区
1	151,448	町村 信孝	自民	北海道 5
2	136,526	亀岡 偉民	自民	福島 1
3	136,164	甘利 明	自民	神奈川 13
4	131,722	三村 和也	民主	神奈川 2
5	130,030	与謝野 馨	自民	東京 1

る低得票数による当選者と、高得票を得たにもかかわらず落選している事実である。図表 I-6 のように低得票での当選者の第 1 位は高知 1 区で 4 万 4 千票であり、2 位は山梨 2 区の 6 万 6 千票、3 位が愛媛 4 区の 7 万 3 千票で当選しているのである。高得票を得ても落選した例は、北海道 5 区で 15 万 1 千票、福島 1 区で 13 万 6 千票、神奈川 13 区で 13 万 6 千票などとなっている。これらを見ると、小選挙区での立候補者数にもよるが、都市部においては得票がかなり高くなければ当選が難しく、地方では比較的得票数でも当選が可能ということになる。

ちなみに、昨年 9 月の選挙人名簿登録者数を全国の小選挙区ごとに見ると、最も人数の多いのは千葉 4 区であり、東京 6 区、神奈川 10 区と続いている。また、最も少ない選挙区は高知 3 区であり、長崎 3 区、高知 1 区と続いている。これを最も少ない高知 3 区を基準

にして 1 票の格差を見たのが図表 I-7 の通りであり、これらの選挙区の 1 票は千葉 1 区は 0.443、東京 6 区は 0.445、神奈川 10 区は 0.449 でしかなかった。つまり、1 票の格差がすでに 2 倍以上に広がっていることが分かる。

衆議院では、選挙区画定審議会を設置し格差が 2 倍以上にならないことを目標にしているが、これが達成されていないことが分かる。民主主義にとって一票の格差が拡大することは、本来、根源的な民主主義のルールがゆがめられていることになる。今回の選挙の直前に「1 人 1 票実現国民会議」という団体が学者・弁護士・財界人などを発起人にして結成された。3 大新聞に全面意見広告を出し、1 人 1 票の格差の是正を選挙区を示して具体的に訴え、今回の最高裁判事の国民審査では、2007 年最高裁判決で「一人一票否定派」の 2 人の裁判官に「×」をつけることを呼びかけた。その結果、この 2 名に対して他の 7 名に比べて 1.3~2.7% とはつきりと有意な罷免の意思が表されていたことに注目したい。

図表 I-7
選挙人名簿登録者数等の多い選挙区・少ない選挙区
の上位と一票の格差

(2008年9月2日現在)

位	多い選挙区	人数	位	少ない選挙区	人数
1	千葉第4区	483,702	1	高知第3区	214,484
2	東京第6区	481,801	2	長崎第3区	214,595
3	神奈川第10区	477,572	3	高知第1区	214,807
4	北海道第1区	473,629	4	徳島第1区	214,830
5	東京第3区	473,454	5	福井第3区	214,985

高知3区に対する格差	高知=1	一票の格差(倍)
千葉1区	0.44342	2.255
東京6区	0.44517	2.246
神奈川10区	0.44911	2.227
北海道1区	0.45285	2.208
東京3区	0.45302	2.207

2. 民主党の圧勝、自民党の惨敗をどうみるか

(1) 政権交代を国民が望んだ

まず第1に、長く続いた自民党政治の交代を国民が望んでいたことが直接の要因である。小泉政権による構造改革のあと、所得の格差や貧困の問題が表面に出てきて、これまでの年金や医療など社会保障政策や雇用・産業政策に国民の不満が募ってきた。小泉内閣以降、安倍内閣、福田内閣と2代続けて1年で政権を投げ出す事態が続き、選挙に勝てる総理として麻生総理を選出したが、これも国民の期待に応えることができないでいた。

有権者は、2005年の郵政選挙で小泉自民党の圧勝を選択したときから、小選挙区制のもとではわずかの得票差でも議席の大幅な差を生じることが分かり、政権の選択は国民の手にあることを自覚し始めていた。

また、閣僚の不祥事が相次ぎ統治能力に欠けた安倍内閣のもとで、2007年の参議院選挙では国民が選挙で「ノー」という意思を示せば、参議院で与野党逆転という事態を起こしうることを実感した。にもかかわらず、福田・麻生とたらい回しされた自民党政権は、国民の不満に的確な対応を取ることができないうできていた。

昨年の秋に発足した麻生内閣は、解散総選挙を行う内閣として誕生したはずであったが、サブプライムローン問題からはじまった世界同時不況によりその対策に追われ、解散の時機を失ってしまった。2度にわたる大型の景気対策補正予算を組んでも、定額給付金などばらまきで施策では国民の評価は得られず、民主党小沢代表秘書が違法献金問題で逮捕された折も解散の好機を逸し、小沢代表から鳩

山代表にかわって民主党への期待は高まってきた。党内の「麻生おろし」に追いつめられて「予告解散」を宣言した麻生総理の優柔不断な態度に対して、国民が「政権交代」をせまったものといえる。

(2) 政権交代の受け皿としての民主党

第2には、自民党に代わるべき政権が用意されてきていたことである。

1955年に左右社会党の統一と自由党民主党の「保守合同」によりできあがった「55年体制」のもとで、自民党による一党長期政権が長く続いてきた。自民党は、中選挙区制の選挙制度のもとで、1つの選挙区から複数の候補者を擁立するためにいくつもの派閥が生まれ、派閥の領袖が資金と人事を握り、派閥間の政争により領袖間での政権交代を行う「疑似政権交代」を続けてきた。また、派閥間の抗争それ事態が長期政権を持続するエネルギーともなっていた。

一方、野党第1党の社会党は、社会主義革命から平和革命への路線転換を標榜していたものの自民党の半数の議席しか獲得できず「1カ2分の1体制」と揶揄されていた。しかも、選挙においては議席の過半数を超える候補者を擁立することができず万年野党に甘んじ、政権交代の受け皿とはならなかった。さらに60年代以降は公明党、民社党などの野党の多党化が進んでいった。

1993年には政治改革をめぐる自民党内の分裂により新生党、新党さきがけなどが誕生して、宮沢内閣不信任可決後の解散総選挙では自民党は過半数に達しなかった。その結果、日本新党の細川護熙党首を首相に擁立して7党1派による連立内閣が誕生した。翌94年に細川内閣による「政治改革法案」が成立し、衆議院に小選挙区比例代表並立制の選挙制度が導入され、この制度が1996年の総選挙から

実施された。新進党の結成や消滅など多くの政党の離合集散と再編が行われてきたが、この選挙制度改革により結果として2000年以降には自民党、民主党による2大政党化の方向が見えてきた。

2003年の総選挙では、選挙直前に自由党と吸収合併した民主党は、野党としては戦後最大の177議席を獲得し、政権運営能力は未知数であるとはいえ、自民党に代えて政権を託す受け皿として国民に意識されてきていた。2005年の郵政選挙では民主党は117議席に減らしたものの、戦後の我が国の政治史において、はじめて与野党間での政権交代が可能な受け皿ができていたということになる。

以上の2つの要因が指摘できるが、この2つの要因のウエイトは均等ではない。第1の「政権交代」を望んだ要因には、①自民党自体が社会経済の大きな変動に対して、それに対応できる自己変革ができていないこと、すなわち自民党的政治システムが崩壊していたことと、②小泉政権による構造改革により所得格差、中央地方の格差などの貧困と格差拡大に対する反発が強まり、社会保障制度の切り捨て政策に多くの不満が高まっていたこと、このふたつ内容が含まれている。

①の要因をさらに見ていくと、いわゆる族議員と、族議員につながる省庁の関連部局、そして施策に関連する団体・業界と間に「鉄の三角関係」ができあがっていたことが指摘できる。具体的な政策を実現するための法律や予算は、まず官僚がそれを立案し、各省庁の局別縦割りに沿ってできている自民党政調会の部会（族議員）を通して、自民党が官僚が立案した政策を取り込むというシステムであり、行政官僚と与党自民党との間に広範かつ緊密な関係ができあがっていた。法案や施策は党の部会での議論を経て、政調会で決定し、さらに総務会で了承されることが前提となる。まず議案に対して党の了承が得られる

と、その法案などが事務次官会議にかけられ、ここで合意されたものが閣議決定されるといふ、いわゆる「官僚内閣制」の仕組みとなっていたのである。

自民党という政党の内部機関における決定と、政府という内閣の決定が2本立てになっていることを示している。この分割された統治機能に多くの識者が疑問を既に呈していたのである（別掲、参考文献参照）。

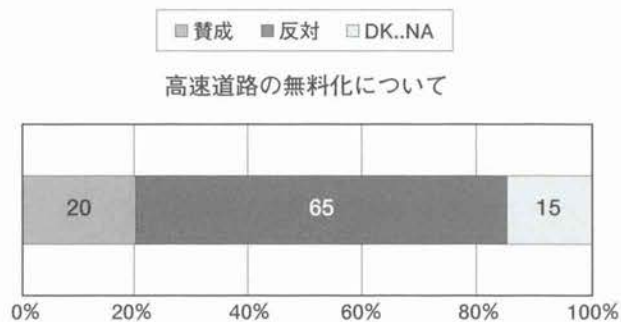
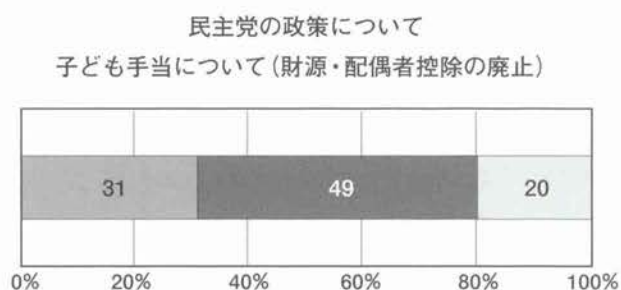
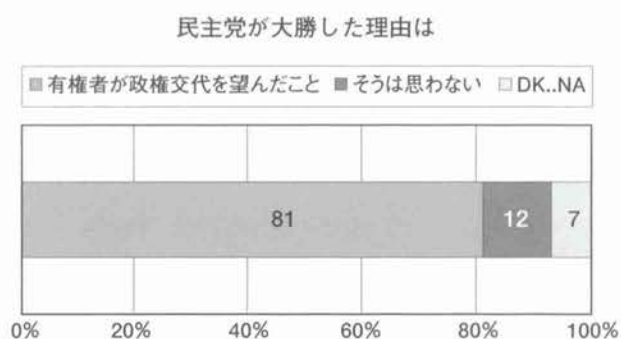
(3) 政権交代論 2/3、受け皿論 1/3

こうしたことを含めて見てみると、第1の「政権交代」を望んでいたという要因が大きく、民主党がマニフェストで示した政策への支持が高まったためではなさそうである。朝日新聞の選挙直後の世論調査（2009.8.31-9.1実施）では、図表I-8のような内容が出ている。

民主党が今回の選挙で大勝した理由について、「有権者が政権交代を望んだこと」が81%と多くの人が応えているが、「民主党の政策を支持したこと」は38%にとどまり、「そうは思わない」が52%で半数に達していた。また、具体的に民主党の政策について「月2万6千円の子ども手当を支給することについて、配偶者控除などを廃止して財源に充てる」ことについては、賛成31%、反対49%であった。また「高速道路の料金を段階的に廃止することについては、賛成20%、反対65%でいずれも反対が多くなっていた。

さらに、子ども手当については、同社の9月16-17日の世論調査で、民主党の政策について質問の方向を変えてとして、「子ども手当について」について「実現すべきもの」かどうか財源を抜きで質問すると、「実現すべきだ」が60%と過半数を超えていた。しかし、高速道路の無料化については「実現すべきだ」は24%と相変わらず低く、「そうは思わない」が67%となっていた。そのほかの政策について

図表 I - 8 朝日新聞世論調査の内容



出所：朝日新聞世論調査

は、「年金制度の一本化、最低保障制度などの年金改革」については「実現すべきだ」が75%と極めて高く、「ガソリン税の上乗せ廃止」は「実現すべきだ」が56%となっていた。

こうした調査結果を見ると、これまでの自民党的政治手法について国民から厳しい批判

が出され、「政策選択以前に政権の担い手を交代すべきだ」という意思の表れであったように思われる。前回の郵政選挙で「守旧派」への批判から「改革派」に大きく揺れた国民の意思が、その後の自民党の対応に「うそ」を見抜きあきらめとなり、ややエモーショナル(情動的)な動きとなったことは否めない。自民政権を交代すべきだが3分の2、民主党という受け皿ができていたことが3分の1という意識状況であったものと推定できる。

3. 出口調査の結果から

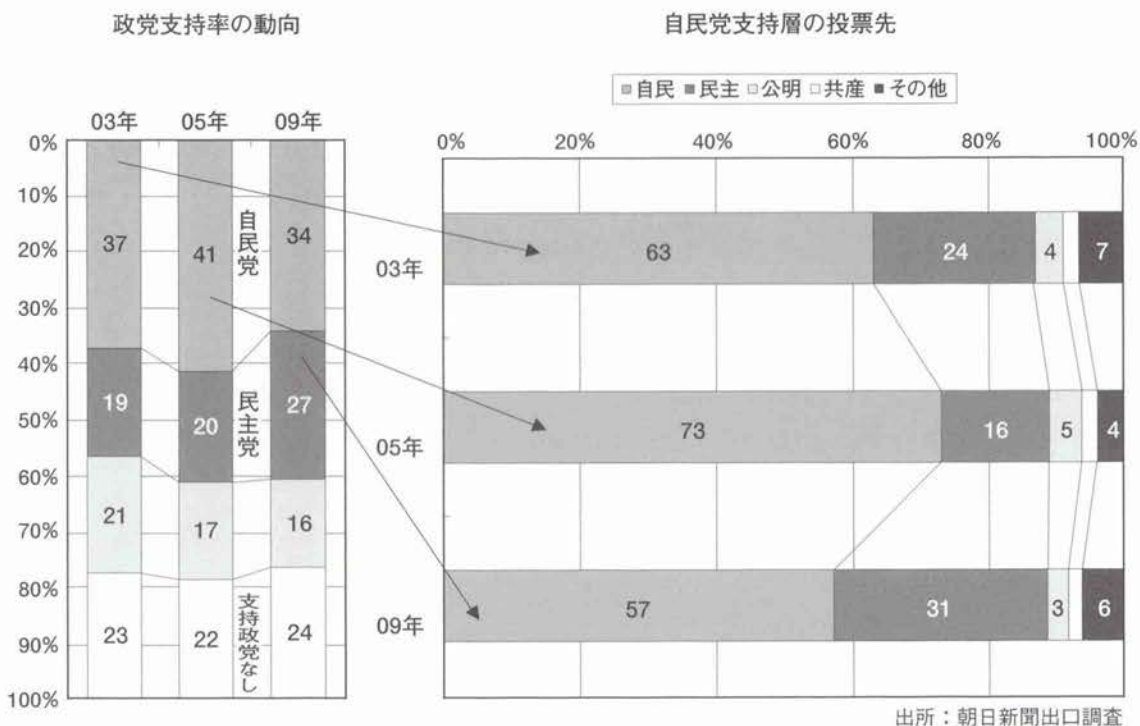
(1) 小選挙区における投票行動

報道機関の出口調査の結果を総合すると、今回の有権者の自民党離れが浮き上がってくる。まず、小選挙区における政党支持の動向だが、図表 I - 9 の読売新聞の出口調査による首都圏・近畿圏の102選挙区での結果では、自民34%、民主27%、その他の党16%、政党支持なし24%となっていた。自民党支持率は前回05年では41%であったことからすれば7ポイント下がっていた。

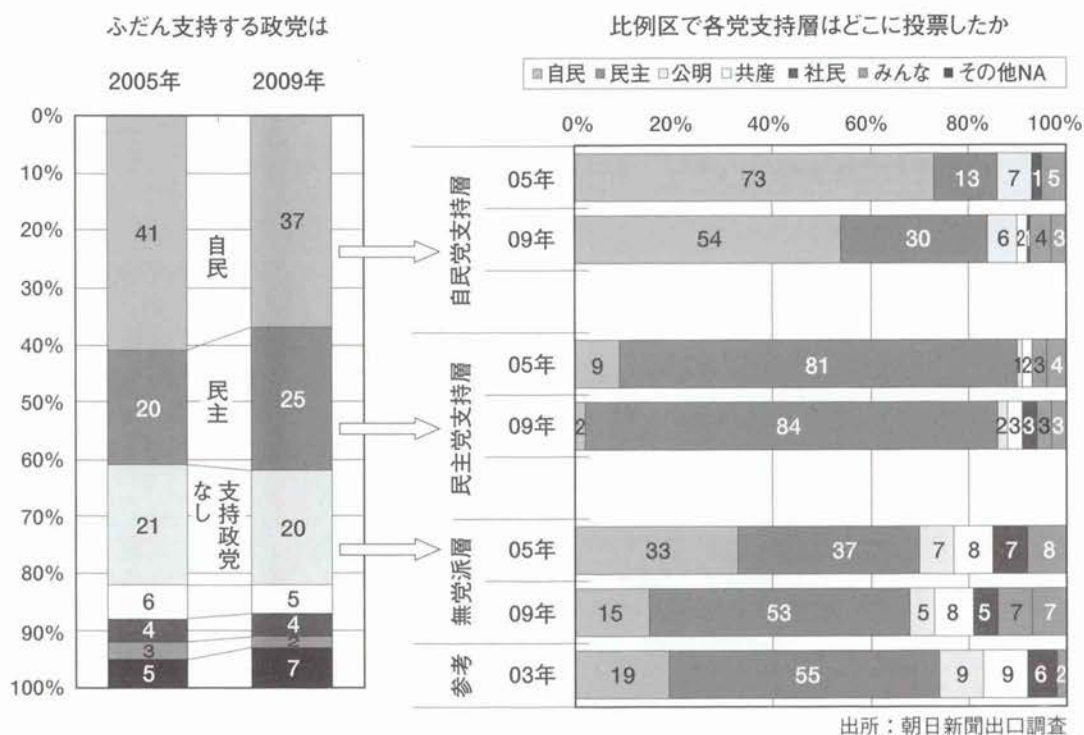
この自民党支持層がどの党の候補者に投票したかを見ると、05年には自民党に73%、民主党に16%であったものが、今回は自民に57%、民主に31%となっており、自民党への投票が16ポイント下がり、競争相手の民主に15ポイントも多く流れていたことになっている。

同じ調査で無党派層の投票行動を見ると、もともと無党派層は民主党に投票する傾向が強いのだが前は自民党との差は7ポイントまで詰まっていた。今回は、自民21%、民主59%と37ポイント差にまで拡大しており、無党派層も雪崩をうって民主党に投票したことが分かる(以上、09.9.1付読売新聞より)。

図表 I - 9 支持政党と投票行動（小選挙区）



図表 I - 10 支持政党と投票行動（比例区）



(2) 比例代表における投票行動

この傾向は、比例代表の投票でも同じよう

になっており、朝日新聞が全国で行った出口調査の結果は図表 I - 10のようになっていた。「ふだん支持する政党」は、自民37（前回

41) %、民主25 (同20) %、無党派層20 (同21) %などとなっており、自民の支持率が4ポイント減り、民主支持率が5ポイント増えていた。

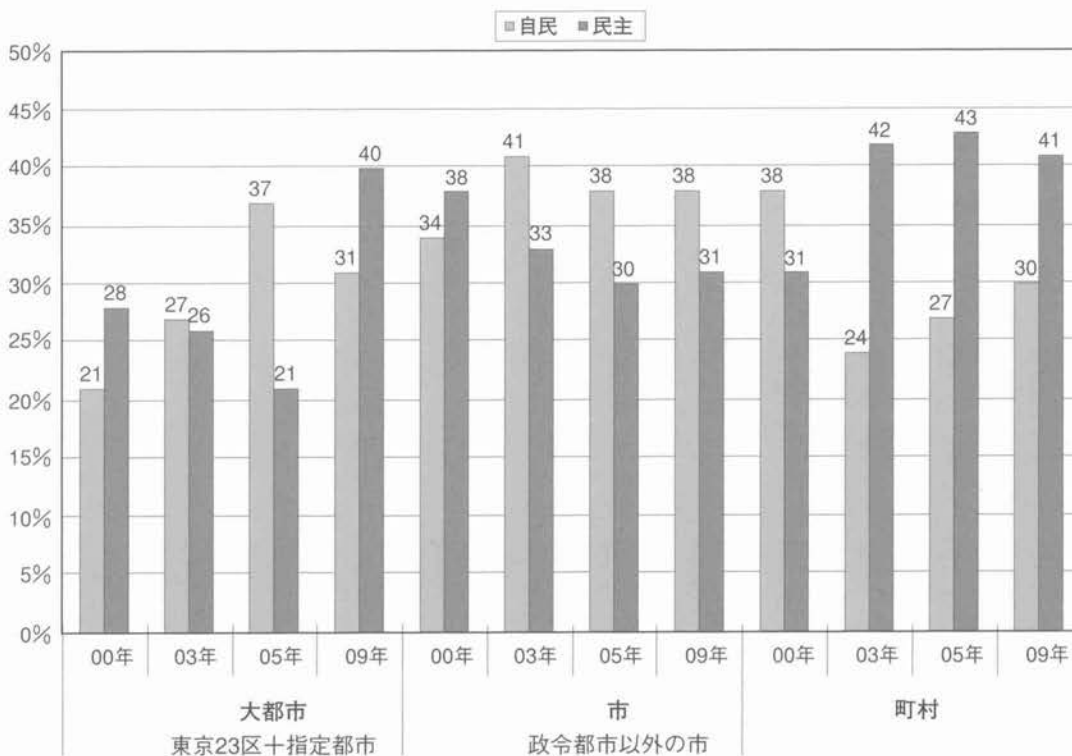
そのなかで自民党支持層の投票行動を見ると、自民54 (前回73) %、民主30 (同13) %となっており、自民党支持層の半数強しか自民党に投票しておらず、3割が民主に流れていることが分かる。これに対して民主党支持層では前回よりやや多い84%が民主に投票している。一方、無党派層では自民15 (前回33) %、民主53 (同37) %となっており、前回より自民が半数以下となり、民主が16ポイント増加していることになり、民主の圧勝を裏付けるデータである。

比例代表の得票傾向を、①東京23区と政令指定都市、②その他の市、③町村に地域別に分類してこれまでの4回の選挙結果から得票

率を見たのが図表 I - 11である。03年までは都市では民主が強く、地方では自民が強いという傾向が明確に出ていた。しかし、前回の郵政選挙では自民党が圧勝し、都市も地方もまったく同じような得票率で自民が勝っていたものが、今回はまったく逆転し、都市でも地方でも民主の圧勝が見られた。しかも、前回よりも得票率の差は大きくなり、特に大都市では18ポイントの大差となっていることが分かる (以上、グラフは2005.9.12および2009.8.31朝日新聞夕刊の報道を加工して作成した)。

これらの出口調査から、小選挙区と比例代表において、自民党支持層の縮小傾向と自民党離れを見ることができ、それと無党派層が自民から民主に投票先を移したことが明らかとなり、結果として民主圧勝、政権交代につながったものといえる。

図表 I - 11 都市の規模別でみた比例区得票率の推移



2005. 9. 12 および 2009. 8. 31 の朝日新聞夕刊の報道を加工して作成

【参考文献】

- 北岡伸一『自民党－政権党の38年』1995年 読売新聞社 2008年中公文庫
加藤秀次郎『日本の選挙－何を変えれば政治が代わるか』2003年 中公新書
石川真澄『戦後政治史－新版』2004年 岩波新書
山口二郎『戦後政治の崩壊－デモクラシーはどこへゆくのか』2004 岩波新書
星 浩『自民党と戦後－政権党の50年』2005年 講談社現代新書
佐々木毅『政治学は何を考えてきたか』2006年 筑摩書房
飯尾 潤『日本の統治構造－官僚内閣制から議院内閣制へ』2007年 中公新書
森田 実『自民党の終焉－民主党が政権を取る日』2007年 角川SSC新書
野中尚人『自民党政治の終わり』2008年 ちくま新書
芹川洋一『政治を見る眼－24の経験則』2008年日経プレミアシリーズ
山口二郎『政権交代論』2009年 岩波新書
田崎史郎『政治家失格－なぜ日本の政治はダメなのか』2009年 文春新書

【Ⅱ 神奈川県内の選挙結果とその特徴】

1. 全国的傾向を裏付ける民主党の躍進

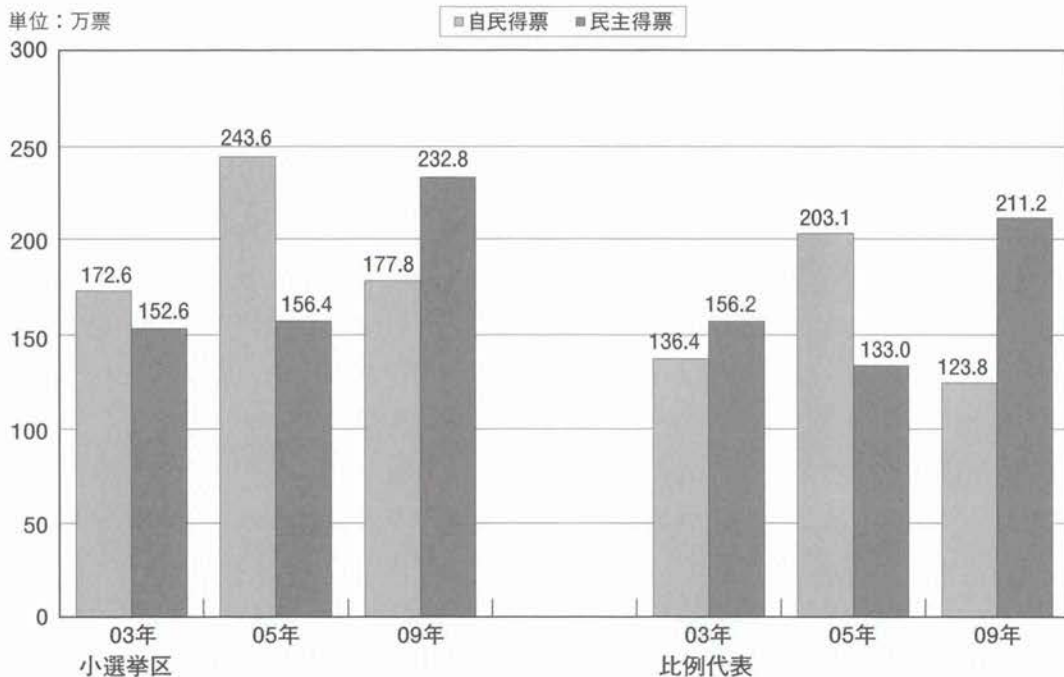
(1) 小選挙区で自民が3議席のみ、比例代表でも得票減

神奈川県内18の小選挙区の選挙結果は、民主党が前回議席ゼロであったものを一挙に14議席に増加させ、自民党は前回の16から今回はわずか3議席と大幅な減少となった。得票数も民主党が232万8千票（47.8%）を獲得し前回より76万票も増加させたのに対して、自民党は177万8千票（36.5%）と前回より65万票以上減少している（図表Ⅱ-1参照）。また、

みんなの党は選挙前の1議席を確保し、公明党は議席がゼロになってしまい、これらはいずれも全国的な傾向と一致している。

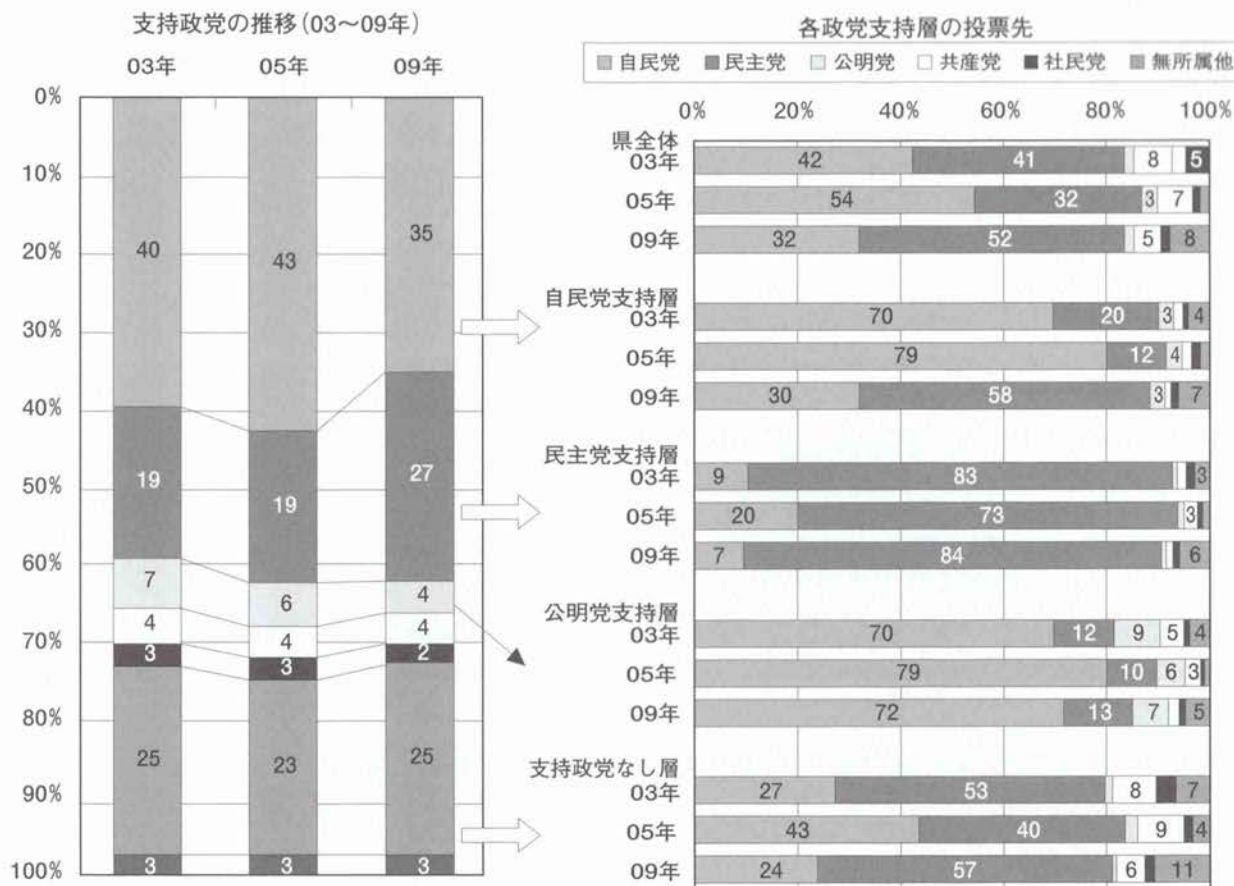
一方、比例代表では、民主党が前回の133万票から211万票に大幅に得票を増加させ、比例代表の制度ができてから1党で獲得した得票数では最大となった。そのこともあって、南関東ブロックでは前回の7議席から11議席に大幅な議席の増加を得て、小選挙区で当選できなかった4人の候補者も比例代表で全員復活当選を果たした。さらに、民主の比例単独候補が5人当選し、そのうち神奈川出身の2名が含まれた。逆に、自民党は前回の203万票から123万票余りへ79万票も減少し、南関東ブロックでは前回の10議席から6議席に減少させてしまったことから、県内の小選挙区で当

図表Ⅱ-1 県内、自民・民主の得票の推移



出所：神奈川新聞・共同通信の出口調査より 上林作成

図表Ⅱ-2 各党支持層の投票行動



出所：神奈川新聞・共同通信の出口調査より 上林作成

選できなかった候補者のうち復活当選できたのは3人とどまってしまった。

公明党は、県内の比例代表の得票を前回の54.8万票から今回は46.9万票に約8万票の減少となり、制度ができてから最低の得票数にまで落ち込んでおり、南関東ブロックでは1議席減の2議席にとどまってしまった。同じく比例代表で、共産党は32.7万票を34.9万票に増やし、社民党は27.5万票から21.9万票に減らしたが、それぞれ1名が当選を果たすことができた。新党を結成したみんなの党は、小選挙区で4名の候補者を擁立したこともあって、比例代表でも37.2万票を獲得して社民党の得票を上回り、小選挙区で落選した1名を復活当選させた。

以上の結果、県内出身者の当選者数は、民主党20名、自民党6名、みんなの党2名、社民党1名であり、小選挙区で比例代表に重複

立候補していない公明党と、重複立候補者を3位にしていた共産党は、いずれも県内出身者からは当選していない。

(2) 有権者の投票行動

— 出口調査の結果から

神奈川新聞社と共同通信社が共同して行った出口調査の結果をみると、神奈川県内の有権者の小選挙区における投票行動が明確になっていた。当センターには同社の行った過去2回の総選挙における出口調査結果がデータとして蓄積されており、それらのデータから有権者の政党支持の動向とそれら政党支持層がどの党の候補者に投票したのかをグラフ化したのが図表Ⅱ-2である。(出口調査の結果として出された数値には多少の誤差が含まれているため、本文及びグラフの中ではパーセン

テージは煩雑さを避ける意味でも小数点以下を四捨五入して表現することにした。）

① 有権者の政党支持状況の変化

図表Ⅱ-2の左の棒グラフが政党支持状況の変化を見たものである。自民党支持層は、03年には40%であり、郵政選挙の05年には43%に増加していたが、今回は35%へ8ポイントも大幅に減少している。民主党は、03年に19%であったが05年でも支持率を維持し19%で、今回は8ポイント増加させて27%となっている。自民支持から民主支持への支持層が変化してきたことをうかがわせる内容である。

続いて「政党支持なし」と答えたいわゆる「無党派層」は23%、25%、23%と大きな変化は見られていない。共産党と社民党もほとんど支持層の割合は変化していない。公明党は、7%、6%、4%と支持層の減少傾向を読み取ることができる。

② 各党支持層の投票行動

これらの政党支持層がどの党の候補者に投票したのかを見たのが図表の右側の横組み棒グラフである。出口調査の結果を県全体で見ると、03年では自民42%、民主41%とほぼ拮抗していたが、05年には自民54%、民主32%と12ポイントの差に拡大し、今回は自民32%、民主52%と20ポイント差で民主が逆転していた。実際の得票率では、自民と民主がそれぞれ03年が44.0%と38.9%、05年が52.4%と33.6%、今回は36.5%と47.8%となっており、実際の得票率で大きな議席差が出たときの出口調査では実際よりも極端な差として現れる傾向が見られる。

それぞれの政党支持層ごとに見てみよう。自民党支持層は、自民党候補に03年が70%、05年が79%と高い集中度を見せていたが、今回は58%と大幅に下がってしまっており、民

主党候補に30%が流れてしまっている。民主党支持層は、各年とも83%、73%、84%とそれぞれ着実に支持を獲得していた。さらに、政党支持なしの「無党派層」は03年には民主に53%、05年は自民に43%、そして今回は民主に57%がそれぞれ投票したと応えている。各年により大きく投票先が変わっていることが分かる。

③ 「たて移動」と「よこ移動」

政党支持層の投票行動を見ると、ある政党支持層がその党に投票しなくなると投票所へ行かなくなると投票率が下がり、結果としてその党の得票が伸びなくなる。支持者が棄権することにより得票が減る、逆に支持者が投票に行き得票が増えることを「たて移動」と呼んでいる。得票率が上がると野党得票が上がり与党に不利なケースがしばしば見られた。実際2000年の総選挙で、当時の森喜朗首相が「有権者には寝ていてほしい」と低投票率を期待する発言をしたが、結果的には投票率が上がって野党の議席が増え、自民党が過半数の議席を取ることができなかったことがある。

一方、有権者が支持する政党を変えること、またはふだん自分の支持する政党でない候補者に投票することにより得票に大きな変化が起きることがある。前者の例では、無党派層が選挙のたびに投票する政党を変えることや、後者の例では今回のように自民党支持層で民主党に投票する人が増えたことを指し、これを「よこ移動」とよんでいる。今回は、投票率が上がるとともに支持政党を変えたことなど「たて」と「よこ」の両方の移動があったものと思われる。

その具体例として図表Ⅱ-3では、各小選挙区において「よこ移動」の典型として自民党支持層が民主党候補へどれだけ移ったのかを見たものである。選挙区によって大きな差

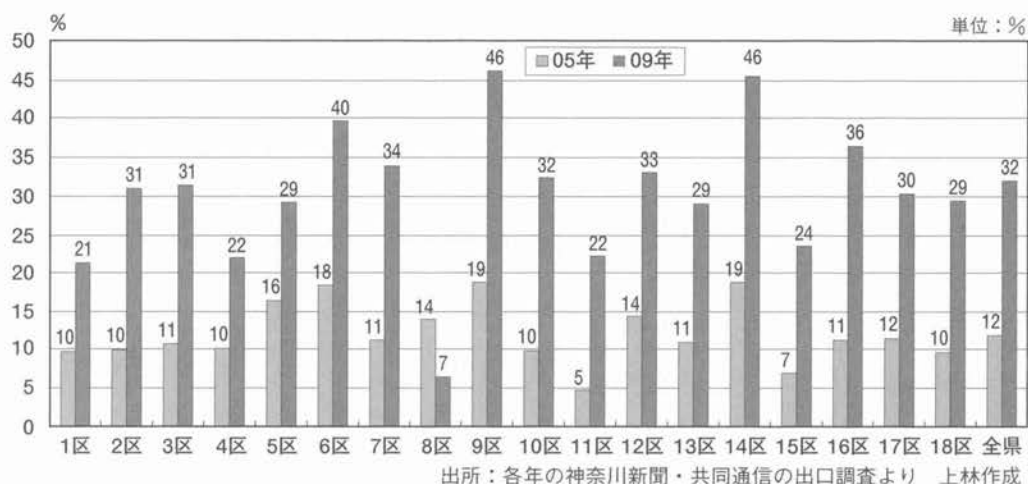
を生じているが、前回は最大でも9区と14区の19%であったものが、今回は最大が9区と14区で46%であり、多くの選挙区で3割を超えていることが分かる。これらの選挙区では民主党候補が自民党候補に大きく水をあげ勝利している。また、6区は自民が公明候補を推薦している選挙区であるが、ここでは前回18%が民主に流れていただけだったが、今回は4割が民主に流れ、公明党候補の落選に直結している。

一方、公明支持者は全体としては、03年に70%、05年が79%、そして今回は72%と手堅く自民党に投票していた。しかし、図表Ⅱ-4のように、3区、4区、5区、12区のように自民への得票が6割台まで下がってきており、この選挙区ではいずれも自民党候補は惨

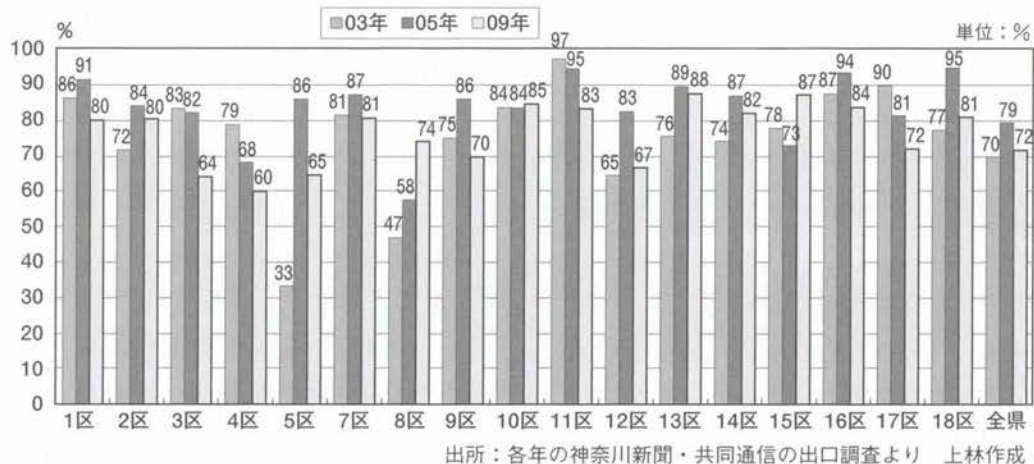
敗している。自民支持層も公明支持層も連立政権10年を経て、連立の絆がゆるんできていることが明らかとなっていた。

また、県全体の政党支持率の他に、各小選挙区ごとの政党支持率の変化を見たのが図表Ⅱ-5である。このグラフで見ると、各選挙区ごとに支持率の振れは異なっており、支持率の大きな変化は得票に直接影響を与えることになる。例えば、11区では小泉元首相の選挙区であり自民党が圧倒的な高い支持率を持っていたが、2回の選挙で大きく下がってきていることがわかる。そして、自民党支持率が10ポイント前後と大きく下がった選挙区では民主党の支持率が上がっており、後に見るようにこれらの選挙区では民主党の圧勝という結果が出ている。

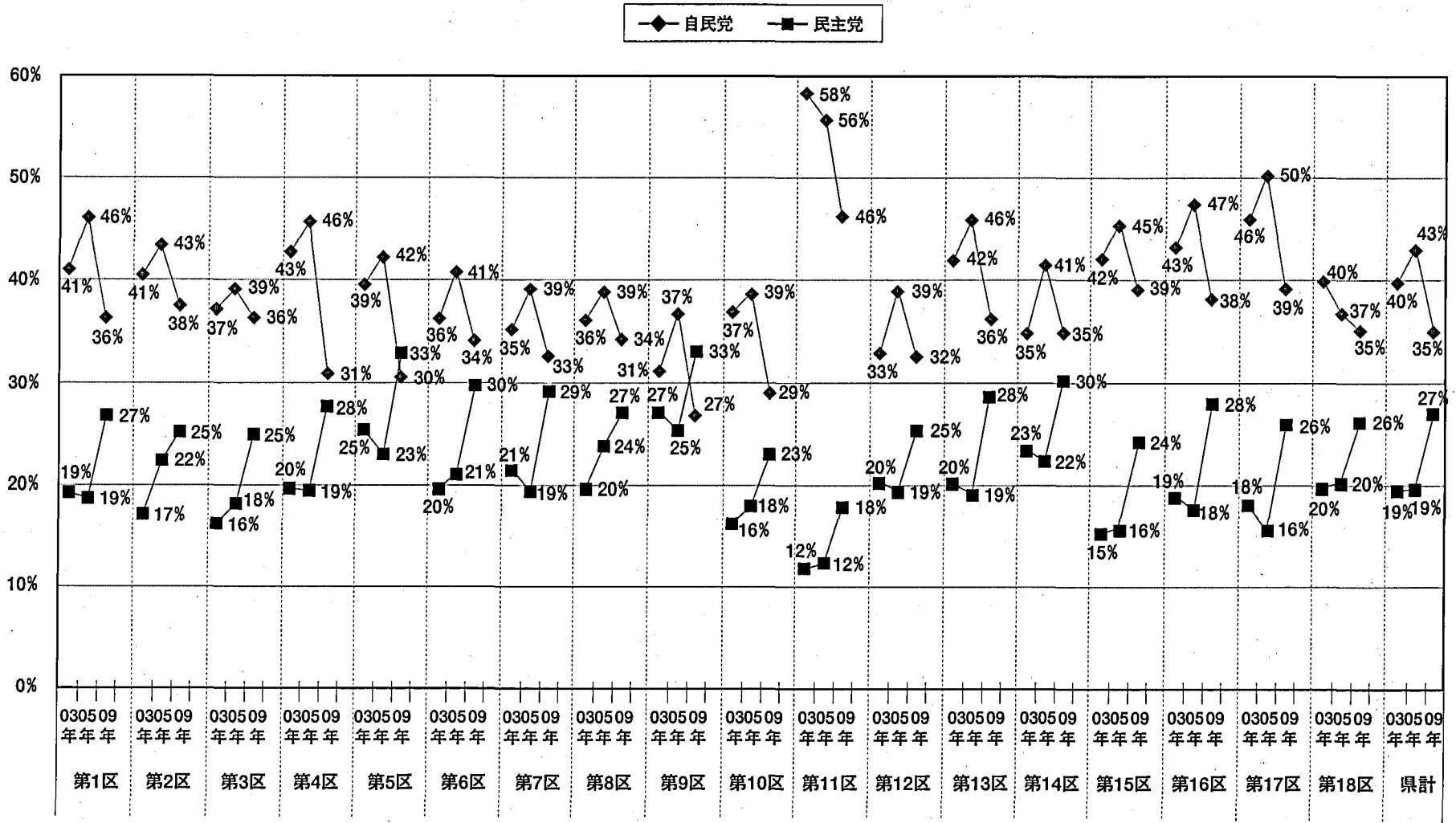
図表Ⅱ-3 自民支持層が民主候補へ投票した割合



図表Ⅱ-4 公明支持層の自民党候補への投票割合の推移



図表Ⅱ-5 2大政党、選挙区別支持率の変化



出所：各年の神奈川新聞・共同通信の出口調査より 上林作成

2. 選挙区ごとの結果と勝敗の要因

(1) 民主新人に敗北または苦戦した自民

① 1区（横浜市中区・磯子区・金沢区）

民主は前回敗れた佐藤謙一郎（敬称略。以下同じ）が引退を表明し、公認の候補選びが2転3転したが、2009年2月に女子大准教授の中林美恵子を公認決定した。自民の松本純は5期目の挑戦となったが、麻生首相（当時）の側近として内閣官房副長官となり麻生内閣を支えてきており、知名度も高まり内閣発足当初は優勢が伝えられていた。しかし、自民党長期政権への批判がわき起こり、政権の中枢にいた松本は、そのあおりをまともに受けて小選挙区でのまさかの敗退となったが、比例代表で復活当選することができた。

中林と松本の得票の内容を、出口調査のデータから政党支持層からどの程度の得票を得てきたかを推計し比較して見たのが図表Ⅱ-6である。（この推計は、候補者の得票に、出口調査で得たその選挙区の各政党支持率と、各政党支持層が投票したと答えた割合を乗じて

図表Ⅱ-6 第1区 前回比較・各党支持層からの得票推計



算出した。グラフでは、各政党支持層から獲得したと推計される得票を千票単位で表しており、百の桁を四捨五入しているため合計が一致しないことがある。以下、出口調査による数値を折り込みながら、自民・民主の候補者を重点的に絞って、自民・民主・無党派層の支持層別の得票の動向をみることにする。政党支持率の変化は図表Ⅱ-5を参照されたい。）

出口調査の詳細な数値を見ると、1区における自民党の支持層は前回の46%から36%に10ポイント下がっており、自民支持層から民主党への投票が前回は10%にとどまっていたのに対して、今回は21%（2.2万票）が中林へと大きく流れていると推計できる。民主党の支持層は前回の19%から27%に8ポイント増加し、そのうち86%（6.2万票）が中林に集中していた。一方、無党派層は、前回51%（3万票）が松本に投票していたが、今回は中林に60%（4.1万票）が集まり、無党派層の投票した政党が逆転していることがわかる。

こうしたことから、松本は前回に自民党支持層から10万7千票を獲得していたものが、今回は6万2千票に大きく減らし、無党派層からの得票も前回の3万票から今回は2万4千票に減らしており、結果的に前回より4万3千票あまり減らしてしまったのである。一方、中林は、民主支持層の増加により前回の佐藤の4万4千票から6万2千票に1万8千票上乗せし、自民支持層から前回より9千票、無党派層からも前回より1万5千票あまり上乗せし、見事初当選となったのである。

一方、中林は、民主支持層の増加により前回の佐藤の4万4千票から6万2千票に1万8千票上乗せし、自民支持層から前回より9千票、無党派層からも前回より1万5千票あまり上乗せし、見事初当選となったのである。

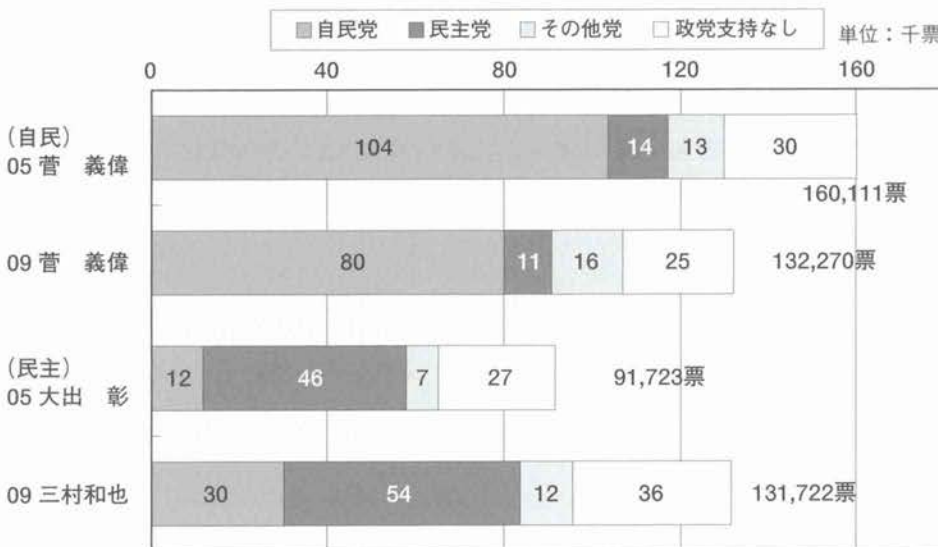
② 2区（横浜市西区・南区・港南区）

自民党の菅義偉は、選対副委員長と県連会長の要職にあり、4期連続当選の実績の上に勝利が確実視されており、ひんぱんに全国遊説を行っていたが、選挙戦に入って世論調査などで苦戦が伝えられて選挙区へ呼び戻される事態になった。民主党は、前回までの大出彰にかわって新人の元経済産業省課長補佐の三村和也を候補者として早くから準備を進めていた。三村は選挙戦に入って街頭を走りながら遊説するなどユニークな選挙戦を展開し

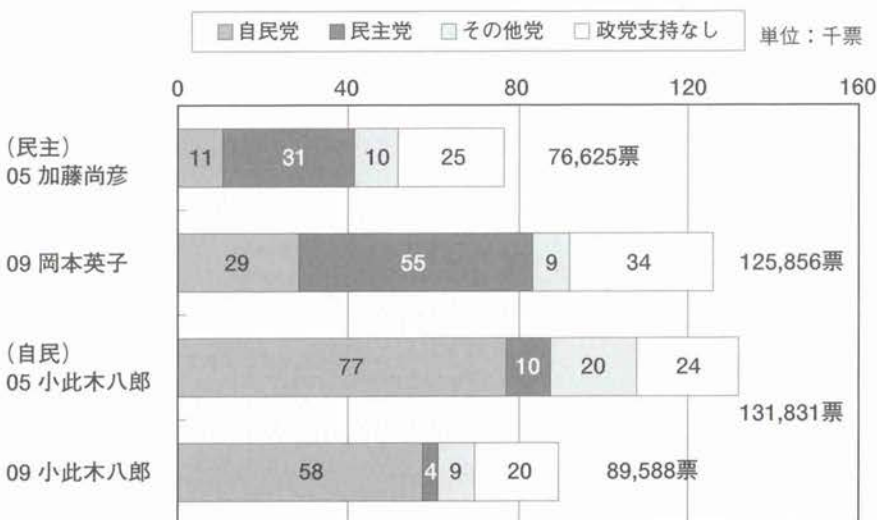
ていた。選挙は大接戦となり、最終的には自民の菅が抜け出し13万2千票を獲得し500票差の辛勝という結果となり、三村は比例代表で復活当選して初議席を確保することができた。

菅の苦戦の状況を出口調査の結果から分析すると、図表Ⅱ-7のようになる。まず自民党支持率が前回より5ポイント下がり、その自民党支持層の3割（3万票）が民主党に流れてしまったと推計できることである。続いて民主党支持率は3ポイントの増加であったが82%（5.4万票）が三村に集中していた。無党派層は、前回47%（3万票）が菅に投票していたが今回は57%（3.6万人）が三村に投票し、支持者の移動が見られた。この結果、各党支持層からの支持を減らした菅が苦戦を強いられ、逆に各党の支持層からの得票を増加させた三村が善戦したものといえる。

図表Ⅱ-7 第2区 前回比較・各党支持層からの得票推計



図表Ⅱ-8 第3区 前回比較・各党支持層からの得票推計



③ 3区（横浜市鶴見区・神奈川区）

民主党は加藤尚彦が引退したことに伴い、横浜市会議員の岡本英子を栄区からの転出させ公認し、早くから活動を開始していた。自民党の小此木八郎は政治家一家の世襲議員であり5期の実績を持ち、前回大量得票し

ていたことからやや活動が鈍っていたと伝えられていた。結果的には岡本が12万5千票を獲得、小此木に2万7千票余りの大差で圧勝している。

ここでも出口調査を見ると、自民党支持率の減少は3ポイントと少なかったものの、図表Ⅱ-8のように、自民支持層から民主へ3割(2.9万票)が流れてしまっていたと推計される。民主党支持率が7ポイント上がり、岡本はその9割近く(5.5万票)を固めた。無党

派層からは、前回小此木が42%(2.4万票)獲得していたが、今回は岡本が54%(3.4万票)を獲得し、ここでも政党支持が移動していた。また、前掲図表Ⅱ-4のように、公明党支持層から前は小此木が82%の得票を得ていたが、今回は64%と大きく下がった。こうした結果から民主党と無党派層の支援を集め、自民党の3割にも食い込んだ岡本の圧勝となったものといえる。

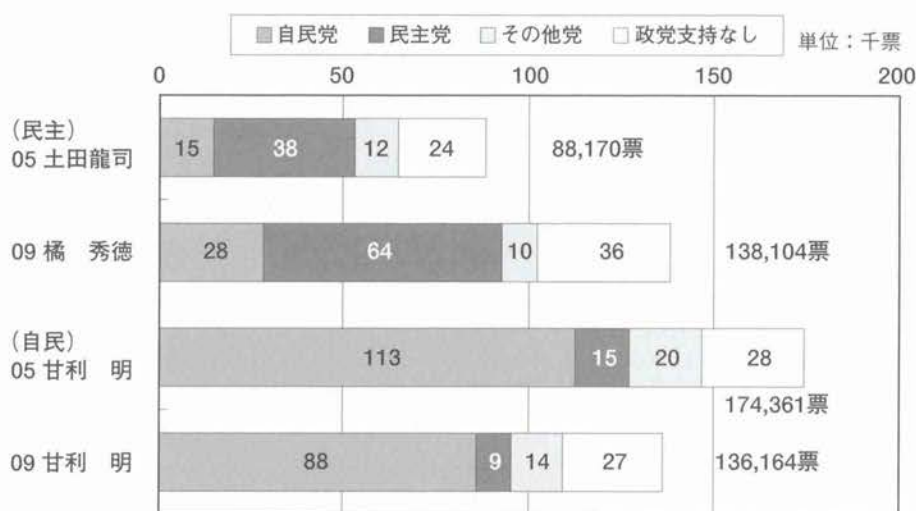
④ 13区(大和市・座間市・海老名市・綾瀬市)

自民党は、8期連続当選の実績と麻生内閣の行革担当相である甘利明が、固い地盤を生かして連勝を目指していた。民主党は、前回までの土田龍司に代わって、議員の政策秘書で松下政経塾出身の橘秀徳が公認された。現職の閣僚に対して新人の戦いでは現職有利の下馬評が強かったが、結果的には民主党躍進の風に乗って2千票という僅差ではあるが13

万8千票を獲得した橘が当選し、甘利は比例代表での復活当選となった。

甘利の苦戦の原因は、出口調査によればまず自民党支持率の低下にあり、前回よりも10ポイント下がって36%になったことであり、その自民支持層から29%(2.8万票)が民主の橘に流れたと推計されることである(図表Ⅱ-9)。民主党は支持率を9ポイント上げて28%となり、そのうち84%(6.4万票)を橘が固めることができた。無党派層からは、前回

図表Ⅱ-9 第13区 前回比較・各党支持層からの得票推計



48%(2.8万人)が甘利に投票していたが、今回は57%(3.6万人)が橘へ投票しており、結果的には前回より無党派層の支持を減らしたことが甘利が小選挙区で敗れることになった要因であると思われる。

⑤ 14区(旧津久井郡・南部を除く相模原市)

自民党は、前回の選挙で小泉旋風の勢いで、民主党の藤井裕久元蔵相を破って当選した県

議出身の赤間二郎が再選を目指した。民主党は、藤井の元秘書で県議2期目の木村賢太郎を後継者として擁立することを早くから決め

ていた。市内から07年の県議選で3万5千票の大量得票を得た実績を持つ本村には勢いがあり、藤井の全面支援も受けて15万7千票を獲得し、赤間に5万3千票の大差をつけて圧勝した。

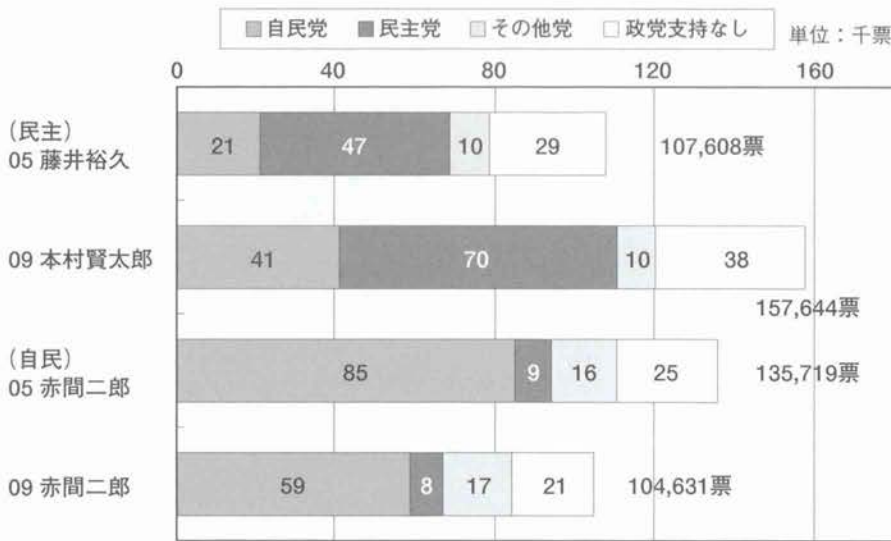
民主党が大勝した要因は、民主党支持率が8ポイント上がって30%となったことと、自民党支持層から46%（4.1万票）という大量の

得票を得たことにあると推計できる（図表Ⅱ-10）。赤間は自民党支持層の52%（5.9万票）しか獲得できず、無党派層からも64%（3.8万票）を得た本村に対してわずか28%（2.1万票）しか獲得できなかったことにある。

なお、引退を決意していた藤井民主党最高顧問は、公示直前になって鳩山代表の強い要請もあり、比例代表単独で小選挙区との重複

立候補者の次に35位で名簿登載されることになった。選挙結果は、比例区でも民主党が大量得票を得て議席を伸ばし、小選挙区でも比例復活を含めて立候補者が全員当選したことから藤井も当選することとなった。

図表Ⅱ-10 第14区 前回比較・各党支持層からの得票推計



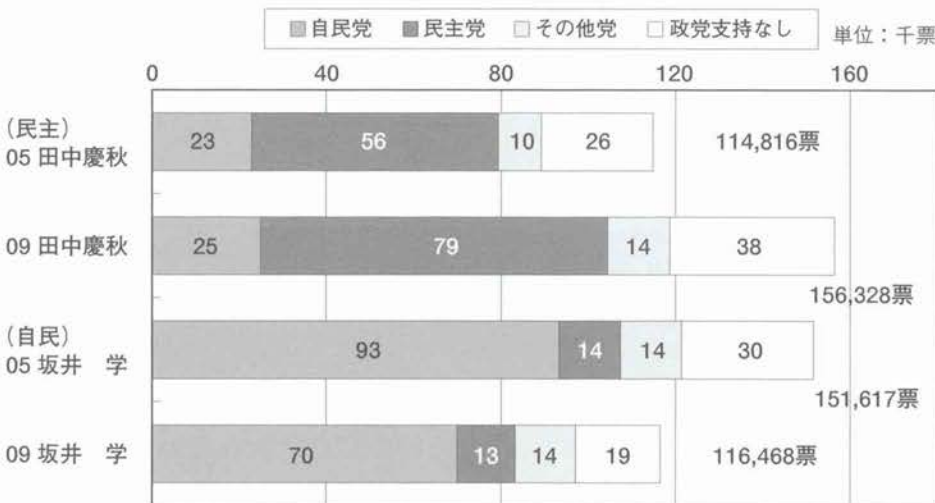
(2) 民主の元職、いずれも圧勝で振り返り

① 5区（横浜市戸塚区・泉区・瀬谷区）

民主党の田中慶秋は、県連代表も務めたベテランだが、前回選挙で自民の新人坂井学に

まさかの敗退を喫し連続当選が5期でとぎれており、雪辱を果たすべく立候補し、同じ顔ぶれでの選挙となった。松下政経塾出身の坂井は、前回小泉旋風に乗って初当選したが、活動面での不足が伝わってきていた。結果的に

図表Ⅱ-11 第5区 前回比較・各党支持層からの得票推計



には、田中が15万6千票を獲得し、坂井に4万票の大差をつけて前回の雪辱を果たした。

民主党の勝因は、民主党支持率が前回より10ポイント上がって県内最高の23%となったことと、自民党支持層の約3割（2.5万票）、無党派層

から7割近く(3.8万票)の得票を獲得したと推計されることである(図表Ⅱ-11)。自民の坂井は、3割の支持率に下がった自民党支持層の7割弱(7万票)しかまとめきれず、無党派層からの得票も4分の1(1.9万票)にと

どまり敗北となった。

また、この選挙区では、05年の選挙で公明党支持者の86%が自民党に投票していたが、今回は65%と大きく下がっていたことも目についた(図表Ⅱ-4参照)。

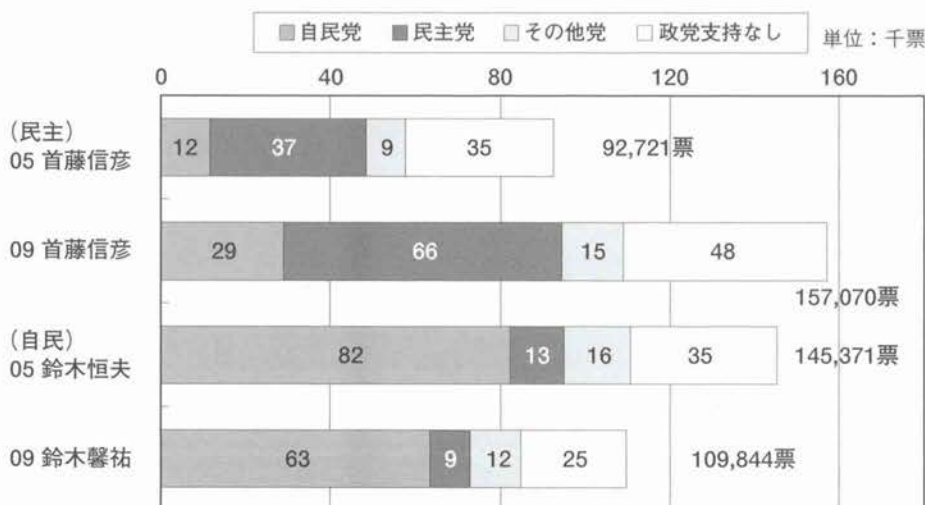
② 7区(横浜市港北区・都筑区)

自民党は、前職の元文部科学相の鈴木恒夫が引退し、鈴木秘書を務めた鈴木馨祐が後継者となり、新自由クラブ以来の実績を持つ鈴木恒夫の地盤を引き継いだ。民主党の首藤信彦は、大学教授から政界入りし旧民主党の結党時代からのメンバーであるが、前回の郵政選挙で

落選し、4年間を地元で活動を続けてきた。結果的には、首藤が15万7千票を獲得し鈴木に4万8千票の大差をつけ圧勝となった。

民主党の勝因は、民主党の支持率が10ポイント上がって29%となりその85%(6.6万票)を首藤が固めきったこと、自民支持層から34%(2.9万票)も首藤に流れてきていること、

図表Ⅱ-12 第7区 前回比較・各党支持層からの得票推計



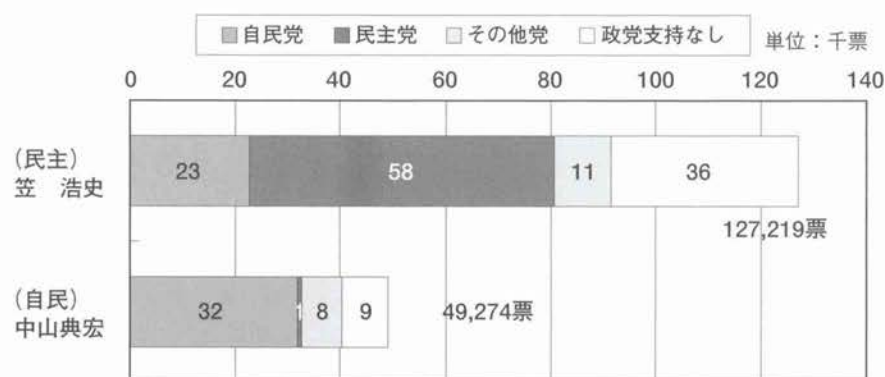
さらに無党派層の3分の2(4.8万人)が首藤に投票したことなどが推計されたことである(図表Ⅱ-12)。鈴木は、地盤の自民支持層を固め切れず、無党派層からの支持も得られず敗北となった。

③ 9区(川崎市多摩区・麻生区)

民主党は、前回小選挙区で敗れたものの比

例代表で復活当選した笠浩史県連代表を擁立、前回の小選挙区での雪辱を目指した。自民党

図表Ⅱ-13 第9区 前回比較・各党支持層からの得票推計



は、前回新人で初当選した山内康一が解散直後に離党したため、新たに公募で代議士秘書の中山典宏を公示直前に擁立することを決めた。選挙戦に入ってから民主党の県連代表として知名度の高まっ

た笠のリードは終止変わらず、結果は笠が12万7千票を獲得し、出遅れた中山は及ばず大敗した。

民主党の勝利は、民主党支持率が33%に上

昇し自民党の27%を大きく上回ったことと、実に自民党支持層の46%（2.3万票）が笠に流れていたことである（図表Ⅱ-13）。候補者選に遅れた自民党の完敗である。

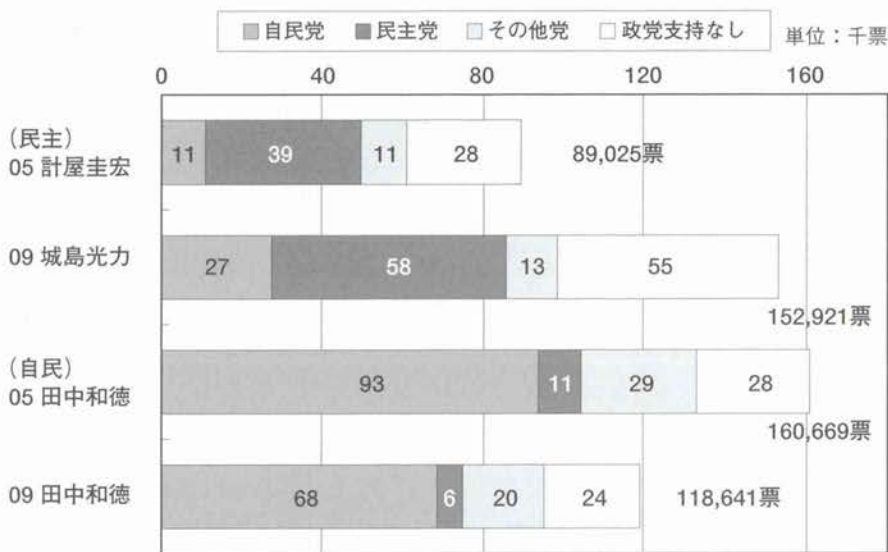
④ 10区（川崎市川崎区・幸区・中原区）

自民党は、4期連続当選を果たしている田中和徳の5選を目指した。田中は市議・県議から25年続いた政治家の経歴を持ち、財務金融委員長などを歴任している中堅である。民主党は、計屋圭宏が引退した後継として、衆議院議員を3期つとめた城島光力を擁立した。城島は前回落選した東京13区から選挙区を移し、地元の味の素労組元委員長の経歴を生かしてその返り咲きをねらった。選挙戦は激し

い競り合いとなったが、結果としては民主の城島が15万2千票を獲得、田中に3万4千票の差で勝利した。敗れた田中は比例代表で復活当選した。

民主党の勝因は、民主党の支持率が5ポイント上がり23%となりその87%（5.8万票）を城島が固めきったこと、10ポイント下がって29%となった自民党支持率のうち32%（2.7万票）が城島に流れており、無党派層の6割（5.5万人）が城島に投票していると推計されることである（図表Ⅱ-14）。自民党の田中は、自民党支持率の低下に加え、その3割以上が城島に流れ、無党派層からは前回互角に得ていた得票が2割（2.4万票）しか得られなかったことが敗因であったといえよう。

図表Ⅱ-14 第10区 前回比較・各党支持層からの得票推計



⑤ 12区（藤沢市・寒川町）

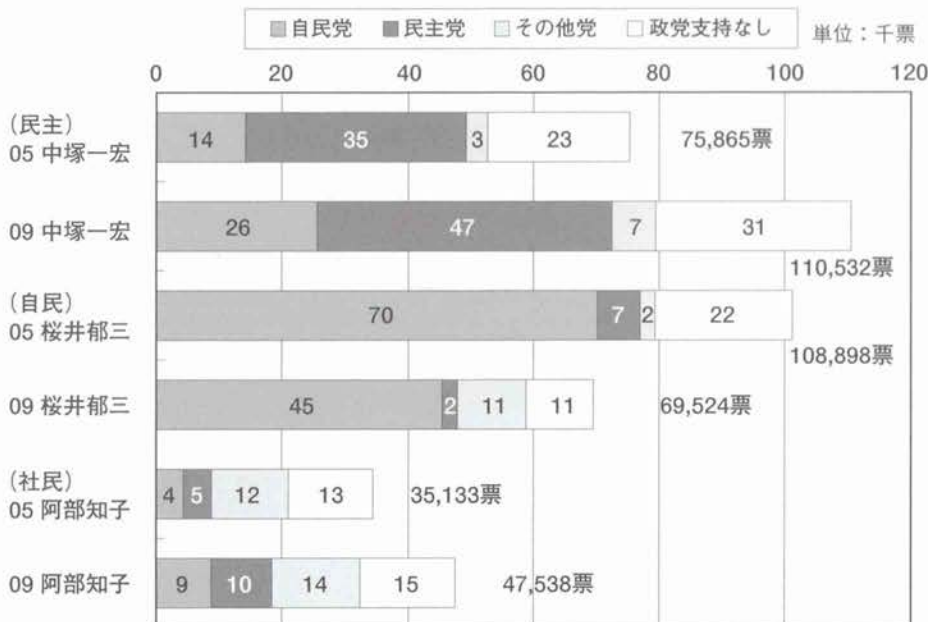
民主党は前回の選挙で敗れた中塚一宏、自民党は中塚に勝利した桜井郁三を立て、この両者は1勝1敗で今回が3度目の対決であった。社民党も前回比例代表で復活当選した阿部知子を県内では唯一の小選挙区候補として立てた。この3者は03年から3回とも同じ顔ぶれによる選挙となっており、03年には中塚が小選挙区で当選、他の2人が比例代表で当選し

1選挙区で3人の代議士を誕生させるなど、因縁の選挙区であった。今回は結果的には、民主の中塚が11万票を獲得、桜井には4万1千票の大差をつけ勝利し、阿部は前回より1万2千票得票を伸ばして南関東ブロックで唯一の社民党比例代表の議席を獲得した。

民主党の勝因は、民主党支持率が6ポイント上昇し25%となりその約8割（4.7万票）を中塚が固めたことと、自民党支持層から33%

(2.6万票) が流れたこと、さらに無党派層の半数 (3.1万票) が中塚に投票したと推計されることである (図表 II-15)。自民は支持率が32%に下がり、桜井はそのうち53% (4.5万票) しか固められず、無党派層は民主と社民に流れてわずかしが獲得できなかったことが敗因である。社民党の阿部は、各党の支持層からまんべんなく票を集めて得票を伸ばし比例代表での復活に結びつけていた。

図表 II-15 第12区 前回比較・各党支持層からの得票推計



ることである (図表 II-15)。自民は支持率が32%に下がり、桜井はそのうち53% (4.5万票) しか固められず、無党派層は民主と社民に流れてわずかしが獲得できなかったことが敗因である。社民党の阿部は、各党の支持層からまんべんなく票を集めて得票を伸ばし比例代表での復活に結びつけていた。

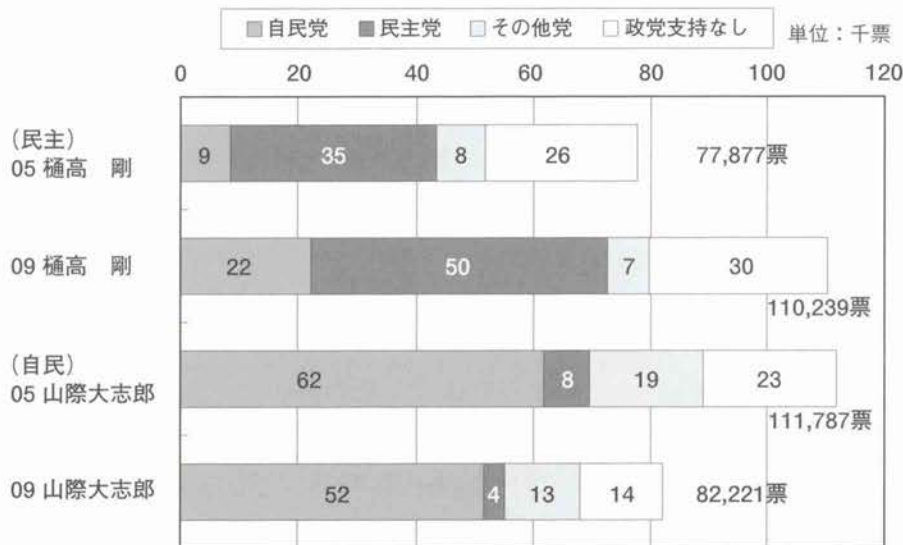
⑥ 18区 (川崎市宮前区・高津区)

2003年にこの選挙区ができて以来、自民党は山際大志郎、民主党は樋高剛、そして共産党は宗田裕之の同じ顔ぶれで3回の選挙が戦われてきていた。03年には樋高が勝ち、山際は比例で復活当選した。前回は山際が勝ち、樋高は比例での復活当選もできなかった。その

の意味でも宿敵の対決となったが、選挙結果は民主樋高が11万票を獲得し山際に2万8千票の差をつけて雪辱を果たした。

民主党の勝因は、民主党支持率が6ポイント上がって26%となり、そのうちほぼ9割 (5万票) を樋高が固めきり、自民党支持層から約3割 (2.2万票) が樋高に流れていたこと

図表 II-16 第18区 前回比較・各党支持層からの得票推計



であり、無党派層からも前回より多い56% (3万票) を獲得できたと推計されることである (図表 II-16)。自民の山際は、自民支持層から62% (5.2万票) しか獲得できず、無党派層からも民主の半数しか得票を得られなかったことが敗因である。

(3) 混戦の選挙区、民主・みんなの党が議席

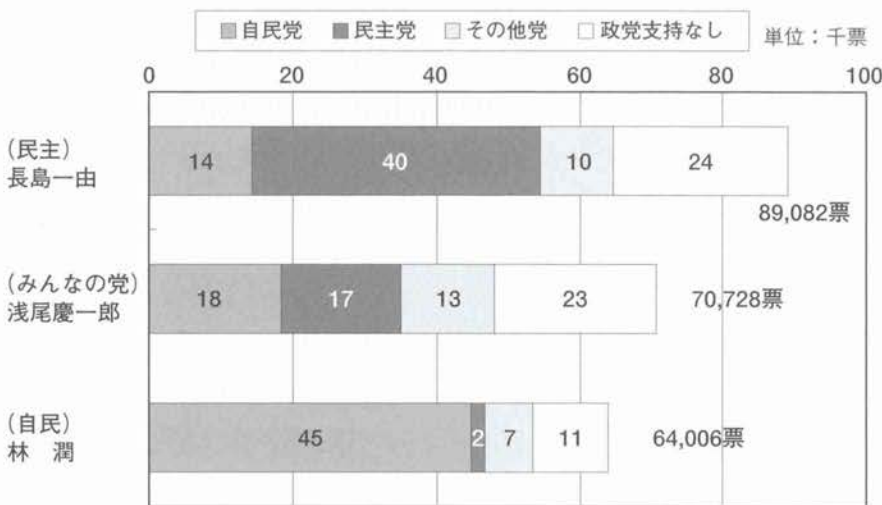
① 4区（横浜市栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町）

民主党は、前逗子市長の長島一由の公認を昨年12月に決めていたが、参議院議員の浅尾慶一郎が解散後に民主党を離党してみんなの党から立候補することになり、民主が分裂した選挙となった。自民党は、今回は民主の大石尚子に勝利して初当選した林潤をたてて再選を目指したことから、混戦の選挙区となった。この混戦を抜け出したのが民主の長島で、

結果的には8万9千票を獲得し2位の浅尾に約2万票差で勝利した。敗れた浅尾は比例代表で衆院初当選を果たしたが、自民の林は比例でも復活できなかった。

民主党の勝因は、民主党支持率が9ポイント上がって28%となり、約7割（4万票）を長島が固めたことと、無党派層の4割強（2.4万票）が長島に投票したと推計されることである（図表Ⅱ-17）。浅尾は、民主の約3割弱（1.7万票）を奪い、自民党支持層からも28%（1.8万票）の票を獲得したが、無党派層の獲得は38%（2.3万票）にとどまり、民主の支持

図表Ⅱ-17 第4区 前回比較・各党支持層からの得票推計



票を固めた長島に敗れた。自民の林は、自民党支持率が前回より実に15ポイント下がり31%となったことに加え、支持層の半分を長島と浅尾に奪われ、49%（4.5万票）しか獲得できなかったのが敗因である。

図表Ⅱ-18 第8区 前回比較・各党支持層からの得票推計



② 8区（横浜市緑区・青葉区）

民主党は、前回小選挙区で敗れ比例で復活当選した岩国哲人が今年1月に1区へ移ることになり、無所属の江田憲司を推すものと思われていたが、その後、岩国が引退を決め、参院から衆院を目指した浅尾慶一郎の擁立を図るなど、候補者

選考が混乱した。最終的には、公示直前になって横浜市議の山崎誠の擁立を決めたが、明らかに遅れていた。江田憲司は、公示直前に渡辺元行革相とともに作った「みんなの党」に合流して、再選を目指した。自民は、前回の江田に破れ復活当選した福田峰之が再選を目指した。結果的には、テレビ出演などで知名度の高い江田が12万8千票を獲得し、次点の民主山崎を5万4千票も離して圧勝した。民主の山崎は比例代表で復活当選したが、自民の福田は落選となった。

みんなの党の江田の勝因は、まず圧倒的な

知名度を生かして民主党支持層の半分以上(3.4万票)を獲得し、自民党支持層の44%(3.7万票)を得て、無党派層からも約6割(3.9万票)の得票を得たものと推計されることが圧勝の要因である(図表Ⅱ-18)。民主党の山崎は出足の遅れにより民主党支持層の45%(3.4万票)しか固められず、無党派層からの得票も3割弱(2.1万票)しか獲得できなかった。自民党の福田は、逆風の中で自民党支持層の4割弱(3.6万票)しか固められず、無党派からの支持も少なく敗北した。

(4) 宿命の対決、公明議席を失う

① 6区(横浜市保土ヶ谷区・旭区)

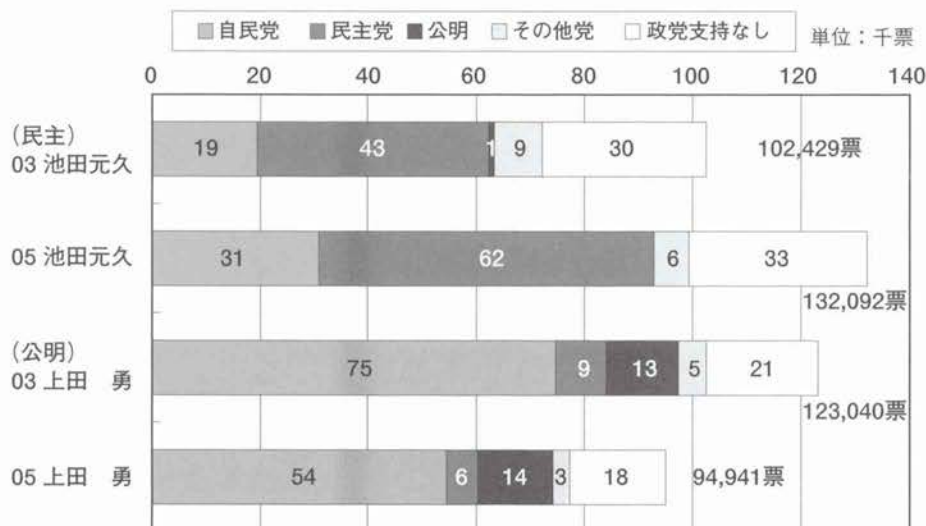
2000年の総選挙で自公連立政権の統一候補として擁立された公明党の上田勇と、民主党の池田元久とは今回を含めて4度目の対決となった。2000年には池田が勝ち、上田は比例代表で復活当選した。2003年には上田が勝利して民主の池田が比例で復活当選となった。前回は上田が連勝して池田は議席を失ったが、半年後に南関東ブロックから辞職した議員が

出たため池田が繰り上げ当選となっていた。公明の2勝1敗で、ともに議席を持ち続けている自公協力対民主の因縁をもった対決となった。結果は、民主党池田が13万票あまりを獲得、上田に3万7千票の大差で勝利し、小選挙区単独で比例名簿に登載していなかった上田は落選となった。

民主党が、過去4回のうち最大の差で勝利した要因は、民主党支持率が9ポイント上がって30%となったことと、そのうち9割(6.2万票)を池田が固めたと推計されることである。

自民党の支持率は7ポイント下がって34%となったがそのうち4割(3.1万人)が池田に投票したこと、さらに無党派層の7割(3.3万票)が池田に集中したことである(図表Ⅱ-19)。上田の敗因は、自民党支持層の57%(5.4万票)しか固められず池田に流れ、無党派層からは15%

図表Ⅱ-19 第6区 前回比較・各党支持層からの得票推計



(1.8万票) の得票しか得られなかったことによるものである。自公の連立の絆が緩んだ象

徴的な現象であった。

(5) 新人同士と世襲の争い、自民2勝1敗

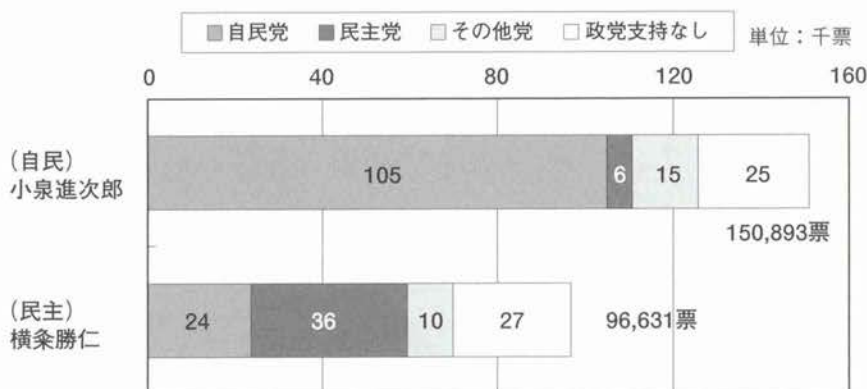
① 11区 (横須賀市・三浦市)

小泉純一郎元首相が2008年9月に引退を表明したことを受け、次男小泉進次郎が後継に指名された。小泉後援会を引き継ぎ28歳の4代目世襲議員というサラブレッドにマスコミの注目が集まった。民主党は、前回参議院から転出した斉藤勲が大きく負け越したこともあり候補者選考が難航したが、昨年秋には公

募により弁護士で小泉と同年代の横糸勝仁の擁立を決め準備を進めてきた。

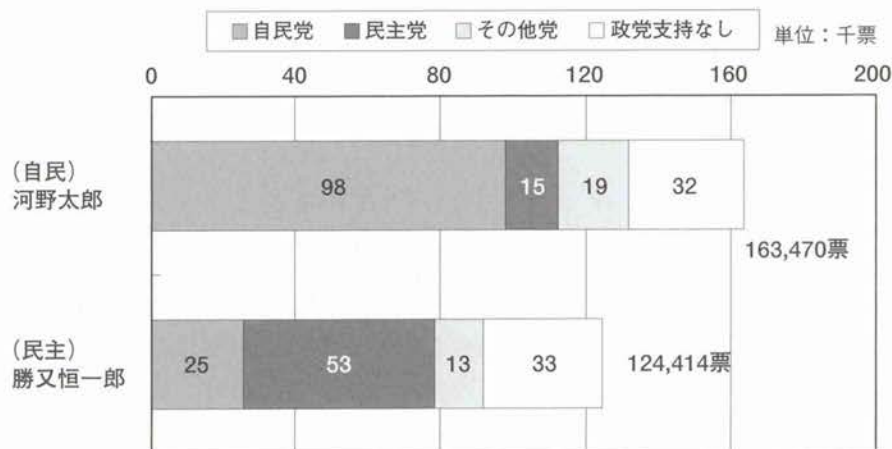
結果的には、父親譲りの固い後援会組織と圧倒的に高い自民党支持率46%という保守基盤に支えられ、小泉が15万票を獲得し圧勝した。民主の横糸は、選挙区を自転車で回るなど知名度アップに努め、民主党支持層をほぼ固めきったが、無党派層からの伸びがなく破れたものの、比例代表で復活し初議席を獲得した (図表Ⅱ-20)。

図表Ⅱ-20 第11区 前回比較・各党支持層からの得票推計



なお、前回敗れた斉藤勲は2007年の参院比例代表に立候補するも敗れて浪人していたが、県連推薦枠で比例代表名簿に単独38位で掲載され、民主党躍進の波によって衆議院では初の議席を獲得することができた。

図表Ⅱ-21 第15区 前回比較・各党支持層からの得票推計



② 15区 (平塚市・茅ヶ崎市・中郡)

自民党の河野太郎は、河野一族の3代目で父の衆議院議長河野洋平の地盤を半分引き継いで4期連続当選を果たし、県連会長も務めた。民主党は、3回目の挑戦で前々回以来同じ顔ぶれとなる元県議

の勝又恒一郎を擁立した。河野は、知名度も高く河野党といわれる固い基盤の上に、党内改革派としての活躍もあり有利に戦いを進めていた。しかし、終盤になり、民主への追い風の中で勝又が激しく追い上げ接戦となったといわれていた。

結果的には、河野が16万票を獲得し勝又に4万票近い大差で圧勝した。勝因は、高い自

民党支持率と自民離れを2割(2.5万票)にとどめ、無党派層からも勝又とほぼ同数の支持(3.2万票)を得たと推計されることが勝因である(図表Ⅱ-21)。勝又は、民主党支持層の8割(5.3万票)を固めきり、無党派層からも53%(3.3万票)を獲得し、自己最多の得票を得て比例で復活当選し、念願の初議席を得ることができた。

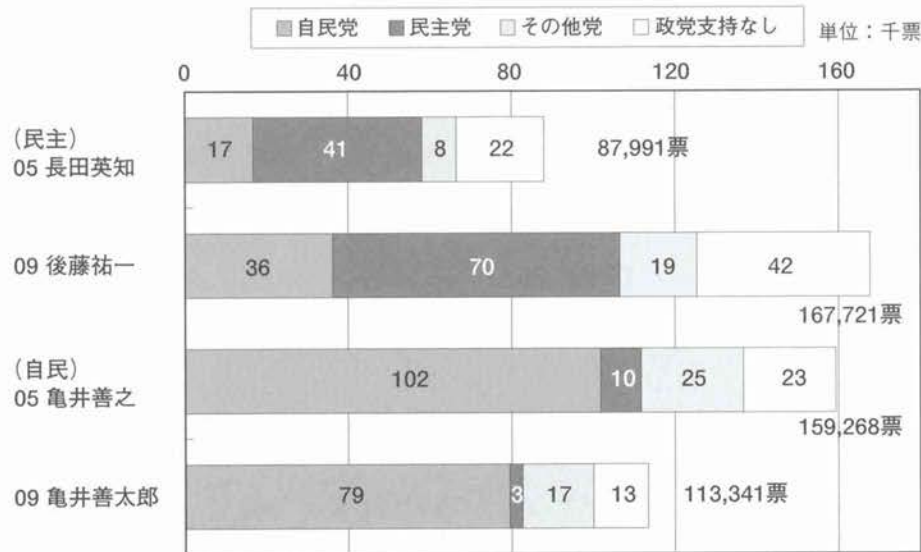
③ 16区(相模原市の一部・厚木市・伊勢原市・愛甲郡)

自民党の前職亀井善太郎と民主党の新人後藤祐一は、2006年10月に亀井の父善行の死去に伴う補欠選挙をともに戦った相手であり、前回は2万9千票差で亀井が勝利している。後藤は経済産業省課長補佐出身で、今回はそ

の2度目の挑戦であり2年半の地域活動を継続していた結果16万7千票を獲得し、5万4千票の大差をつけて亀井に雪辱を果たした。

民主党が大勝した要因は、民主党支持率が前回より9ポイント上がり28%となったことと、自民党支持層から36%(3.6万票)の得票を得ており、無党派層からも64%(4.2万票)

図表Ⅱ-22 第16区 前回比較・各党支持層からの得票推計



と大量得票を得たと推計されることにある(図表Ⅱ-22)。自民党の亀井は、自民の支持率が38%と9ポイント下がり、その支持層の支持が6割(7.9万票)にとどまったことから、父親から譲られた議席を守ることができなかった。

④ 17区(小田原市・秦野市・南足柄市・足柄上・下郡)

自民党は、今期で引退をすることになった河野洋平衆議院議長の後継として、横須賀選出の牧島功県議の長女牧島かれんを早くから決めていた。民主党も、前回までの阪口直人が他県へ転出したこともあり、公募で選ばれ

た松下政経塾出身の神山洋介を2年前に決めていた。今年に入って、自民党の牧島に対抗して安倍元首相の秘書官であった井上義行も立候補を表明、自民党の分裂状況も見られた。しかし、堅いといわれた河野党基盤を切り崩した神山が13万9千票を獲得し初の当選を決めた。

民主神山の勝因を出口調査の結果から見ると、民主党の支持率が前回より10ポイント上

がって26%となりその9割近く（5.9万票）を固めたことと、全体の3分の1を超す自民党支持層から29%（3.1万票）もの得票を得たこと、さらに無党派層から3分の2（3.6万票）の支援を得たと推計されることである（図表Ⅱ-23）。自民牧島は、自民党支持率が11ポイント下がり、その支持層を半分（7万票）しか固めきれなかったことが敗因である。

図表Ⅱ-23 第17区 前回比較・各党支持層からの得票推計



以上、神奈川県内の全選挙区について、出口調査の結果をもとにして選挙結果を分析してみた。神奈川でも民主党が大勝を得たことについては、I章で述べたように、長い自民党一党支配の軛から離れることを有権者が選択したことによるものである。

神奈川における政治風土は進取の気風があるといわれ、大きな政治動向のさきがけとなる傾向がこれまでも見られた。かつて1976年の新自由クラブも神奈川が発祥の地であり、1989年の社会党が躍進したマドンナブームでもその一翼を担い、1993年の新党ブームでも日本新党が躍進している。そして前回の郵政選挙での自民党の圧勝もその例にもれなかつ

た。民主党への風が吹いたと呼ばれているが、民主党の政党としての歴史は1996年に結党してまだ13年に過ぎず、きわめて脆弱な地域基盤の上に乗っているに過ぎない。県会議員でこそ自民党に次いで第2党であるが、大都市を除くと市では1～3名の議員しかおらず、町村ではゼロが多い。つまり、国会議員をトップにしていわゆる逆ピラミッド型になっており、国会議員中心の党組織となっている。新人が11名と半数を超える神奈川民主党が、これからどのように地域の基盤を作り上げ、政策を実現する上での基礎をいかに作り上げるかが大きな課題である。

資料編

〈目 次〉

【全 国】

- I-1 過去5回の衆院選の結果、全国の議席・得票数の比較 34
- 2 党派別・ブロック別獲得議席数、前回・前々回との比較 35
- 3 党派別・ブロック別獲得議席数・得票数、前回・前々回との比較 36
- 4 小選挙区・比例代表 都道府県別議席数・得票数 38

【神奈川県内】

- II-1 第45回衆議院小選挙区選出議員選挙 40
- 2 神奈川県内小選挙区選挙の結果 42
- 3 比例区選挙結果 44
- 4 第43～45回衆議院総選挙 小選挙区・比例区選挙結果比較 46

【年 表】

- III 戦後の国政選挙と内閣、選挙制度改革 50

資料 I-1 過去5回の衆院選の結果、全国の議席・得票数の比較

投票率はいずれも小選挙区のもの

政党名	選挙区分	1996年10月20日(得票率57.87%)				2000年6月25日(投票率62.49%)				2003年11月9日(投票率59.86%)				2005年9月11日(投票率67.51%)				2009年8月30日(投票率69.28%)				
		議席数	議席占有率	得票数	得票率	議席数	議席占有率	得票数	得票率	議席数	議席占有率	得票数	得票率	議席数	議席占有率	得票数	得票率	議席数	議席占有率	得票数	得票率	
自民党	小選挙区	169	56.3%	21,836,096	38.6%	177	59.0%	24,945,806	41.0%	168	56.0%	26,089,326	43.8%	219	73.0%	32,518,389	47.8%	64	21.3%	27,301,982	38.7%	
	比例区	70	35.0%	18,205,955	32.8%	56	31.1%	16,943,425	28.3%	69	38.3%	20,660,185	35.0%	77	42.8%	25,887,798	38.2%	55	30.6%	18,810,217	26.7%	
	合計	239	47.8%			233	48.5%			237	49.4%			296	61.7%			119	24.8%			
民主党	小選挙区	17	5.7%	6,001,666	10.6%	80	26.7%	16,811,732	27.6%	105	35.0%	21,814,153	36.7%	52	17.3%	24,804,786	36.4%	221	73.7%	33,475,334	47.4%	
	比例区	35	17.5%	8,949,190	16.1%	47	26.1%	15,067,990	25.2%	72	40.0%	22,095,636	37.4%	61	33.9%	21,036,425	31.0%	87	48.3%	29,844,799	42.4%	
	合計	52	10.4%			127	26.5%			177	36.9%			113	23.5%			308	64.2%			
96新進党 00自由党	小選挙区	96	32.0%	15,812,325	28.0%	4	1.3%	2,053,736	3.4%				0.0%				0.0%				0.0%	
	比例区	60	30.0%	15,580,053	28.0%	18	10.0%	6,589,736	11.0%				0.0%				0.0%				0.0%	
	合計	156	31.2%			22	4.6%															0.0%
公明党	小選挙区					7	2.3%	1,231,753	2.0%	9	3.0%	886,507	1.5%	8	2.7%	981,105	1.4%	0	0.0%	782,984	1.1%	
	比例区					24	13.3%	7,762,032	13.0%	25	13.9%	8,733,444	14.8%	23	12.8%	8,987,620	13.3%	21	11.7%	8,054,007	11.4%	
	合計					31	6.5%			34	7.1%			31	6.5%			21	4.4%			
共産党	小選挙区	2	0.7%	7,096,765	12.6%	0	0.0%	7,352,843	12.1%	0	0.0%	4,837,951	8.1%	0	0.0%	4,937,375	7.3%	0	0.0%	2,978,354	4.2%	
	比例区	24	12.0%	7,268,743	13.1%	20	11.1%	6,719,016	11.2%	9	5.0%	4,586,172	7.8%	9	5.0%	4,949,487	7.3%	9	5.0%	4,943,886	7.0%	
	合計	26	5.2%			20	4.2%			9	1.9%			9	1.9%			9	1.9%			
社民党	小選挙区	4	1.3%	1,240,649	2.2%	4	1.3%	2,315,234	3.8%	1	0.3%	1,708,671	2.9%	1	0.3%	996,007	1.5%	3	1.0%	1,376,739	2.0%	
	比例区	11	5.5%	3,547,240	6.4%	15	8.3%	5,603,680	9.4%	5	2.8%	3,027,390	5.1%	6	3.3%	3,719,522	5.5%	4	2.2%	3,006,160	4.3%	
	合計	15	3.0%			19	4.0%			6	1.3%			7	1.5%			7	1.5%			
無所属他	小選挙区	12	4.0%	4,540,920	8.0%	28	9.3%	6,171,364	10.1%	17	5.7%	4,165,761	7.0%	20	6.7%	3,439,627	5.1%	12	4.0%	4,666,285	6.6%	
	比例区	0	0.0%	2,018,014	3.6%	0	0.0%	1,158,968	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.2%	3,260,517	4.8%	4	2.2%	5,711,186	8.1%	
	合計	12	2.4%			28	5.8%			17	3.5%			24	5.0%			16	3.3%			
合計	小選挙区	300	100.0%	56,528,421	100.0%	300	100.0%	60,882,459	100.0%	300	100.0%	59,502,369	100.0%	300	100.0%	68,066,291	100.0%	300	100.0%	70,581,678	100.0%	
	比例区	200	100.0%	55,569,195	100.0%	180	100.0%	59,844,601	100.0%	180	100.0%	59,102,827	100.0%	180	100.0%	67,811,069	100.0%	180	100.0%	70,370,255	100.0%	
	合計	500	100.0%			480	100.0%			480	100.0%			480	100.0%			480	100.0%			
無所属・その他 の内訳	国民新党	小選挙区	2	0.7%	432,679	0.6%	3	1.0%	730,570	1.0%												
		比例区	2	1.1%	1,183,073	1.7%	0	0.0%	1,219,767	1.7%												
	新党日本	小選挙区		0.0%	137,172	0.2%	1	0.3%	200,223	0.3%												
		比例区	1	0.6%	1,647,506	2.4%	0	0.0%	528,171	0.8%												
	みんなの党	小選挙区					2	0.7%	615,244	0.9%												
		比例区					3	1.7%	3,005,199	4.3%												
	その他	小選挙区		0.0%	18,243	0.0%	0	0.0%	1,114,193	1.6%												
		比例区	1	0.6%	433,938	0.6%	1	0.6%	958,049	1.4%												
無所属	小選挙区	18	6.0%	3,240,521	4.8%	6	2.0%	1,986,055	2.8%													

出所：1996年、2000年は「衆議院議員総選挙調(速報)」「選挙」(都道府県選挙管理委員会連合会)

2003年以降は「衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調」(総務省自治行政局選挙部)をもとに上林作成

資料 I-2 党派別・ブロック別獲得議席数、前回・前々回との比較

区 分		自 民 党			民 主 党			公 明 党			共 産 党			社 民 党			その他・無所属			定 数 ・ 合 計		
		09年	05年	03年	09年	05年	03年	09年	05年	03年	09年	05年	03年	09年	05年	03年	09年	05年	03年	09年	05年	03年
		議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席	議席
北海道	小選挙区	1	4	5	11	8	7				0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	13	
	比例区	2	3	3	4	3	4	1	1	1		0	0		0	0	1	1	8	8	8	
東北	小選挙区	5	17	14	19	7	8				0	0		0	0	1	1	3	25	25	26	
	比例区	4	6	6	7	5	5	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0		14	14	14	
北関東	小選挙区	4	27	23	25	4	9			0		0	0		0	0	3	0	32	32	31	
	比例区	6	9	8	10	7	8	2	2	3	1	1	1		1	0	1	0	20	20	20	
南関東	小選挙区	5	28	16	28	2	17		1	1		0	0		0	0	1	0	34	34	32	
	比例区	6	10	8	11	7	9	2	3	3	1	1	1	1	1	1	1	0	22	22	22	
東京	小選挙区	4	23	12	21	1	12		1	1		0	0		0	0	0	0	25	25	25	
	比例区	5	7	6	8	6	8	2	2	2	1	1	1	0	1	0	1	0	17	17	17	
北陸信越	小選挙区	6	13	13	14	5	6					0	0		0	0	0	1	20	20	20	
	比例区	4	5	5	6	4	5	1	1	1		0	0		0	0	0	1	11	11	11	
東海	小選挙区	3	21	15	29	10	15					0	0		0	0	1	2	33	33	34	
	比例区	6	9	8	12	8	9	2	3	3	1	1	1		0	0	0	0	21	21	21	
近畿	小選挙区	5	34	19	41	8	20		6	6		0	0	1	0	0	1	0	48	48	47	
	比例区	9	11	9	11	9	11	5	4	5	3	3	3	1	1	1	0	1	29	29	29	
中国	小選挙区	10	16	17	8	2	2					0	0		0	0	2	2	20	20	21	
	比例区	4	5	5	6	3	4	1	2	2		0	0		0	0	0	1	11	11	11	
四国	小選挙区	8	11	12	5	1	1					0	0		0	0	0	1	13	13	13	
	比例区	2	3	3	3	2	2	1	1	1		0	0		0	0	0	0	6	6	6	
九州	小選挙区	13	25	22	20	4	8		0	1		0	0	2	1	1	3	1	38	38	38	
	比例区	7	9	8	9	7	7	3	3	3	1	1	1	1	1	2	0	0	21	21	21	
全国合計	小選挙区	64	219	168	221	52	105	0	8	9	0	0	0	3	1	1	12	8	300	300	300	
	比例区	55	77	69	87	61	72	21	23	25	9	9	9	4	6	5	4	4	180	180	180	
	合計	119	296	237	308	113	177	21	31	34	9	9	9	7	7	6	16	12	480	480	480	

議席数0は、候補者を立てたものの議席の獲得ができなかったもの。空欄は、候補者を立てなかったもの。
小選挙区の合計は、あん分票の小数点以下を切り捨てたため、一致しないことがある。

出所：「衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調」（自治省自治行政局選挙部）をもとに上林作成

資料 I-3 第45回衆議院総選挙 党派別・ブロック別獲得議席数・得票数、前回との比較 (2009年8月30日執行)

区 分		自 民 党				民 主 党				公 明 党				共 産 党			
		2009年		2005年		2009年		2005年		2009年		2005年		2009年		2005年	
		議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数
北海道	小選挙区	1	1,206,605	4	1,434,994	11	1,920,197	8	1,451,165					0	102,693	0	253,196
	比例区	2	805,895	3	940,705	4	1,348,318	3	1,090,727	1	354,886	1	368,552		241,345	0	241,371
東 北	小選挙区	5	2,067,101	17	2,541,457	19	2,609,500	7	2,053,856						106,398	0	257,506
	比例区	4	1,491,761	6	1,901,595	7	2,433,836	5	1,748,165	1	516,688	1	620,638	1	315,201	1	325,176
北関東	小選挙区	4	2,936,448	27	3,818,288	25	3,718,710	4	2,618,588						180,457	0	494,041
	比例区	6	1,945,933	9	2,892,780	10	3,172,577	7	2,260,717	2	855,134	2	937,345	1	471,138	1	477,958
南関東	小選挙区	5	3,195,438	28	4,259,111	28	4,270,533	2	2,953,028		94,941	1	123,040		353,620	0	584,970
	比例区	6	2,233,560	10	3,510,617	11	3,695,159	7	2,439,549	2	862,427	3	1,007,504	1	601,299	1	566,945
東 京	小選挙区	4	2,596,298	23	3,276,270	21	3,050,736	1	2,390,033		108,679	1	109,636		634,348	0	642,773
	比例区	5	1,764,696	7	2,665,417	8	2,839,081	6	1,962,225	2	717,199	2	820,126	1	665,462	1	586,017
北陸信越	小選挙区	6	1,879,692	13	2,068,086	14	2,152,441	5	1,598,685						169,802	0	284,853
	比例区	4	1,333,082	5	1,665,553	6	2,007,770	4	1,414,392	1	333,084	1	403,203		274,816	0	293,045
東 海	小選挙区	3	3,193,797	21	3,739,776	29	4,719,951	10	3,298,926						166,751	0	472,040
	比例区	6	2,182,422	9	3,066,048	12	3,864,328	8	2,766,443	2	891,158	3	987,290	1	486,974	1	502,501
近 畿	小選挙区	5	3,484,624	34	4,508,228	41	5,280,288	8	3,957,189		579,364	6	680,889		925,712	0	1,167,697
	比例区	9	2,592,451	11	4,003,209	11	4,733,415	9	3,157,556	5	1,449,170	4	1,626,678	3	1,067,443	3	1,051,949
中 国	小選挙区	10	2,049,409	16	2,077,384	8	1,767,041	2	1,362,965						71,303	0	231,747
	比例区	4	1,388,451	5	1,537,080	6	1,704,242	3	1,196,971	1	555,552	2	658,702		244,761	0	247,073
四 国	小選挙区	8	1,006,329	11	1,158,178	5	911,201	1	723,858						67,724	0	175,146
	比例区	2	719,594	3	821,746	3	973,038	2	711,927	1	293,204	1	317,575		150,171	0	175,994
九 州	小選挙区	13	3,686,240	25	3,636,616	20	3,074,732	4	2,396,493			0	67,540		199,545	0	373,405
	比例区	7	2,352,372	9	2,883,048	9	3,073,035	7	2,287,753	3	1,225,505	3	1,240,007	1	425,276	1	451,158
全国合計	小選挙区	64	27,301,982	219	32,518,388	221	33,475,330	52	24,804,786	0	782,984	8	981,105	0	2,978,353	0	4,937,374
	比例区	55	18,810,217	77	25,887,798	87	29,844,799	61	21,036,425	21	8,054,007	23	8,987,620	9	4,943,886	9	4,919,187
	合計	119		296		308		113		21		31		9		9	

出所：「衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調」（自治省自治行政局選挙部）をもとに上林作成

資料I-3 (つづき) 第45回衆議院総選挙 党派別・ブロック別獲得議席数・得票数、前回との比較 (2009年8月30日執行)

区 分		社 民 党				その他・無所属				定 数 ・ 合 計			
		2009年		2005年		2009年		2005年		2009年		2005年	
		議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数	議席	得票数
北海道	小選挙区	0	14,311			0	85,353	0	95,305	12	3,329,159	12	3,234,660
	比例区		113,562	0	152,646	1	460,797	1	433,938	8	3,324,803	8	3,227,939
東 北	小選挙区		213,034	0	189,076	1	425,711	1	264,872	25	5,421,744	25	5,306,767
	比例区	1	316,635	1	362,523	0	277,740	0	244,933	14	5,351,866	14	5,203,030
北関東	小選挙区		66,747	0	36,792	3	600,981	0	233,867	32	7,503,343	32	7,201,576
	比例区		274,030	1	323,979	1	811,437	0	294,952	20	7,530,249	20	7,187,731
南関東	小選挙区		70,624	0	43,905	1	586,236	0	282,441	34	8,571,392	34	8,246,495
	比例区	1	369,754	1	444,753	1	832,304	0	309,851	22	8,594,503	22	8,279,219
東 京	小選挙区		116,723	0	14,952	0	372,119	0	122,894	25	6,878,903	25	6,556,558
	比例区	0	299,032	1	300,782	1	641,997	0	290,027	17	6,927,467	17	6,624,594
北陸信越	小選挙区		146,340	0	132,540	0	215,924	1	302,335	20	4,564,199	20	4,386,499
	比例区		225,992	0	272,649	0	346,259	1	300,140	11	4,521,003	11	4,348,982
東 海	小選挙区		6,082	0	7,560	1	306,459	2	482,357	33	8,393,040	33	8,000,659
	比例区		264,957	0	300,574	0	664,330	0	327,768	21	8,354,169	21	7,950,624
近 畿	小選挙区	1	133,491	0	137,653	1	771,619	0	424,373	48	11,175,098	48	10,876,029
	比例区	1	411,092	1	619,883	0	907,349	1	420,908	29	11,160,920	29	10,880,183
中 国	小選挙区		5,438	0	69,088	2	428,782	2	463,399	20	4,321,973	20	4,204,583
	比例区		156,291	0	215,636	0	240,527	1	330,546	11	4,289,824	11	4,186,008
四 国	小選挙区		139,121	0	53,557	0	167,701	1	65,859	13	2,292,076	13	2,176,598
	比例区		94,558	0	119,089	0	19,507	0	0	6	2,250,072	6	2,146,331
九 州	小選挙区	2	464,828	1	310,884	3	705,398	1	1,090,929	38	8,130,743	38	7,875,867
	比例区	1	480,257	1	607,008	0	508,939	0	307,454	21	8,065,384	21	7,776,428
全国合計	小選挙区	3	1,376,739	1	996,007	12	4,666,283	8	3,828,631	300	70,581,671	300	68,066,291
	比例区	4	3,006,160	6	3,719,522	4	5,711,186	4	3,260,517	180	70,370,255	180	67,811,069
	合計	7		7		16		12		480		480	

議席数0は、候補者を立てたものの議席の獲得ができなかったもの。空欄は、候補者を立てなかったもの。
 小選挙区の合計は、あん分票の小数点以下を切り捨てたため、一致しないことがある。

出所：「衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調」(自治省自治行政局選挙部)をもとに上林作成

資料 I - 4 第45回衆議院総選挙 小選挙区・比例代表 都道府県別議席数・得票数 (2009年8月30日執行)

Table with columns for region (e.g., 北海道, 青森, 岩手), party (e.g., 自民党, 民主党), and election results (定数, 議席, 得票数, 得票率). It includes a '合計' (Total) column at the end of each regional group.

資料Ⅱ-1 第45回衆議院小選挙区選出議員選挙 (2009年8月30日執行)

選挙区名	届出番号	候補者氏名	年齢	得票数	得票率	惜敗率	当選歴	所属党派
第1区	3	当	中林 美恵子	48	135,211	48.1%		新① 民主党
	1	比	松本 純	59	117,840	41.9%	87.2%	前④ 自由民主党
	2		香西 亮子	35	18,898	6.7%	14.0%	新 日本共産党
	4		山本 誠一	37	9,229	3.3%	6.8%	新 無所属
第1区計			281,178		-			
第2区	1	当	菅 義偉	60	132,270	46.5%		前⑤ 自由民主党
	2	比	三村 和也	33	131,722	46.3%	99.6%	新① 民主党
	3		高山 修	53	20,366	7.2%	15.4%	新 日本共産党
第2区計			284,358		-			
第3区	6	当	岡本 英子	44	125,856	48.5%		新① 民主党
	3		小此木 八郎	44	89,588	34.5%	71.2%	前 自由民主党
	2		加藤 正法	40	20,407	7.9%	16.2%	新 みんなの党
	5		古谷 靖彦	37	19,419	7.5%	15.4%	新 日本共産党
	1		山下 浩一郎	57	2,279	0.9%	1.8%	新 無所属
	4		徳島 正浩	44	2,206	0.8%	1.8%	新 幸福実現党
第3区計			259,755		-			
第4区	1	当	長島 一由	42	89,082	38.0%		新① 民主党
	2	比	浅尾 慶一郎	45	70,728	30.1%	79.4%	新① みんなの党
	5		林 潤	36	64,006	27.3%	71.9%	前 自由民主党
	3		伊藤 航平	27	7,270	3.1%	8.2%	新 無所属
	4		小原 真理	49	3,505	1.5%	3.9%	新 幸福実現党
第4区計			234,591		-			
第5区	4	当	田中 慶秋	71	156,328	50.9%		元⑥ 民主党
	2		坂井 学	43	116,468	37.9%	74.5%	前 自由民主党
	1		岩崎 広	62	29,657	9.7%	19.0%	新 日本共産党
	3		門守 隆	40	4,448	1.4%	2.8%	新 幸福実現党
第5区計			306,901		-			
第6区	1	当	池田 元久	68	132,192	51.8%		前⑥ 民主党
	2		上田 勇	51	94,941	37.2%	71.8%	前 公明党
	3		藤井 美登里	53	22,464	8.8%	17.0%	新 日本共産党
	4		寺島 博也	47	5,790	2.3%	4.4%	新 幸福実現党
第6区計			255,387		-			
第7区	3	当	首藤 信彦	64	157,070	57.2%		元③ 民主党
	1		鈴木 馨祐	32	109,844	40.0%	69.9%	新 自由民主党
	2		石井 諭	49	7,731	2.8%	4.9%	新 幸福実現党
第7区計			274,645		-			
第8区	4	当	江田 憲司	53	128,753	49.1%		前③ みんなの党
	2	比	山崎 誠	46	74,544	28.4%	57.9%	新① 民主党
	1		福田 峰之	45	54,480	20.8%	42.3%	前 自由民主党
	3		小島 祐行	39	4,246	1.6%	3.3%	新 幸福実現党
第8区計			262,023		-			
第9区	2	当	筈 浩史	44	127,219	63.5%		前③ 民主党
	5		中山 典宏	40	49,274	24.6%	38.7%	新 自由民主党
	3		利根川 武矩	65	16,239	8.1%	12.8%	新 日本共産党
	4		須藤 教成	29	4,423	2.2%	3.5%	新 無所属
	1		小口 裕嗣	32	3,055	1.5%	2.4%	新 幸福実現党
第9区計			200,210		-			

資料Ⅱ-1 (つづき) 第45回衆議院小選挙区選出議員選挙 (2009年8月30日執行)

第10区	3	当	城島 光力	62	152,921	49.3%		元④	民主党
	1	比	田中 和徳	60	118,641	38.2%	77.6%	前⑤	自由民主党
	2		笠木 隆	62	33,134	10.7%	21.7%	新	日本共産党
	4		島崎 隆一	54	5,746	1.9%	3.8%	新	幸福実現党
第10区計					310,442				
第11区	3	当	小泉 進次郎	28	150,893	57.1%		新①	自由民主党
	4	比	横糸 勝仁	27	96,631	36.6%	64.0%	新①	民主党
	2		伊東 正子	68	12,601	4.8%	8.4%	新	日本共産党
	1		鶴川 晃久	35	2,375	0.9%	1.6%	新	幸福実現党
	5		岩田 吉喜	50	1,830	0.7%	1.2%	新	無所属
第11区計					264,330				
第12区	3	当	中塚 一宏	44	110,532	45.9%		元③	民主党
	1		桜井 郁三	65	69,524	28.9%	62.9%	前	自由民主党
	5	比	阿部 知子	61	47,538	19.7%	43.0%	前④	社会民主党
	4		渡辺 慈子	61	11,240	4.7%	10.2%	新	日本共産党
	2		山田 茂	45	2,056	0.9%	1.9%	新	幸福実現党
第12区計					240,890				
第13区	1	当	橘 秀徳	40	138,104	46.1%		新①	民主党
	3	比	甘利 明	60	136,164	45.5%	98.6%	前⑨	自由民主党
	2		近藤 知昭	60	18,721	6.2%	13.6%	新	日本共産党
	4		鈴木 千尋	38	6,588	2.2%	4.8%	新	幸福実現党
第13区計					299,577				
第14区	1	当	本村 賢太郎	39	157,644	55.4%		新①	民主党
	2		赤間 二郎	41	104,631	36.8%	66.4%	前	自由民主党
	3		赤間 友子	61	17,845	6.3%	11.3%	新	日本共産党
	4		石川 雅士	32	2,713	1.0%	1.7%	新	幸福実現党
	5		吉田 隆則	57	1,737	0.6%	1.1%	新	無所属
第14区計					284,570				
第15区	3	当	河野 太郎	40	163,470	53.2%		前⑤	自由民主党
	1	比	勝又 恒一郎	46	124,414	40.5%	76.1%	新①	民主党
	2		西脇 拓也	32	15,786	5.1%	9.7%	新	日本共産党
	4		浜田 勇作	35	3,341	1.1%	2.0%	新	幸福実現党
第15区計					307,011				
第16区	1	当	後藤 祐一	60	167,721	58.8%		新①	民主党
	2		亀井 善太郎	38	113,341	39.7%	67.6%	前	自由民主党
	3		住吉 正充	35	4,166	1.5%	2.5%	新	幸福実現党
第16区計					285,228				
第17区	3	当	神山 洋介	34	139,678	47.8%		新①	民主党
	1		牧島 かれん	32	105,806	36.2%	75.7%	新	自由民主党
	4		井上 義行	46	42,881	14.7%	30.7%	新	無所属
	2		中野 淳子	48	4,067	1.4%	2.9%	新	幸福実現党
第17区計					292,432				
第18区	2	当	樋高 剛	43	110,239	48.8%		元③	民主党
	5		山際 大志郎	40	82,221	36.4%	74.6%	前	自由民主党
	1		宗田 裕之	50	15,832	7.0%	14.4%	新	日本共産党
	4		藤崎 浩太郎	30	14,325	6.3%	13.0%	新	みんなの党
	3		遠山 浩子	36	3,209	1.4%	2.9%	新	幸福実現党
第18区計					225,826				

出所：「平成21年8月30日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙の結果」(神奈川県選挙管理委員会)をもとに上林加工

資料Ⅱ-2 第45回衆議院総選挙 神奈川県内小選挙区選挙の結果 (2009年8月30日執行)

選挙区名	市区町村名	当日有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	有効投票	民主党		自民党		公明党・社民党		共産党		みんなの党		諸派		無所属	
						得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
第1区	候補者名					中林美恵子		松本 純				香西亮子						山本誠一	
	横浜市 中区	112,939	71,210	63.05%	69,587	33,402	48.0%	29,825	42.9%			4,580	6.6%					1,780	
	同 磯子区	136,004	93,210	68.53%	91,784	44,566	48.6%	37,341	40.7%			6,214	6.8%					3,663	
	同 金沢区	171,322	121,979	71.20%	119,807	57,243	47.8%	50,674	42.3%			8,104	6.8%					3,786	
	1区計	420,265	286,399	68.15%	281,178	135,211	48.1%	117,840	41.9%			18,898	6.7%					9,229	
第2区	候補者名					三村和也		菅 義偉				高山 修							
	同 西区	77,815	52,009	66.84%	50,852	23,591	46.4%	23,807	46.8%			3,454	6.8%						
	同 南区	164,193	107,672	65.58%	105,562	48,063	45.5%	49,324	46.7%			8,175	7.7%						
	同 港南区	182,020	129,921	71.38%	127,944	60,068	46.9%	59,139	46.2%			8,737	6.8%						
	2区計	424,028	289,602	68.30%	284,358	131,722	46.3%	132,270	46.5%			20,366	7.2%						
第3区	候補者名					岡本英子		小此木八郎				古谷靖彦	加藤正法	徳島正浩			山下浩一郎		
	横浜市鶴見区	219,266	141,128	64.36%	138,171	65,281	47.2%	47,997	34.7%			11,143	8.1%	11,192	8.1%	1,186	0.9%	1,372	1.0%
	同 神奈川区	188,213	124,057	65.91%	121,584	60,575	49.8%	41,591	34.2%			8,276	6.8%	9,215	7.6%	1,020	0.8%	907	0.7%
	3区計	407,479	265,185	65.08%	259,755	125,856	48.5%	89,588	34.5%			19,419	7.5%	20,407	7.9%	2,206	0.8%	2,279	0.9%
第4区	候補者名					長島一由		林 潤					浅尾慶一郎	小原真里			伊藤航平		
	横浜市 栄区	104,076	75,512	72.55%	74,168	31,121		20,038					19,136	1,922	1,951				
	鎌倉市	149,211	106,973	71.69%	104,698	39,243		28,457					32,940	1,048	3,010				
	逗子市	50,210	36,613	72.92%	35,964	11,890		9,865					12,402	337	1,470				
	三浦郡葉山町	27,605	20,086	72.76%	19,761	6,828		5,646					6,250	198	839				
4区計	331,102	239,184	72.24%	234,591	89,082		64,006					70,728	3,505	7,270					
第5区	候補者名					田中慶秋		坂井 学				岩崎 広					門守 隆		
	横浜市戸塚区	219,993	154,192	70.09%	150,830	76,279	50.6%	56,993	37.8%			15,314	10.2%			2,244	1.5%		
	同 泉区	125,168	89,558	71.55%	87,579	44,915	51.3%	33,430	38.2%			8,088	9.2%			1,146	1.3%		
	同 瀬谷区	102,388	70,105	68.47%	68,492	35,134	51.3%	26,045	38.0%			6,255	9.1%			1,058	1.5%		
	5区計	447,549	313,855	70.13%	306,901	156,328	50.9%	116,468	37.9%			29,657	9.7%			4,448	1.4%		
第6区	候補者名					池田元久				上田 勇(公明)		藤井美登里					寺島博也		
	同 保土ヶ谷区	167,807	116,836	69.63%	113,384	57,461	50.7%			43,110	38.0%	10,038	8.9%			2,775	2.4%		
	同 旭区	206,955	146,155	70.62%	142,003	74,731	52.6%			51,831	36.5%	12,426	8.8%			3,015	2.1%		
	6区計	374,762	262,991	70.18%	255,387	132,192	51.8%			94,941	37.2%	22,464	8.8%			5,790	2.3%		
第7区	候補者名					首藤信彦		鈴木馨祐									石井 諭		
	同 港北区	264,616	178,425	67.43%	173,618	98,205	56.6%	70,507	40.6%							4,606	2.7%		
	同 都筑区	147,112	103,591	70.42%	101,027	58,865	58.3%	39,037	38.6%							3,125	3.1%		
	7区計	411,728	282,016	68.50%	274,645	157,070	57.2%	109,544	39.9%							7,731	2.8%		
第8区	候補者名					山崎 誠		福田峰之				江田憲司					小島祐行		
	同 緑区	140,255	96,804	69.02%	94,701	27,720	29.3%	21,851	23.1%			43,227	45.6%			1,903	2.0%		
	同 青葉区	236,138	169,771	71.89%	167,322	46,824	28.0%	32,629	19.5%			85,526	51.1%			2,343	1.4%		
	8区計	376,393	266,575	70.82%	262,023	74,544	28.4%	54,480	20.8%			128,753	49.1%			4,246	1.6%		
第9区	候補者名					笠 浩史		中山展宏				利根川武矩					小口裕嗣		
	川崎市多摩区	166,342	109,984	66.12%	107,294	65,568	61.1%	27,613	25.7%			9,522	8.9%			2,172	2.0%		
	同 麻生区	132,913	94,871	71.38%	92,916	61,651	66.4%	21,661	23.3%			6,717	7.2%			883	1.0%		
9区計	299,255	204,855	68.45%	200,210	127,219	63.5%	49,274	24.6%			16,239	8.1%			3,055	1.5%	4,423	2.2%	
第10区	候補者名					城島光力		田中和徳				笠木 隆					島崎隆一		
	川崎市川崎区	173,794	107,242	61.71%	105,014	46,040	43.8%	43,981	41.9%			12,647	12.0%			2,346	2.2%		
	同 幸区	125,060	84,124	67.27%	82,300	40,495	49.2%	31,704	38.5%			8,701	10.6%			1,400	1.7%		
	同 中原区	185,628	125,797	67.77%	123,128	66,386	53.9%	42,956	34.9%			11,786	9.6%			2,000	1.6%		
10区計	484,482	317,163	65.46%	310,442	152,921	49.3%	118,641	38.2%			33,134	10.7%			5,746	1.9%			
第11区	候補者名					横森勝仁		小泉進次郎				伊東正子					鶴川晃久		
	横須賀市	352,462	240,428	68.21%	236,505	87,490	37.0%	134,108	56.7%			11,050	4.7%			2,151	0.9%	1,706	0.7%
	同 三浦市	41,934	28,238	67.34%	27,825	9,141	32.9%	16,785	60.3%			1,551	5.6%			224	0.8%	124	0.4%
	11区計	394,396	268,666	68.12%	264,330	96,631	36.6%	150,893	57.1%			12,601	4.8%			2,375	0.9%	1,830	0.7%
第12区	候補者名					中塚一宏		櫻井郁三		阿部知子(社民党)		渡辺慈子					山田 茂		
	藤沢市	329,049	219,809	66.80%	216,179	98,799	45.7%	62,136	28.7%	43,688	20.2%	9,786	4.5%			1,770	0.8%		
	高座郡寒川町	38,486	25,271	65.66%	24,711	11,733	47.5%	7,388	29.9%	3,850	15.6%	1,454	5.9%			286	1.2%		
12区計	367,535	245,080	66.68%	240,890	110,532	45.9%	69,524	28.9%	47,538	19.7%	11,240	4.7%			2,056	0.9%			

資料Ⅱ-2 (つづき) 第45回衆議院総選挙 神奈川県内小選挙区選挙の結果 (2009年8月30日執行)

小選挙区	市区町村名	当日有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	有効投票	民主党		自民党		公明党・社民党		共産党		みんなの党		諸派		無所属	
						得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
第13区	候補者名					橋 秀徳		甘利 明				近藤知昭				鈴木千尋			
	大和市	181,527	120,078	66.15%	117,715	56,061	47.6%	51,934	44.1%			7,482	6.4%			2,238	1.9%		
	海老名市	102,303	72,273	70.65%	71,028	31,390	44.2%	32,892	46.3%			4,367	6.1%			2,379	3.3%		
	座間市	103,692	68,323	65.89%	67,063	32,012	47.7%	29,263	43.6%			4,607	6.9%			1,181	1.8%		
	綾瀬市	65,786	44,598	67.79%	43,771	18,641	42.6%	22,075	50.4%			2,265	5.2%			790	1.8%		
	13区計	453,308	305,272	67.34%	299,577	138,104	46.1%	136,164	45.5%			18,721	6.2%			6,588	2.2%		
第14区	候補者名					本村賢太郎		赤間二郎				赤間友子				石川雅士		吉田隆則	
	相模原市1	430,105	290,123	67.45%	284,569	157,644		104,631			17,844				2,713		2,713		1,737
	14区計	430,105	290,123	67.45%	284,569	157,644		104,631			17,844				2,713		2,713		1,737
第15区	候補者名					勝又恒一郎		河野太郎				西脇拓也				浜田勇作			
	平塚市	210,645	140,518	66.71%	138,548	53,693	38.8%	75,775	54.7%			7,573	5.5%			1,507	1.1%		
	茅ヶ崎市	190,847	132,150	69.24%	130,445	55,607	42.6%	67,094	51.4%			6,408	4.9%			1,336	1.0%		
	中郡大磯町	28,137	20,009	71.11%	19,736	7,819	39.6%	10,773	54.6%			887	4.5%			257	1.3%		
	同 二宮町	25,010	18,486	73.91%	18,282	7,295	39.9%	9,828	53.8%			918	5.0%			241	1.3%		
	15区計	454,639	311,163	68.44%	307,011	124,414	40.5%	163,470	53.2%			15,786	5.1%			3,341	1.1%		
第16区	候補者名					後藤祐一		亀井善太郎								吉住正充			
	相模原市2	77,723	51,344	66.06%	50,096	31,259	62.4%	17,937	35.8%							900	1.8%		
	相模原市3	58,898	41,253	70.04%	40,454	23,599	58.3%	16,237	40.1%							618	1.5%		
	厚木市	177,942	118,668	66.69%	116,406	69,700	59.9%	45,137	38.8%							1,569	1.3%		
	伊勢原市	79,439	55,255	69.56%	54,377	30,235	55.6%	23,388	43.0%							754	1.4%		
	愛甲郡愛川町	33,401	22,254	66.63%	21,854	12,009	55.0%	9,536	43.6%							309	1.4%		
	同 清川村	2,795	2,071	74.10%	2,041	919	45.0%	1,106	54.2%							16	0.8%		
16区計	430,198	290,845	67.61%	285,228	167,721	58.8%	113,341	39.7%							4,166	1.5%			
第17区	候補者名					神山洋介		牧島かれん								中野淳子		井上義行	
	小田原市	161,228	110,208	68.36%	108,189	49,568	45.8%	37,062	34.3%							1,258	1.2%	20,301	18.8%
	秦野市	132,563	90,352	68.16%	88,442	45,760	51.7%	31,864	36.0%							1,560	1.8%	9,258	10.5%
	南足柄市	36,057	26,454	73.37%	26,035	12,409	47.7%	9,298	35.7%							305	1.2%	4,023	15.5%
	足柄上郡中井町	8,187	5,919	72.30%	5,802	2,416	41.6%	2,442	42.1%							77	1.3%	867	14.9%
	同 大井町	14,284	10,132	70.93%	9,952	4,408	44.3%	3,659	36.8%							154	1.5%	1,731	17.4%
	同 松田町	10,157	8,057	79.32%	7,894	3,458	43.8%	3,303	41.8%							89	1.1%	1,044	13.2%
	同 山北町	10,379	8,238	79.37%	8,114	3,715	45.8%	3,364	41.5%							96	1.2%	939	11.6%
	同 開成町	12,615	9,438	74.82%	9,265	4,416	47.7%	3,395	36.6%							104	1.1%	1,350	14.6%
	足柄下郡箱根町	11,490	7,476	65.07%	7,316	2,863	39.1%	3,195	43.7%							142	1.9%	1,116	15.3%
	同 真鶴町	7,375	5,441	73.78%	5,343	2,416	45.2%	2,175	40.7%							97	1.8%	655	12.3%
	同 湯河原町	23,203	16,398	70.67%	16,080	8,249	51.3%	6,049	37.6%							185	1.2%	1,597	9.9%
17区計	427,538	298,113	69.73%	292,432	139,678	47.8%	105,806	36.2%							4,067	1.4%	42,881	14.7%	
第18区	候補者名					樋高 剛		山際大志郎				宗田裕之		藤崎浩太郎					
	川崎市高津区	171,621	113,037	65.86%	111,090	53,102	47.8%	41,328	37.2%			8,516	7.7%	6,413	5.8%				
	同 宮前区	170,598	116,707	68.41%	114,736	57,137	49.8%	40,893	35.6%			7,316	6.4%	7,912	6.9%				
	18区計	342,219	229,744	67.13%	225,826	110,239	48.8%	82,221	36.4%			15,832	7.0%	14,325	6.3%				
県計	横浜市(計)	2,966,280	2,042,520	68.86%	1,998,415	944,044	47.2%	640,528	32.1%	94,941	4.8%	110,804	5.5%	168,296	8.4%	26,343	1.3%	13,459	0.7%
	川崎市(計)	1,125,956	751,762	66.77%	736,478	390,379	53.0%	250,136	34.0%		0.0%	65,205	8.9%	14,325	1.9%	12,101	1.6%	4,423	0.6%
	指定市(計)	4,092,236	2,794,282	68.28%	2,734,893	1,334,423	48.8%	890,664	32.6%	94,941	3.5%	176,009	6.4%	182,621	6.7%	38,444	1.4%	17,882	0.7%
	一般市(計)	2,931,621	1,993,658	68.01%	1,958,310	914,141	46.7%	815,938	41.7%	43,688	2.2%	72,933	3.7%	45,342	2.3%	24,638	1.3%	41,629	2.1%
	市部(計)	7,023,857	4,787,940	68.17%	4,693,203	2,248,564	47.9%	1,706,602	36.4%	138,629	3.0%	248,942	5.3%	227,963	4.9%	63,082	1.3%	59,511	1.3%
	郡部(計)	253,124	179,276	70.83%	176,151	79,544	45.2%	71,859	40.8%	3,850	2.2%	3,259	1.9%	6,250	3.5%	2,251	1.3%	10,138	5.8%
	県(計)	7,276,981	4,967,216	68.26%	4,869,354	2,328,108	47.8%	1,778,461	36.5%	142,479	2.9%	252,201	5.2%	234,213	4.8%	65,333	1.3%	69,649	1.4%

出所:「平成21年8月30日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙の結果」(神奈川県選挙管理委員会)をもとに上林加工

資料Ⅱ-3 第45回衆議院総選挙 比例区選挙結果 (2009年8月30日執行)

政党等名区分 開票区名	当日有権者数	投票者数	投票率	有効投票		民主党		自由民主党		公明党		日本共産党		社会民主党		みんなの党		無効票	
				得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	無効票	無効率
県計	7,276,981	4,966,449	68.25%	4,883,149		2,111,949	100.0%	1,238,374	58.6%	469,628	22.2%	349,914	16.6%	219,049	10.4%	372,060	17.6%	83,300	1.68%
中区	112,939	71,150	63.00%	69,680		29,529	100.0%	18,665	63.2%	6,342	21.5%	4,730	16.0%	2,858	9.7%	5,359	18.1%	1,470	2.07%
磯子区	136,004	93,585	68.81%	91,844		39,906	100.0%	23,364	58.5%	8,743	21.9%	6,523	16.3%	4,241	10.6%	6,248	15.7%	1,741	1.86%
金沢区	171,322	121,961	71.19%	120,155		51,438	100.0%	32,458	63.1%	9,963	19.4%	8,552	16.6%	5,831	11.3%	8,591	16.7%	1,806	1.48%
1区計	420,265	286,696	68.22%	281,679		120,873	42.9%	74,487	26.4%	25,048	8.9%	19,805	7.0%	12,930	4.6%	20,198	7.2%	5,017	1.75%
西区	77,815	51,998	66.82%	50,979		21,733	42.6%	14,007	27.5%	4,646	9.1%	3,427	6.7%	2,051	4.0%	3,703	7.3%	1,019	1.96%
南区	164,193	107,640	65.56%	105,570		43,910	41.6%	28,253	26.8%	11,775	11.2%	8,118	7.7%	4,039	3.8%	6,688	6.3%	2,070	1.92%
港南区	182,020	129,900	71.37%	127,803		56,114	43.9%	34,082	26.7%	11,525	9.0%	9,094	7.1%	5,601	4.4%	8,301	6.5%	2,097	1.61%
2区計	424,028	289,538	68.28%	284,352		121,757	42.8%	76,342	26.8%	27,946	9.8%	20,639	7.3%	11,691	4.1%	18,692	6.6%	5,186	1.82%
鶴見区	219,266	141,135	64.37%	138,644		57,475	41.5%	33,095	23.9%	15,418	11.1%	12,296	8.9%	4,943	3.6%	11,742	8.5%	2,491	1.76%
神奈川区	188,213	124,036	65.90%	121,958		51,894	42.6%	30,095	24.7%	11,054	9.1%	9,649	7.9%	5,215	4.3%	10,470	8.6%	2,078	1.68%
3区計	407,479	265,171	65.08%	260,602		109,369	42.0%	63,190	24.2%	26,472	10.2%	21,945	8.4%	10,158	3.9%	22,212	8.5%	4,569	1.75%
栄区	104,076	75,502	72.55%	74,397		32,075	43.1%	17,158	23.1%	5,372	7.2%	4,599	6.2%	3,531	4.7%	10,137	13.6%	1,105	1.46%
鎌倉市	149,211	106,934	71.67%	105,520		39,905	37.8%	25,398	24.1%	6,208	5.9%	8,185	7.8%	5,606	5.3%	18,024	17.1%	1,414	1.32%
逗子市	50,210	36,605	72.90%	35,918		12,970	36.1%	9,254	25.8%	2,372	6.6%	2,404	6.7%	1,525	4.2%	6,682	18.6%	687	1.88%
三浦郡葉山町	27,605	20,085	72.76%	19,659		7,282	37.0%	5,137	26.1%	1,315	6.7%	1,229	6.3%	792	4.0%	3,452	17.6%	426	2.12%
4区計	331,102	239,126	72.22%	235,494		92,232	39.2%	56,947	24.2%	15,267	6.5%	16,417	7.0%	11,454	4.9%	38,295	16.3%	3,632	1.54%
戸塚区	219,993	154,168	70.08%	151,922		70,156	46.2%	36,518	24.0%	11,784	7.8%	11,633	7.7%	7,120	4.7%	10,744	7.1%	2,246	1.46%
泉区	125,168	89,535	71.53%	87,988		40,005	45.5%	21,010	23.9%	8,337	9.5%	6,527	7.4%	3,949	4.5%	5,969	6.8%	1,547	1.73%
瀬谷区	102,388	70,106	68.47%	68,774		30,449	44.3%	16,042	23.3%	7,984	11.6%	5,265	7.7%	3,018	4.4%	4,245	6.2%	1,332	1.90%
5区計	447,549	313,809	70.12%	308,684		140,610	45.6%	73,570	23.8%	28,105	9.1%	23,425	7.6%	14,087	4.6%	20,958	6.8%	5,125	1.66%
保土ヶ谷区	167,807	116,798	69.60%	114,366		48,487	42.4%	27,627	24.2%	13,375	11.7%	8,773	7.7%	4,984	4.4%	7,984	7.0%	2,432	2.08%
旭区	206,955	146,131	70.61%	143,201		62,028	43.3%	33,317	23.3%	16,286	11.4%	10,575	7.4%	7,038	4.9%	10,202	7.1%	2,930	2.01%
6区計	374,762	262,929	70.16%	257,567		110,515	42.9%	60,944	23.7%	29,661	11.5%	19,348	7.5%	12,022	4.7%	18,186	7.1%	5,362	2.08%
港北区	264,616	178,444	67.44%	175,413		79,356	45.2%	43,923	25.0%	12,942	7.4%	12,430	7.1%	8,171	4.7%	13,274	7.6%	3,031	1.70%
都筑区	147,112	103,583	70.41%	102,089		49,115	48.1%	24,412	23.9%	7,196	7.0%	5,578	5.5%	4,282	4.2%	8,690	8.5%	1,494	1.44%
7区計	411,728	282,027	68.50%	277,502		128,471	46.3%	68,335	24.6%	20,138	7.3%	18,008	6.5%	12,453	4.5%	21,964	7.9%	4,525	1.63%
緑区	140,255	96,806	69.02%	95,383		40,013	41.9%	20,079	21.1%	8,641	9.1%	6,032	6.3%	3,818	4.0%	14,914	15.6%	1,423	1.47%
青葉区	236,138	169,758	71.89%	167,705		75,355	44.9%	36,168	21.6%	8,344	5.0%	8,685	5.2%	6,717	4.0%	28,554	17.0%	2,053	1.21%
8区計	376,393	266,564	70.82%	263,088		115,368	43.9%	56,247	21.4%	16,985	6.5%	14,717	5.6%	10,535	4.0%	43,468	16.5%	3,476	1.30%
多摩区	166,342	109,982	66.12%	108,425		47,582	43.9%	23,939	22.1%	9,745	9.0%	10,235	9.4%	5,465	5.0%	8,282	7.6%	1,557	1.42%
麻生区	132,913	94,871	71.38%	93,809		42,935	45.8%	21,467	22.9%	5,851	6.2%	7,581	8.1%	5,708	6.1%	7,530	8.0%	1,062	1.12%
9区計	299,255	204,853	68.45%	202,234		90,517	44.8%	45,406	22.5%	15,596	7.7%	17,816	8.8%	11,173	5.5%	15,812	7.8%	2,619	1.28%
川崎区	173,794	107,226	61.70%	105,373		40,411	38.4%	25,985	24.7%	14,745	14.0%	12,001	11.4%	3,558	3.4%	6,195	5.9%	1,853	1.73%
幸区	125,060	84,129	67.27%	82,849		33,620	40.6%	19,914	24.0%	10,105	12.2%	8,258	10.0%	3,256	3.9%	5,603	6.8%	1,280	1.52%
中原区	185,628	125,992	67.77%	124,349		54,188	43.6%	30,565	24.6%	10,725	8.6%	11,080	8.9%	5,080	4.1%	9,012	7.2%	1,443	1.15%
10区計	484,482	317,147	65.46%	312,571		128,219	41.0%	76,464	24.5%	35,575	11.4%	31,339	10.0%	11,894	3.8%	20,810	6.7%	4,576	1.44%
横須賀市	352,462	240,374	68.20%	236,246		85,518	36.2%	84,781	35.9%	26,636	11.3%	13,616	5.8%	7,413	3.1%	13,295	5.6%	4,128	1.72%
三浦市	41,934	28,235	67.33%	27,494		9,048	32.9%	10,365	37.7%	3,366	12.2%	2,154	7.8%	684	2.5%	1,342	4.9%	741	2.62%
11区計	394,396	268,609	68.11%	263,740		94,566	35.9%	95,146	36.1%	30,002	11.4%	15,770	6.0%	8,097	3.1%	14,637	5.5%	4,869	1.81%
藤沢市	329,049	219,756	66.79%	216,534		92,984	42.9%	49,198	22.7%	18,681	8.6%	14,124	6.5%	22,678	10.5%	13,829	6.4%	3,222	1.47%
高座郡寒川町	38,486	25,262	65.64%	24,701		10,353	41.9%	5,502	22.3%	3,407	13.8%	1,784	7.2%	1,972	8.0%	1,258	5.1%	561	2.22%
12区計	367,535	245,018	66.67%	241,235		103,337	42.8%	54,700	22.7%	22,088	9.2%	15,908	6.6%	24,650	10.2%	15,087	6.3%	3,783	1.54%
大和市	181,527	120,065	66.14%	118,006		51,878	44.0%	28,939	24.5%	13,473	11.4%	8,216	7.0%	4,994	4.2%	7,517	6.4%	2,059	1.71%
海老名市	102,303	72,273	70.65%	71,232		31,853	44.7%	18,846	26.5%	6,453	9.1%	4,819	6.8%	3,023	4.2%	4,450	6.2%	1,041	1.44%
座間市	103,692	68,313	65.88%	66,990		30,281	45.2%	16,570	24.7%	6,931	10.3%	4,877	7.3%	2,662	4.0%	4,046	6.0%	1,323	1.94%
綾瀬市	65,786	44,589	67.78%	43,674		18,547	42.5%	11,813	27.0%	5,999	13.7%	2,493	5.7%	1,534	3.5%	2,325	5.3%	915	2.05%
13区計	453,308	305,240	67.34%	299,902		132,559	44.2%	76,168	25.4%	32,856	11.0%	20,405	6.8%	12,213	4.1%	18,338	6.1%	5,338	1.75%

資料Ⅱ-3 (つづき) 第45回衆議院総選挙 比例区選挙結果 (2009年8月30日執行)

相模原市1	430,105	290,075	67.44%	285,297	131,787	46.2%	68,849	24.1%	30,282	10.6%	19,312	6.8%	12,082	4.2%	15,895	5.6%	4,778	1.65%
14区計	430,105	290,075	67.44%	285,297	131,787	46.2%	68,849	24.1%	30,282	10.6%	19,312	6.8%	12,082	4.2%	15,895	5.6%	4,778	1.65%
平塚市	210,645	140,479	66.69%	137,563	59,891	43.5%	36,812	26.8%	16,155	11.7%	9,462	6.9%	5,264	3.8%	7,007	5.1%	2,916	2.08%
茅ヶ崎市	190,847	132,102	69.22%	130,373	59,900	45.9%	32,930	25.3%	12,462	9.6%	8,441	6.5%	6,517	5.0%	7,284	5.6%	1,729	1.31%
中 郡	53,147	38,487	72.42%	37,682	16,440	43.6%	11,045	29.3%	2,977	7.9%	2,556	6.8%	1,733	4.6%	2,090	5.5%	805	2.09%
大磯町	28,137	20,005	71.10%	19,551	8,490	43.4%	5,753	29.4%	1,585	8.1%	1,243	6.4%	955	4.9%	1,079	5.5%	454	2.27%
二宮町	25,010	18,482	73.90%	18,131	7,950	43.8%	5,292	29.2%	1,392	7.7%	1,313	7.2%	778	4.3%	1,011	5.6%	351	1.90%
15区計	454,639	311,068	68.42%	305,618	136,231	44.6%	80,787	26.4%	31,594	10.3%	20,459	6.7%	13,514	4.4%	16,381	5.4%	5,450	1.75%
相模原市2	77,723	51,344	66.06%	50,497	23,070	45.7%	11,715	23.2%	5,863	11.6%	4,000	7.9%	2,047	4.1%	2,677	5.3%	847	1.65%
相模原市3	58,898	41,253	70.04%	40,499	18,407	45.5%	10,645	26.3%	4,727	11.7%	2,527	6.2%	1,386	3.4%	1,785	4.4%	754	1.83%
厚木市	177,942	118,632	66.67%	116,320	53,647	46.1%	31,268	26.9%	11,699	10.1%	7,253	6.2%	4,025	3.5%	5,865	5.0%	2,312	1.95%
伊勢原市	79,439	55,244	69.54%	53,988	24,358	45.1%	15,468	28.7%	4,901	9.1%	3,268	6.1%	2,095	3.9%	2,743	5.1%	1,256	2.27%
愛甲郡	36,196	24,320	67.19%	23,889	10,122	42.4%	6,581	27.5%	3,706	15.5%	1,442	6.0%	575	2.4%	1,018	4.3%	431	1.77%
愛川町	33,401	22,249	66.61%	21,855	9,369	42.9%	5,845	26.7%	3,458	15.8%	1,337	6.1%	517	2.4%	942	4.3%	394	1.77%
清川村	2795	2,071	74.10%	2,034	753	37.0%	736	36.2%	248	12.2%	105	5.2%	58	2.9%	76	3.7%	37	1.79%
16区計	430,198	290,793	67.60%	285,193	129,604	45.4%	75,677	26.5%	30,896	10.8%	18,490	6.5%	10,128	3.6%	14,088	4.9%	5,600	1.93%
小田原市	161,228	110,199	68.35%	107,779	46,162	42.8%	30,292	28.1%	10,617	9.9%	7,149	6.6%	4,115	3.8%	6,664	6.2%	2,420	2.20%
秦野市	132,563	90,334	68.14%	88,220	39,164	44.4%	23,791	27.0%	8,304	9.4%	5,839	6.6%	3,754	4.3%	5,135	5.8%	2,114	2.34%
南足柄市	36,057	26,445	73.34%	25,898	11,291	43.6%	7,334	28.3%	2,574	9.9%	1,632	6.3%	1,072	4.1%	1,397	5.4%	547	2.07%
足柄上郡	55,622	41,769	75.09%	40,629	17,445	42.9%	12,640	31.1%	3,841	9.5%	2,111	5.2%	1,437	3.5%	2,204	5.4%	1,140	2.73%
中井町	8,187	5,917	72.27%	5,770	2,348	40.7%	1,896	32.9%	582	10.1%	328	5.7%	190	3.3%	325	5.6%	147	2.48%
大井町	14,284	10,132	70.93%	9,841	4,251	43.2%	2,875	29.2%	1,053	10.7%	516	5.2%	324	3.3%	571	5.8%	291	2.87%
松田町	10,157	8,046	79.22%	7,796	3,259	41.8%	2,599	33.3%	677	8.7%	422	5.4%	252	3.2%	395	5.1%	250	3.11%
山北町	10,379	8,236	79.35%	8,000	3,498	43.7%	2,662	33.3%	636	8.0%	411	5.1%	296	3.7%	378	4.7%	236	2.87%
開成町	12,615	9,438	74.82%	9,222	4,149	45.0%	2,608	28.3%	893	9.7%	434	4.7%	375	4.1%	535	5.8%	216	2.29%
足柄下郡	42,068	29,315	69.68%	28,722	11,561	40.3%	8,854	30.8%	3,301	11.5%	1,635	5.7%	858	3.0%	1,703	5.9%	593	2.02%
箱根町	11,490	7,477	65.07%	7,343	2,721	37.1%	2,393	32.6%	928	12.6%	444	6.0%	144	2.0%	465	6.3%	134	1.79%
真鶴町	7,375	5,440	73.76%	5,328	2,095	39.3%	1,597	30.0%	698	13.1%	299	5.6%	174	3.3%	304	5.7%	112	2.06%
湯河原町	23,203	16,398	70.67%	16,051	6,745	42.0%	4,864	30.3%	1,675	10.4%	892	5.6%	540	3.4%	934	5.8%	347	2.12%
17区計	427,538	298,062	69.72%	291,248	125,623	43.1%	82,911	28.5%	28,637	9.8%	18,366	6.3%	11,236	3.9%	17,103	5.9%	6,814	2.29%
高津区	171,621	113,019	65.85%	111,838	48,803	43.6%	25,623	22.9%	11,726	10.5%	9,350	8.4%	4,224	3.8%	9,166	8.2%	1,181	1.04%
宮前区	170,598	116,705	68.41%	115,305	51,508	44.7%	26,581	23.1%	10,754	9.3%	8,395	7.3%	4,508	3.9%	10,770	9.3%	1,400	1.20%
18区計	342,219	229,724	67.13%	227,143	100,311	44.2%	52,204	23.0%	22,480	9.9%	17,745	7.8%	8,732	3.8%	19,936	8.8%	2,581	1.12%
横浜市	2,966,280	2,042,236	68.85%	2,007,871	879,038	100.0%	490,273	55.8%	179,727	20.4%	142,486	16.2%	87,407	9.9%	175,815	20.0%	34,365	1.68%
川崎市	1,125,956	751,724	66.76%	741,948	319,047	100.0%	174,074	54.6%	73,651	23.1%	66,900	21.0%	31,799	10.0%	56,558	17.7%	9,776	1.30%
指定市計	4,092,236	2,793,960	68.27%	2,749,919	1,198,085	100.0%	664,347	55.5%	253,378	21.1%	209,386	17.5%	119,206	9.9%	232,373	19.4%	44,041	1.58%
相模原市	566,726	382,672	67.52%	376,293	173,264	100.0%	91,209	52.6%	40,872	23.6%	25,839	14.9%	15,515	9.0%	20,357	11.7%	6,379	1.67%
一般市計	2,931,621	1,993,251	67.99%	1,958,048	840,661	100.0%	524,268	62.4%	197,703	23.5%	129,771	15.4%	92,476	11.0%	127,962	15.2%	35,203	1.77%
市部計	7,023,857	4,787,211	68.16%	4,707,867	2,038,746	100.0%	1,188,615	58.3%	451,081	22.1%	339,157	16.6%	211,682	10.4%	360,335	17.7%	79,344	1.66%
郡部計	253,124	179,238	70.81%	175,285	73,203	100.0%	49,759	68.0%	18,547	25.3%	10,757	14.7%	7,367	10.1%	11,725	16.0%	3,953	2.21%
県 計	7,276,981	4,966,449	68.25%	4,883,152	2,111,949	100.0%	1,238,374	58.6%	469,628	22.2%	349,914	16.6%	219,049	10.4%	372,060	17.6%	83,297	1.68%

出所：「平成21年8月30日執行 衆議院比例代表選出議員選挙神奈川県選挙分会」(神奈川県選挙管理委員会)をもとに上林加工

資料Ⅱ-4 第43~45回衆議院総選挙 小選挙区・比例区選挙結果比較

	党派名区分 開票区名	当日有権 者数	投票者数	投票率	有効投票 得票数	民主党		自由民主党		公明党		日本共産党		社会民主党		みんなの党		その他の党		無所属		無効票				
						得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	無効数	無効率	
全県	03年 小選挙区県計	6,977,974	4,031,631	57.78%	3,919,856	1,526,057	38.9%	1,726,125	44.0%	82,268	2.1%	315,014	8.0%	95,327	2.4%					175,069	4.5%	111,775	2.9%			
	05年 小選挙区県計	7,079,406	4,748,564	67.08%	4,651,413	1,564,457	33.6%	2,435,656	52.4%	123,040	2.6%	361,175	7.8%	35,133	0.8%	28,498	0.6%			103,454	2.2%	97,151	2.0%			
	09年 小選挙区県計	7,276,981	4,967,216	68.26%	4,869,354	2,328,108	47.8%	1,778,461	36.5%	94,941	1.9%	252,201	5.2%	43,688	0.9%	234,213	4.8%			65,333	1.3%	69,649	1.4%			
	09年-05年	197,575	218,652	1.18%	217,941	763,651	14.2%	-657,195	-15.8%	-28,099	-0.7%	-108,974	-2.6%	8,555	0.1%	205,715	4.2%			-38,121	-0.9%	-14,624	-0.8%			
全県	03年 比例区県計	6,977,974	4,031,631	57.78%	3,945,932	1,562,418	39.6%	1,364,185	34.6%	524,268	13.3%	296,548	7.5%	198,513	5.0%								85,699	2.2%		
	05年 比例区県計	7,088,637	4,750,122	67.01%	4,684,198	1,330,222	28.4%	2,030,524	43.3%	548,757	11.7%	327,041	7.0%	275,692	5.9%	171,962	3.7%						65,924	1.4%		
	09年 比例区県計	7,276,981	4,966,449	68.25%	4,883,149	2,111,949	43.2%	1,238,374	25.4%	469,628	9.6%	349,914	7.2%	219,049	4.5%	372,060	7.6%	122,175	2.5%			0	0.0%	53,358	1.1%	
	09年-05年	188,344	216,327	1.24%	198,951	781,727	14.9%	-792,150	-18.0%	-79,129	-2.1%	22,873	0.2%	-56,643	-1.4%	200,098	3.9%					0	0.0%	-19,775	-0.8%	
1区	03年 候補者名 第1区計	405,074	240,118	59.28%	234,934	佐藤謙一郎 97,630	41.6%	松本 純 111,730	47.6%			中家 治子 15,331	6.5%	林 貞三 10,243	4.4%									5,184	2.2%	
	05年 候補者名 第1区計	413,952	282,349	68.21%	277,519	佐藤謙一郎 95,601	34.4%	松本 純 161,702	58.3%			高山 修 20,216	7.3%											4,830	1.7%	
	09年 候補者名 第1区計	420,265	286,399	68.15%	281,178	中林美恵子 135,211	48.1%	松本 純 117,840	41.9%			香西 亮子 18,898	6.7%									山本誠一 9,229	3.3%			
	09年-05年	6,313	4,050	-0.06%	3,659	39,610	13.6%	-43,862	-16.4%			-1,318	-0.6%									9,229	3.3%	-4,830	-1.7%	
1区	03年 比例区1区計	405,074	240,118	59.28%	235,458	94,248	40.0%	84,175	35.7%	28,275	12.0%	15,901	6.8%	12,859	5.5%								4,660	2.0%		
	05年 比例区1区計	414,560	282,475	68.14%	278,843	78,699	28.2%	125,367	45.0%	29,683	10.6%	18,189	6.5%	17,185	6.2%	9,720	3.5%						3,632	1.29%		
	09年 比例区1区計	420,265	286,696	68.22%	281,679	120,873	42.9%	74,487	26.4%	25,048	8.9%	19,805	7.0%	12,930	4.6%	20,198	7.2%	8,338	3.0%				4,061	1.4%		
	09年-05年	5,705	4,221	0.08%	2,836	42,174	14.7%	-50,880	-18.5%	-4,635	-1.8%	1,616	0.5%	-4,255	-1.6%	10,478	3.7%	8,338	3.0%				-1,028	-0.7%		
2区	03年 候補者名 第2区計	411,305	238,818	58.05%	231,898	大出 彰 93,406	40.3%	菅 義偉 115,495	49.8%			湯川美和子 22,997	9.9%											6,920	3.0%	
	05年 候補者名 第2区計	416,854	280,387	67.26%	274,118	大出 彰 91,723	33.5%	菅 義偉 160,111	58.4%			板谷みや子 22,284	8.1%											6,269	2.2%	
	09年 候補者名 第2区計	424,028	289,602	68.30%	284,358	三村和也 131,722	46.3%	菅 義偉 132,270	46.5%			高山 修 20,366	7.2%												-6,269	-2.2%
	09年-05年	7,174	9,215	1.04%	10,240	39,999	12.9%	-27,841	-11.9%			-1,918	-1.0%													
2区	03年 比例区2区計	411,305	238,818	58.06%	234,347	91,615	39.1%	81,580	34.8%	32,001	13.7%	18,193	7.8%	10,958	4.7%								4,471	1.9%		
	05年 比例区2区計	417,414	280,513	67.20%	276,861	76,812	27.7%	120,112	43.4%	34,121	12.3%	19,900	7.2%	9,980	3.6%								3,652	1.3%		
	09年 比例区2区計	424,028	289,538	68.28%	284,352	121,757	42.8%	76,342	26.8%	27,946	9.8%	20,639	7.3%	11,691	4.1%	18,692	6.6%	7,285	2.6%				3,303	1.2%		
	09年-05年	6,614	9,025	1.08%	7,491	44,945	15.1%	-43,770	-16.5%	-6,175	-2.5%	739	0.1%	-4,245	-1.6%	8,712	3.0%	7,285	2.6%				-819	-0.6%		
3区	03年 候補者名 第3区計	389,796	213,241	54.71%	206,717	加藤 尚彦 81,996	39.7%	小此木八郎 91,207	44.1%			大谷 努 18,867	9.1%	10,158	4.9%							山下浩一郎 4,489	2.2%	6,524	3.2%	
	05年 候補者名 第3区計	396,711	253,530	63.91%	247,810	加藤 尚彦 76,625	30.9%	小此木八郎 131,831	53.2%			大谷 務 21,810	8.8%											5,720	2.3%	
	09年 候補者名 第3区計	407,479	265,185	65.08%	259,755	岡本英子 125,856	48.5%	小此木八郎 89,588	34.5%			古谷靖彦 19,419	7.5%							徳島正浩 2,206	0.8%	山下浩一郎 2,279	0.9%			
	09年-05年	10,768	11,655	1.17%	11,945	49,231	17.5%	-42,243	-18.7%			-2,391	-1.3%									2,206	0.8%	-5,720	-2.3%	
3区	03年 比例区3区計	389,796	213,241	54.71%	208,953	82,132	39.3%	67,546	32.3%	30,935	14.8%	18,290	8.8%	10,050	4.8%								4,288	2.1%		
	05年 比例区3区計	397,262	253,593	63.84%	250,167	69,056	27.6%	104,529	41.8%	31,359	12.5%	20,277	8.1%	12,914	5.2%								3,426	1.4%		
	09年 比例区3区計	407,479	265,171	65.08%	260,602	109,369	42.0%	63,190	24.2%	26,472	10.2%	21,945	8.4%	10,158	3.9%	22,212	8.5%	7,256	2.8%				2,960	1.1%		
	09年-05年	10,217	11,578	1.24%	10,435	40,313	14.4%	-41,339	-17.5%	-4,887	-2.4%	1,668	0.3%	-2,756	-1.3%	10,180	3.7%	7,256	2.8%				-862	-0.7%		
4区	03年 候補者名 第4区計	321,246	196,491	61.17%	190,958	大石 尚子 89,515	46.9%	林 潤 74,266	38.9%			林 伸明 13,471	7.1%									馬渡 龍治 13,706	7.2%	5,533	2.9%	
	05年 候補者名 第4区計	326,976	232,223	71.02%	227,679	大石 尚子 78,326	34.4%	林 潤 119,618	52.5%			林 伸明 13,774	6.0%											4,544	2.0%	
	09年 候補者名 第4区計	331,102	239,184	72.24%	234,591	長島一由 89,082	38.0%	林 潤 64,006	27.3%					高野 良裕 15,961	7.0%			小原真里 3,505	1.5%			伊藤航平 7,270	3.1%			
	09年-05年	4,126	6,961	1.22%	6,912	10,756	3.6%	-55,612	-25.3%			-13,774	-6.0%			54,767	23.1%	3,505	1.5%			7,270	3.1%	-4,544	-2.0%	
4区	03年 比例区4区計	321,246	196,491	61.17%	192,735	79,594	41.3%	72,304	37.5%	16,378	8.5%	13,982	7.3%	10,477	5.4%								3,756	1.9%		
	05年 比例区4区計	327,611	232,263	70.90%	229,368	63,426	27.7%	106,862	46.6%	17,949	7.8%	15,032	6.6%	14,078	6.1%								2,895	1.2%		
	09年 比例区4区計	331,102	239,126	72.22%	235,494	92,232	39.2%	56,947	24.2%	15,267	6.5%	16,417	7.0%	11,454	4.9%	38,295	16.3%	4,882	2.1%				2,031	0.9%		
	09年-05年	3,491	6,863	1.33%	6,126	28,806	11.5%	-49,915	-22.4%	-2,682	-1.3%	1,385	0.4%	-2,624	-1.3%	26,274	11.0%						-861	-0.7%		

資料Ⅱ-4 (つづき) 第43~45回衆議院総選挙 小選挙区・比例区選挙結果比較

選挙区	年次	候補者名	有権者数	投票者数	投票率	有効投票	民主党		自民党		公明党		共産党		社民党		みんなの党		その他の党		無所属	無効票							
							票数	率	票数	率	票数	率	票数	率	票数	率	票数	率	票数	率									
5区	03年	候補者名	427,433	254,585	59.56%	246,188	民主党		自民党		公明党		共産党		社民党		みんなの党		その他の党			8,397	3.4%						
	05年	候補者名					田中慶秋		坂井学		大森猛		田中慶秋		坂井学		大森猛									3,505	1.5%		
	09年	候補者名					田中慶秋		坂井学		大森猛		田中慶秋		坂井学		大森猛							門守隆				4,448	1.4%
	09年-05年	第5区計					156,328		116,468		29,657		-750																
	09年-05年	第5区計					50.3%		37.2%		12.5%		-0.6%																
03年	比例区5区計	427,433	254,585	59.56%	249,703	104,943	42.0%	79,307	31.8%	31,356	12.6%	21,325	8.5%	12,772	5.1%						3,499	1.7%							
05年	比例区5区計	435,530	302,986	69.57%	299,118	89,732	30.0%	125,087	41.8%	32,745	10.9%	22,830	7.6%	18,208	6.1%	10,516	3.5%				3,868	1.3%							
09年	比例区5区計	447,549	313,809	70.12%	308,684	140,610	45.6%	73,570	23.8%	28,105	9.1%	23,425	7.6%	14,087	4.6%	20,958	6.8%	7,929	2.6%		3,492	1.1%							
09年-05年		12,019	10,823	0.55%	9,566	50,878	15.6%	-51,517	-18.0%	-4,640	-1.8%	595	0.0%	-4,121	-1.5%	10,442	3.3%				369	-0.4%							
6区	03年	候補者名	373,824	228,797	61.20%	224,082	民主党		自民党		公明党		共産党		社民党		みんなの党		その他の党		勝又恒一郎	4,715	2.1%						
	05年	候補者名					池田元久		上田勇		藤井美登里		池田元久		上田勇		藤井美登里									5,790	2.3%		
	09年	候補者名					池田元久		上田勇		藤井美登里		池田元久		上田勇		藤井美登里							寺島博也				3,505	1.5%
	09年-05年	第6区計					102,429		123,040		21,146		132,192		94,941		22,464												
	09年-05年	第6区計					41.5%		49.9%		8.6%		51.8%		37.2%		8.8%												
03年	比例区6区計	373,824	228,797	61.20%	223,399	88,205	39.5%	69,751	31.2%	34,975	15.7%	16,298	7.3%	14,170	6.3%						5,398	2.4%							
05年	比例区6区計	372,433	255,792	68.68%	252,253	71,968	28.5%	104,343	41.4%	33,537	13.3%	17,785	7.1%	15,664	6.2%	8,956	3.6%				3,539	1.4%							
09年	比例区6区計	374,762	262,929	70.16%	257,567	110,515	42.9%	60,944	23.7%	29,661	11.5%	19,348	7.5%	12,022	4.7%	18,186	7.1%	6,891	2.7%		3,045	1.2%							
09年-05年		2,329	7,137	1.48%	5,314	38,547	14.4%	-43,399	-17.7%	-3,876	-1.8%	1,563	0.5%	-3,642	-1.5%	9,230	3.5%	6,891	2.7%		-1,859	-1.0%							
7区	03年	候補者名	373,466	212,317	56.85%	207,132	民主党		自民党		公明党		共産党		社民党		みんなの党		その他の党		比嘉常一	5,185	2.5%						
	05年	候補者名					首藤信彦		鈴木恒夫		松本肇		首藤信彦		鈴木恒夫		松本肇									16,796	8.1%		
	09年	候補者名					首藤信彦		鈴木恒夫		松本肇		首藤信彦		鈴木恒夫		松本肇							石井論				7,731	2.8%
	09年-05年	第7区計					96,479		93,857		16,796		157,070		109,844		-16,689												
	09年-05年	第7区計					46.6%		45.3%		8.1%		57.2%		40.0%		-6.6%												
03年	比例区7区計	373,466	212,317	56.85%	208,818	94,067	45.0%	68,745	32.9%	22,735	10.9%	13,909	6.7%	9,362	4.5%						3,499	1.7%							
05年	比例区7区計	389,102	260,554	66.96%	257,196	79,107	30.8%	110,889	43.1%	25,523	9.9%	16,636	6.5%	15,155	5.9%	9,886	3.8%				3,358	1.3%							
09年	比例区7区計	411,728	282,027	68.50%	277,502	128,471	46.3%	68,335	24.6%	20,138	7.3%	18,008	6.5%	12,453	4.5%	21,964	7.9%	8,133	2.9%		3,447	1.2%							
09年-05年		22,626	21,473	1.54%	20,306	49,364	15.5%	-42,554	-18.5%	-5,385	-2.7%	1,372	0.0%	-2,702	-1.4%	12,078	4.1%	8,133	2.9%		-141	-0.4%							
8区	03年	候補者名	354,469	212,877	60.06%	208,769	民主党		自民党		公明党		共産党		社民党		みんなの党		その他の党		江田憲司	4,108	2.0%						
	05年	候補者名					岩國哲人		吉田隆嘉		山中栄司		岩國哲人		吉田隆嘉		山中栄司									78,782	37.7%		
	09年	候補者名					岩國哲人		吉田隆嘉		山中栄司		岩國哲人		吉田隆嘉		山中栄司							江田憲司				88,098	34.8%
	09年-05年	第8区計					78,860		74,399		11,578		74,544		54,480		128,753		4,246										
	09年-05年	第8区計					31.2%		29.4%		4.7%		28.4%		20.8%		49.1%		1.6%										
03年	比例区8区計	354,469	212,877	60.06%	208,077	100,802	48.4%	64,761	31.1%	19,720	9.5%	12,776	6.1%	10,018	4.8%						4,800	2.3%							
05年	比例区8区計	360,538	255,467	70.85%	252,136	83,233	33.0%	114,008	45.2%	18,568	7.4%	13,258	5.3%	13,870	5.5%	9,199	3.6%				3,331	1.3%							
09年	比例区8区計	376,393	266,564	70.82%	263,088	115,368	43.9%	56,247	21.4%	16,985	6.5%	14,717	5.6%	10,535	4.0%	43,468	16.5%	5,768	2.2%		2,436	0.9%							
09年-05年		15,835	11,097	-0.03%	10,952	32,135	10.8%	-57,761	-23.8%	-1,583	-0.9%	1,459	0.3%	-3,335	-1.5%	34,269	12.9%	5,768	2.2%		-1,469	-1.0%							
9区	03年	候補者名	277,264	160,599	57.92%	156,152	民主党		自民党		公明党		共産党		社民党		みんなの党		その他の党		小林武治	4,447	2.8%						
	05年	候補者名					笠浩史		中港拓		鴨下元		笠浩史		中港拓		鴨下元									5,696	3.6%		
	09年	候補者名					笠浩史		中港拓		鴨下元		笠浩史		中港拓		鴨下元							小口裕嗣				3,055	1.5%
	09年-05年	第9区計					78,590		57,457		14,409		127,219		49,274		16,239												
	09年-05年	第9区計					50.3%		36.8%		9.2%		63.5%		24.6%		8.1%												
03年	比例区9区計	277,264	160,599	57.92%	158,219	71,593	45.2%	48,526	30.7%	16,498	10.4%	13,654	8.6%	7,948	5.0%						2,380	1.5%							
05年	比例区9区計	281,706	189,637	67.32%	187,769	59,097	31.5%	78,655	41.9%	16,571	8.8%	14,836	7.9%	11,727	6.2%	6,883	3.7%				1,868	1.0%							
09年	比例区9区計	299,255	204,853	68.45%	202,234	90,517	44.8%	45,406	22.5%	15,596	7.7%	17,816	8.8%	11,173	5.5%	15,812	7.8%	5,914	2.9%		2,395	1.2%							
09年-05年		17,549	15,216	1.14%	14,465	31,420	13.3%	-33,249	-19.4%	-975	-1.1%	2,980	0.9%	-554	-0.7%	8,929	4.2%	5,914	2.9%		-512	-0.5%							

資料Ⅱ-4 (つづき) 第43~45回衆議院総選挙 小選挙区・比例区選挙結果比較

区	年	候補者名	有権者数	投票者数	投票率	有効投票	民主党		公明党	共産党	社民党	みんなの党	その他の党	無所属	無効票						
							計屋 圭宏	田中 和徳													
10区	03年	候補者名 第10区計	443,574	246,726	55.62%	238,521	計屋 圭宏 89,752	37.6%	田中 和徳 114,766	48.1%		笠木 隆 34,003	14.3%		8,205	3.4%					
	05年	候補者名 第10区計	453,007	291,800	64.41%	284,666	計屋 圭宏 89,025	31.3%	田中 和徳 160,669	56.4%		笠木 隆 34,971	12.3%		7,134	2.4%					
	09年	候補者名 第10区計	484,482	317,163	65.46%	310,442	城島 光力 152,921	49.3%	田中 和徳 118,641	38.2%		笠木 隆 33,134	10.7%	島崎隆一 5,746	1.9%						
	09年-05年		31,475	25,363	1.05%	25,776	63,896	18.0%	-42,028	-18.2%	0	0.0%	-1,837	-1.6%	5,746	1.9%	-7,134	-2.4%			
	03年	比例区10区	443,574	246,726	55.62%	241,853	86,664	35.8%	78,145	32.3%	39,855	16.5%	27,126	11.2%	10,063	4.2%	4,873	2.0%			
05年	比例区10区	453,595	291,930	64.36%	287,820	75,453	26.2%	118,179	41.1%	40,821	14.2%	28,264	9.8%	15,113	5.3%	4,110	1.4%				
09年	比例区10区	484,482	317,147	65.46%	312,571	128,219	41.0%	76,464	24.5%	35,575	11.4%	31,339	10.0%	11,894	3.8%	3,497	1.1%				
09年-05年		30,887	25,217	1.10%	24,751	52,766	14.8%	-41,715	-16.6%	-5,246	-2.8%	3,075	0.2%	-3,219	-1.4%	10,820	3.2%	8,270	2.6%	-763	-0.6%
11区	03年	候補者名 第11区計	398,912	238,996	59.91%	234,296	沢木 優輔 46,290	19.8%	小泉純一郎 174,374	74.4%		瀬戸 和弘 13,632	5.8%		4,700	2.0%					
	05年	候補者名 第11区計	397,948	272,431	68.46%	269,314	斉藤 勤 50,551	18.8%	小泉純一郎 197,037	73.2%		瀬戸 和弘 11,377	4.2%		天木直人・三上誠三 10,349	3.8%	3,117	1.1%			
	09年	候補者名 第11区計	394,396	268,666	68.12%	264,330	横象勝仁 96,631	36.6%	小泉進次郎 150,893	57.1%		伊東正子 12,601	4.8%	鶴川晃久 2,375	0.9%	1,830	0.7%				
	09年-05年		-3,552	-3,765	-0.34%	-4,984	46,080	17.8%	-46,144	-16.1%		1,224	0.5%		3,505	1.5%	-8,519	-3.2%	-3,117	-1.1%	
	03年	比例区11区	398,912	238,996	59.91%	233,344	60,689	26.0%	114,782	49.2%	34,262	14.7%	14,763	6.3%	8,848	3.8%	5,652	2.4%			
05年	比例区11区	398,230	272,467	68.42%	268,455	53,097	19.8%	144,917	54.0%	36,733	13.7%	15,166	5.6%	12,225	4.6%	4,012	1.5%				
09年	比例区11区	394,396	268,609	68.11%	263,740	94,566	35.9%	95,146	36.1%	30,002	11.4%	15,770	6.0%	8,097	3.1%	2,460	0.9%				
09年-05年		-3,834	-3,858	-0.31%	-4,715	41,469	16.1%	-49,771	-17.9%	-6,731	-2.3%	604	0.3%	-4,127	-1.5%	8,320	3.2%	-1,640	-0.9%		
12区	03年	候補者名 第12区計	351,527	198,771	56.55%	192,444	中塚 一宏 75,826	39.4%	桜井 郁三 73,767	38.3%		高松みどり 11,280	5.9%	阿部 知子 26,954	14.0%	鈴木 浩一 4,617	2.4%	6,327	3.3%		
	05年	候補者名 第12区計	356,138	236,259	66.34%	232,107	中塚 一宏 75,865	32.7%	桜井 郁三 108,898	46.9%		沼上 常生 12,211	5.3%	阿部 知子 35,133	15.1%		4,152	1.8%			
	09年	候補者名 第12区計	367,535	245,080	66.68%	240,890	中塚 一宏 110,532	45.9%	桜井 郁三 69,524	28.9%		渡辺 慈子 11,240	4.7%	阿部 知子 47,538	19.7%	山田 茂 2,056	0.9%				
	09年-05年		11,397	8,821	0.34%	8,783	34,667	13.2%	-39,374	-18.1%		-971	-0.6%	12,405	19.7%	3,505	1.5%	-4,152	-1.8%		
	03年	比例区12区	351,527	198,771	56.55%	195,117	79,889	40.9%	64,124	32.9%	23,496	12.0%	13,266	6.8%	14,342	7.4%	3,654	1.9%			
05年	比例区12区	356,647	236,323	66.26%	233,659	66,808	28.6%	97,757	41.8%	24,598	10.5%	15,009	6.4%	21,503	9.2%	2,664	1.1%				
09年	比例区12区	367,535	245,018	66.67%	241,235	103,337	42.8%	54,700	22.7%	22,088	9.2%	15,908	6.6%	24,650	10.2%	2,328	1.0%				
09年-05年		10,888	8,695	0.40%	7,576	36,529	14.2%	-43,057	-19.2%	-2,510	-1.4%	899	0.2%	3,147	1.0%	7,103	2.8%	-990	-0.7%		
13区	03年	候補者名 第13区計	437,761	253,748	57.96%	244,923	土田 龍司 86,256	35.2%	甘利 明 139,236	56.8%		新井 俊次 19,431	7.9%		8,825	3.6%					
	05年	候補者名 第13区計	443,977	292,315	65.84%	285,438	土田 龍司 88,170	30.9%	甘利 明 174,361	61.1%		近藤 知明 22,907	8.0%		6,877	2.4%					
	09年	候補者名 第13区計	453,308	305,272	67.34%	299,577	橋 秀徳 138,104	46.1%	甘利 明 136,164	45.5%		近藤知昭 18,721	6.2%	鈴木千尋 6,588	2.2%						
	09年-05年		9,331	12,957	1.50%	14,139	49,934	15.2%	-38,197	-15.6%		-4,186	-1.8%		6,588	2.2%	-6,877	-2.4%			
	03年	比例区13区	437,761	253,748	57.96%	246,888	96,289	39.0%	86,254	34.9%	35,638	14.4%	17,354	7.0%	11,353	4.6%	6,860	2.8%			
05年	比例区13区	444,380	292,371	65.79%	288,099	82,312	28.6%	120,942	42.0%	38,507	13.4%	19,140	6.6%	16,514	5.7%	4,272	1.5%				
09年	比例区13区	453,308	305,240	67.34%	299,902	132,559	44.2%	76,168	25.4%	32,856	11.0%	20,405	6.8%	12,213	4.1%	3,083	1.0%				
09年-05年		8,928	12,869	1.54%	11,803	50,247	15.6%	-44,774	-16.6%	-5,651	-2.4%	1,265	0.2%	-4,301	-1.7%	7,654	2.4%	-2,588	-1.3%		
14区	03年	候補者名 第14区計	411,851	228,394	55.46%	221,565	藤井 裕久 97,214	43.9%	中本 太衛 81,794	36.9%		藤原 正明 14,915	6.7%	原 陽子 26,508	12.0%	箕浦 一雄 1,134	0.5%	6,829	3.1%		
	05年	候補者名 第14区計	418,553	272,354	65.07%	266,391	藤井 裕久 107,608	40.4%	赤間 二郎 135,719	50.9%		藤原 正明 23,064	8.7%		5,963	2.2%					
	09年	候補者名 第14区計	430,105	290,123	67.45%	284,569	本村賢太郎 157,644	64.4%	赤間 二郎 104,631			赤間友子 17,844		石川雅士 2,713	1.0%	吉田隆則 1,737	0.6%				
	09年-05年		11,552	17,769	2.38%	18,178	50,036	-40.4%	-31,088	-50.9%		-5,220	-8.7%		2,713	1.0%	1,737	0.6%	-5,963	-2.2%	
	03年	比例区14区	411,851	228,394	55.46%	223,489	92,328	41.3%	69,312	31.0%	32,583	14.6%	15,748	7.0%	13,518	6.0%	4,905	2.2%			
05年	比例区14区	419,101	272,478	65.01%	268,349	83,223	31.0%	108,821	40.6%	33,279	12.4%	18,245	6.8%	15,120	5.6%	4,129	1.5%				
09年	比例区14区	430,105	290,075	67.44%	285,297	131,787	46.2%	68,849	24.1%	30,282	10.6%	19,312	6.8%	12,082	4.2%	3,135	1.1%				
09年-05年		11,004	17,597	2.43%	16,948	48,564	15.2%	-39,972	-16.4%	-2,997	-1.8%	1,067	0.0%	-3,038	-1.4%	6,234	2.0%	7,090	2.5%	-776	-0.7%

資料Ⅱ-4(つづき) 第43~45回衆議院総選挙 小選挙区・比例区選挙結果比較

区	年	候補者名	有権者数	投票者数	投票率	有効投票	民主党		自民党		公明党	共産党		社民党	みんなの党		その他の党	無所属 桂 秀光	無効票				
							得票	得票率	得票	得票率		得票	得票率		得票	得票率				得票	得票率		
15区	03年	候補者名 第15区計	441,394	255,216	57.82%	248,718	76,967	30.9%	148,955	59.9%		16,122	6.5%					6,674	2.7%	6,498	2.6%		
	05年	候補者名 第15区計	446,440	297,908	66.73%	292,399	83,490	28.6%	186,770	63.9%		22,139	7.6%							5,509	1.8%		
	09年	候補者名 第15区計	454,639	311,163	68.44%	307,011	124,414	40.5%	163,470	53.2%		15,786	5.1%							3,341	1.1%		
	09年-05年		8,199	13,255	1.71%	14,612	40,924	12.0%	-23,300	-10.6%		-6,353	-2.4%							3,341	1.1%		
	03年	比例区15区	441,394	255,216	57.82%	249,262	96,192	38.6%	87,008	34.9%	35,596	14.3%	17,666	7.1%	12,800	5.1%					5,954	2.4%	
	05年	比例区15区	446,878	297,955	66.67%	293,388	83,428	28.4%	123,022	41.9%	37,431	12.8%	20,185	6.9%	18,680	6.4%	10,642	3.6%			4,567	1.5%	
09年	比例区15区	454,639	311,068	68.42%	305,618	136,231	44.6%	80,787	26.4%	31,594	10.3%	20,459	6.7%	13,514	4.4%	16,381	5.4%	6,652	2.2%	2,864	0.9%		
09年-05年		7,761	13,113	1.75%	12,230	52,803	16.1%	-42,235	-15.5%	-5,837	-2.4%	274	-0.2%	-5,166	-1.9%	5,739	1.7%	6,652	2.2%	-1,387	-0.9%		
16区	03年	候補者名 第16区計	420,308	232,852	55.40%	225,911	82,967	36.7%	125,067	55.4%		17,877	7.9%							6,941	3.1%		
	05年	候補者名 第16区計	424,331	274,822	64.77%	268,763	87,991	32.7%	159,268	59.3%		21,504	8.0%							6,059	2.2%		
	09年	候補者名 第16区計	430,198	290,845	67.61%	285,228	167,721	58.8%	113,341	39.7%										4,166	1.5%		
	09年-05年		5,867	16,023	2.84%	16,465	79,730	26.1%	-45,927	-19.5%		-21,504	-8.0%							4,166	1.5%		
	03年	比例区16区	420,308	232,852	55.40%	227,066	84,993	37.4%	83,664	36.8%	33,077	14.6%	15,770	6.9%	9,562	4.2%					5,786	2.5%	
	05年	比例区16区	424,616	274,866	64.73%	270,173	74,844	27.7%	116,130	43.0%	36,748	13.6%	18,347	6.8%	14,236	5.3%	9,868	3.7%			4,693	1.7%	
09年	比例区16区	430,198	290,793	67.60%	285,193	129,604	45.4%	75,677	26.5%	30,896	10.8%	18,490	6.5%	10,128	3.6%	14,088	4.9%	6,310	2.2%	2,834	1.0%		
09年-05年		5,582	15,927	2.86%	15,020	54,760	17.7%	-40,453	-16.4%	-5,852	-2.8%	143	-0.3%	-4,108	-1.7%	4,220	1.3%	6,310	2.2%	-1,093	-0.8%		
17区	03年	候補者名 第17区計	422,156	242,801	57.51%	235,796	81,900	34.7%	135,206	57.3%		18,690	7.9%							7,005	3.0%		
	05年	候補者名 第17区計	424,037	285,906	67.42%	279,843	89,901	32.1%	169,825	60.7%		20,117	7.2%							6,063	2.1%		
	09年	候補者名 第17区計	427,538	298,113	69.73%	292,432	139,678	47.8%	105,806	36.2%										4,067	1.4%		
	09年-05年		3,501	12,207	2.90%	12,589	49,777	15.6%	-64,019	-24.5%		-20,117	-7.2%	0	0.0%	0	0.0%	4,067	1.4%	42,881	14.7%		
	03年	比例区17区	422,156	242,801	57.51%	236,346	85,149	36.0%	90,501	38.3%	32,580	13.8%	16,541	7.0%	11,575	4.9%					6,455	2.7%	
	05年	比例区17区	424,394	285,938	67.38%	280,425	77,221	27.5%	122,110	43.5%	35,624	12.7%	18,385	6.6%	16,924	6.0%	10,161	3.6%			5,513	1.93%	
09年	比例区17区	427,538	298,062	69.72%	291,248	125,623	43.1%	82,911	28.5%	28,637	9.8%	18,366	6.3%	11,236	3.9%	17,103	5.9%	7,372	2.5%	3,617	1.2%		
09年-05年		3,144	12,124	2.34%	10,823	48,402	15.6%	-39,199	-15.1%	-6,987	-2.9%	-19	-0.3%	-5,688	-2.2%	6,942	2.2%	7,372	2.5%	-942	-0.8%		
18区	03年	候補者名 第18区計	316,614	176,284	55.68%	170,852	64,879	38.0%	58,001	33.9%		13,084	7.7%	竹村 英明	3.3%					小川・平田・安済	17.1%	5,432	3.2%
	05年	候補者名 第18区計	324,006	212,369	65.54%	208,009	77,877	37.4%	111,787	53.7%		18,345	8.8%								4,360	2.1%	
	09年	候補者名 第18区計	342,219	229,744	67.13%	225,826	110,239	48.8%	82,221	36.4%		15,832	7.0%										
	09年-05年		18,213	17,375	1.59%	17,817	32,362	11.4%	-29,566	-17.3%		-2,513	-1.8%									14,325	6.3%
	03年	比例区18区	316,614	176,284	55.68%	172,858	73,026	42.2%	53,700	31.1%	24,308	14.1%	13,986	8.1%	7,838	4.5%						3,426	2.0%
	05年	比例区18区	324,620	212,515	65.47%	210,129	62,706	29.8%	88,794	42.3%	24,970	11.9%	15,557	7.4%	10,640	5.1%	7,462	3.6%			2,386	1.1%	
09年	比例区18区	342,219	229,724	67.13%	227,143	100,311	44.2%	52,204	23.0%	22,480	9.9%	17,745	7.8%	8,732	3.8%	19,936	8.8%	5,735	2.5%	2,370	1.0%		
09年-05年		17,599	17,209	1.66%	17,014	37,605	14.3%	-36,590	-19.3%	-2,490	-2.0%	2,188	0.4%	-1,908	-1.2%	12,474	5.2%	5,735	2.5%	-1,040	-0.9%		

出所：各年の神奈川県選挙管理委員会「衆議院小選挙区選出議員選挙の結果」及び「衆議院比例代表選出議員選挙神奈川県選挙分会」をもとに上林加工

資料Ⅲ 戦後の国政選挙と内閣、選挙制度改革

(社) 神奈川県地方自治研究センター調べ

年月日	選挙	内閣	政党組み合わせ	選挙制度改革・主な出来事	投票率
1945. 8. 17		東久邇宮稔彦内閣		敗戦により鈴木貞太郎首相辞任の後を受ける	
1945. 10. 9		幣原喜重郎内閣		45. 12. 17女性参政権実現	(全国)
1946. 4. 10	第22回 衆議院選挙			戦後初の衆議院選挙、大選挙区制	72. 08
1946. 5. 22		1次吉田茂内閣	自白・進歩連立	47. 2. 24参議院選挙法制定250名	
1947. 4. 20	第1回 参議院選挙	同		(地方区150、全国区100)	61. 12
1947. 4. 25	第23回 衆議院選挙	同		同3. 31衆議院中選挙区制に	67. 08
1947. 5. 24		片山哲内閣	社会・民主・国協	同4. 5/30第1回統一自治体選挙	
1948. 3. 10		芦田均内閣	社会・民主・国協	昭和電工疑獄	
1948. 10. 15		2次吉田茂内閣	民自単独		
1949. 1. 23	第24回 衆議院選挙	同		馴れ合い解散	74. 04
1949. 2. 16		3次吉田茂内閣	民自・民主	49. 6. 29朝鮮戦争勃発	
1950. 6. 4	第2回 参議院選挙	同		50. 4. 15公職選挙法を制定	72. 19
1952. 10. 1	第25回 衆議院選挙	同		抜き打ち解散	76. 43
1952. 10. 30		4次吉田茂内閣	自由単独		
1953. 4. 19	第26回 衆議院選挙	同		バカヤロ解散	74. 22
1953. 4. 24	第3回 参議院選挙	同		53. 11. 16沖縄復帰で467名に	63. 18
1953. 5. 21		5次吉田茂内閣	自由単独		
1954. 12. 10		1次鳩山一郎内閣	日本民主党	54. 1造船疑獄 選挙管理内閣	
1955. 2. 27	第27回 衆議院選挙	同		予定解散	75. 84
1955. 3. 19		2次鳩山一郎内閣	自民党単独		
1955. 11. 22		3次鳩山一郎内閣	自民党単独	左右社会党統一、保守合同、55年体制へ	
1956. 7. 8	第4回 参議院選挙	同		56. 10日ソ国交回復	62. 11
1956. 12. 23		石橋湛山内閣	自民党単独		
1957. 2. 25		岸信介内閣	自民党単独		
1958. 5. 22	第28回 衆議院選挙	同		話し合い解散 社会党最大168議席	76. 99
1958. 6. 12		2次岸信介内閣			
1959. 6. 2	第5回 参議院選挙	同			58. 75
1960. 7. 19		1次池田勇人内閣	自民党単独	60. 6. 19安保条約改定・自然成立	
1960. 11. 20	第29回 衆議院選挙	同		安保解散	73. 51
1960. 12. 8		2次池田勇人内閣	自民党単独		
1962. 7. 1	第6回 参議院選挙	同			68. 22
1963. 11. 21	第30回 衆議院選挙	同	自民党単独	予告解散	71. 14
1963. 12. 9		2次池田勇人内閣			
1964. 11. 9		1次佐藤栄作内閣	自民党単独	64. 7. 2衆院定数は正486名に 公明党結成	
1965. 7. 4	第7回 参議院選挙	同		いざなぎ景気 65. 12日韓条約成立	67. 02
1967. 1. 29	第31回 衆議院選挙	同		黒い霧解散	73. 99
1967. 2. 17		2次佐藤内閣			
1968. 7. 7	第8回 参議院選挙	同	自民党単独	67. 12日米政府沖縄返還で合意	68. 94
1969. 12. 27	第32回 衆議院選挙	同		自民大勝、公明躍進	68. 51
1970. 1. 14		3次佐藤内閣			
1971. 6. 27	第9回 参議院選挙	同		70. 5. 7沖縄特例衆院定数は正491名に	59. 24
1972. 7. 7		田中角栄内閣	自民党単独	参議院252名	
1972. 12. 10	第33回 衆議院選挙	同		日中国交回復 共産党躍進	71. 76
1972. 12. 12		2次田中角栄内閣			
1974. 7. 7	第10回 参議院選挙	同		73. 10第1次オイルショック	73. 20
1974. 12. 9		三木武夫内閣	自民党単独	75. 7. 15衆院定数は正511名に	
1976. 12. 5	第34回 衆議院選挙	同		ロッキード事件 任期満了選挙 新自ク結成	73. 45
1976. 12. 24		福田赳夫内閣	自民党単独		
1977. 7. 10	第11回 参議院選挙	同			68. 49
1978. 12. 7		1次大平正芳内閣	自民党単独	自民・総裁選で予備導入	
1979. 10. 7	第35回 衆議院選挙	同		一般消費税選挙 自民党大敗過半数割れ	68. 51
1979. 11. 9		2次大平内閣	自民党単独		
1980. 6. 12		大平首相死去			
1980. 6. 22	第36回 衆議院選挙			ハブニング解散 初の衆参同日選挙	74. 57
1980. 6. 22	第12回 参議院選挙			大平総理用い選挙 衆参で自民大勝	74. 54
1980. 7. 17		鈴木善幸内閣	自民党単独		
1982. 11. 27		1次中曽根康弘内閣	自民党単独	82. 8. 24参院に比例代表制導入(全国区廃止)	
1983. 6. 26	第13回 参議院選挙	同		中曽根「不沈空母」発言 比例区初選挙	57. 00
1983. 12. 18	第37回 衆議院選挙	同		田中判決	67. 94
1983. 12. 27		2次中曽根内閣	自民・新自ク連立		
1986. 7. 6	第38回 衆議院選挙	同		86. 5. 23衆院定数は正512名に	71. 40
1986. 7. 6	第14回 参議院選挙	同		衆参同日選挙 寝たふり解散 自民300議席	71. 36
1986. 7. 22		3次中曽根内閣	自民単独		
1987. 11. 6		竹下登内閣	同	88. 6リクルート事件 89. 4消費税導入	
1989. 6. 3		宇野宗佑内閣	同		
1989. 7. 23	第15回 参議院選挙	選挙結果(社会46、	自民36、連合11、公明10、共産5、民社3、税金2、諸派3、無所属10)		65. 02
1989. 8. 10		海部俊樹内閣	同	ベルリンの壁の崩壊	

年月日	選挙	内閣	政党組み合わせ	選挙制度改革・主な出来事	投票率
1990. 2. 18	第39回 衆議院選挙	同		消費税解散 土井人気、社会躍進	73. 31
				(選挙結果 自民275、社会136、公明45、共産5、民社14、社民連4、進歩3、無所属21)	
1990. 2. 28		2次海部俊樹内閣	自民単独		
1991. 11. 5		宮沢喜一内閣	同	ソ連解体・冷戦終結 バブル頂点	
1992. 7. 26	第16回 参議院選挙	同		92. 12. 16衆院定数は正511名に	50. 72
				(選挙結果 自民68、社会22、公明14、共産6、民社4、日本新4、諸派4、無所属5)	
1993. 7. 18	第40回 衆議院選挙	同		政治改革 新党ブーム 自民党野党に転落	67. 26
				(選挙結果 自民233、社会70、新生55、公明51、日本新35、共産15、民社15、さきがけ13、社民連4、無所属30)	
1993. 8. 9		細川護熙内閣	7党1会派連立	非自民の連立政権誕生	
1994. 3. 11		同		94. 3. 11衆院小選挙区制導入500名、小選挙区300 比例区200	
1994. 4. 28		羽田孜内閣	新生中心少数連立		
1994. 6. 30		村山富市内閣	自民・社会・さきがけ		
1995. 7. 23	第17回 参議院選挙	同	同	新進党躍進、自民増、社会半減	44. 52
				(選挙結果 自民46、新進40、社会16、共産8、さきがけ3、民改連2、諸派2、無所属9)	
1996. 1. 11		橋本龍太郎内閣	自民・社会・さきがけ	社会が社民に、民主党結成	
1996. 10. 20	第41回 衆議院選挙	同	同	初の小選挙区・ブロック別比例区選挙	59. 65
				(選挙結果 自民239、新進156、民主52、共産26、社民15、さきがけ2、民改連1、無所属9)	
1996. 11. 7		2次橋本内閣	自民 社・さ閣外協力に		
1998. 7. 12	第18回 参議院選挙	同	自民単独	97. 12. 12投票時間20時まで延長 新進党解党	58. 84
				(選挙結果 自民44、民主27、共産15、公明9、自由6、社民5、無所属9) 自民党惨敗	
1998. 7. 30		小淵恵三内閣	自民・自由・公明	98. 4. 24海外在留邦人の投票可能に 民主党へ	
1999. 4. 18		森喜朗内閣	自民・公明・保守	衆院定数は正480名(小300 比例180)	
2000. 6. 25	第42回 衆議院選挙	同	同	00. 10. 26参院比例区に非拘束名簿方式	62. 49
				(選挙結果 自民233、民主127、公明31、自由22、共産20、社民19、保守7、諸派6、無所属15)	
2000. 7. 4		2次森喜朗内閣	同		
2001. 4. 26		小泉純一郎内閣	自民・公明・保守	参院定数は正242名(選146、比例96)	
2001. 7. 29	第19回 参議院選挙	同	同	自民党圧勝	56. 44
				(選挙結果 自民64、民主26、公明13、自由6、共産5、社民3、保守1、無所属3) 自民党圧勝	
2003. 11. 9	第43回 衆議院選挙	同	自民・公明・保守新	自民過半数割れ、与党絶対多数、民主躍進	59. 86
				(選挙結果 自民237、民主177、公明34、共産9、社民6、保守4、諸派2、無所属11)	
2003. 11. 19		2次小泉内閣	自民・公明		
2004. 7. 11	第20回 参議院選挙	同	自民・公明	自民49、民主50 二大政党化傾向	56. 57
				(選挙結果 自民49、民主50、公明11、共産4、社民2、保守1、無所属5)	
2005. 9. 11	第44回 衆議院選挙	同		郵政民営化選挙 自民296、与党で2/3獲得	67. 51
				(選挙結果 自民296、民主113、公明31、共産9、社民7、国民新党4、新党日本1、大地1、無所属18)	
2005. 9. 21		第3次小泉内閣	自民・公明		
2006. 9. 26		安部晋三内閣	自民・公明		
2007. 7. 29	第21回 参議院選挙	同	自民・公明	自民党歴史的敗北、参議院で野党が過半数を	58. 64
				(選挙結果 自民37、民主60、公明9、共産3、社民2、国民新2、新党日本1、無所属7)	
2007. 8. 27		安部晋三改造内閣			
2007. 9. 29		福田康夫内閣	自民・公明		
2008. 9. 24		麻生太郎内閣	自民・公明		
2009. 8. 30	第45回 衆議院選挙	同		予告解散・政権交代選挙	69. 28
				(選挙結果 民主308、自民119、公明21、共産9、社民7、みんな5、国民新党3、その他2、無所属6)	
2009. 9. 16		鳩山由紀夫内閣	民主・社民・国民新党		

2009年12月15日

自治研かながわ月報第117号(2009年特別号, 通算181号)

発行所	社団法人 神奈川県地方自治研究センター
発行人	上林得郎 編集人 勝島行正 定価1部 500円
〒232-0022	横浜市南区高根町1-3 神奈川県地域労働文化会館4F
	☎045(251)9721(代表) FAX 045(251)3199
	http://kjk.gpn.co.jp/ E-mail:kjk@gpn.co.jp
振替口座	中央労働金庫横浜支店 1195174 横浜銀行 横浜市庁支店 0709629

会員になるには

1. 誰でも会員になれます。
2. 申込書は自治研センター事務局にあります。会費は個人会員月1,000円、賛助会員月600円のどちらかを選び、1年分をそえてお申しこみください。
3. 詳細は自治研センター事務局
☎045(251)9721へご連絡ください。

会員の特典

1. 自治研センターの「自治研かながわ月報」が送られます。
2. 「月刊自治研」(自治労本部自治研推進委員会発行・A5版)が毎月無料で購読できます。
3. 自治研センターの資料集が活用でき、調査研究会などに参加できます。